

# 御殿場海岸南公衆便所新築工事

図面リスト					
< 建築工事 >		< 電気設備工事 >		< 機械設備工事 >	
A-01	特記仕様書01	E-01	電気設備工事特記仕様書01	M-01	機械設備工事特記仕様書01
A-02	特記仕様書02	E-02	電気設備工事特記仕様書02	M-02	機械設備工事特記仕様書02
A-03	特記仕様書03	E-03	電気設備工事特記仕様書03	M-03	配置図
A-04	特記仕様書04	E-04	電気設備 平面図		
A-05	特記仕様書05				
A-06	特記仕様書06				
A-07	特記仕様書07				
A-08	特記仕様書08				
A-09	設計概要、外部仕上表、内部仕上表				
A-10	配置図、附近見取図				
A-11	配置図02				
A-12	敷地求積図、建物求積図、法規フィッ図				
A-13	平面図、屋根伏図、天井伏図				
A-14	【参考】RCユニット便所電気設備仕様				
A-15	【参考】RCユニット便所機械設備仕様				
A-16	立面図、断面詳細図				
A-17	展開図				
A-18	建具表				
A-19	雑詳細図				
A-20	仮設計画図				
S-01	構造設計標準仕様図				
S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)				
S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)				
S-04	基礎伏図、断面詳細図、土質柱状図				
S-05	基礎配筋断面図				
S-06	小屋伏図				

NISSHIN  
SEKKEI

日新設計株式会社

工事特記仕様書

I. 工事名 御殿場海岸南公衆便所新築工事
II. 工事概要
1. 工事場所 三重県津市藤方地内
2. 敷地面積 317.88㎡
3. 工事内容
棟名称 御殿場海岸南公衆便所
構造 RC造 平家建て
建築面積 23.64㎡
延べ面積 19.96㎡
工事項目 建築工事・外構工事

- III. 建築工事仕様
1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書(「建築工事編」平成31年版)以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書(「建築工事編」平成31年版)による。
2. 特記仕様
1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
3)項目に記載の( )内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

Table with 3 columns: Chapter, Item, and Particulars. Contains detailed specifications for general common items and construction conditions.

3.発生材の処理等 (1.3.11)

※ 本工事期間の近隣において、別途工事(下水道工事)が行われるため、各受注者と協力し、お互い工事遂行に影響のないように進めること。
※ 公共樹への接続及び水道メーターの設置については原則、下水道工事完了後とする。(1月下旬完了予定)
ただし、監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りでない。

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

Table with 3 columns: Engineering, Presence of Work, and Disposal Method. Lists disposal methods for various construction elements like foundations, roofs, and equipment.

- 引渡を要するもの(・無・)
特別管理産業廃棄物(・有( ) 処理方法( ))
石綿含有成形板等解体時の留意点
1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2.可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。
3.飛散されない様にする。
4.保護具及び作業着を着用すること。
5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
・再資源化を図るもの
・コンクリート塊
・アスファルトコンクリート塊
・建設発生木材
引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

4.建設副産物情報交換システムの利用

5.三重県産業廃棄物税

受注者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。

6.電気保安技術者 (1.3.3)

7.技能士 (1.5.2)

8.建築材料等

9.化学物質の濃度測定 (1.5.9)

10.特別な材料の工法

11.騒音・振動の防止

12.工事写真 (1.2.4)

13.完成図等 (1.7.1) (1.7.2) (1.7.3)

14.完成写真

15.設備工事との取合い

16.設計GL

17.養生その他

18.事故の発生時

・配置する
職種別に可能なものについては積極的に活用すること

- 1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

Table for chemical substance concentration measurement. Columns include application (school/education, residence, etc.) and substances (ホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, etc.).

測定対象化学物質(●で示したものとする。)
対象箇所(・図示(図面番号: )・( ))
測定方法(・パッシブ法 ・アクティブ法 )
測定時期 ( )
報告書提出部数 2部

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(最新版))に従い撮影する。
提出部数1部 用紙は上質紙とする。

なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について(平成29年3月1日付け国営整第211号)」による。

- 作成する( )完成図( )保全に関する資料( )
完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。また、製本2部(原図サイズ)により提出すること。

デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

- 施工範囲
図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ
施工図
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

図示のベンチマーク(B.M) ±0 mm (現状地盤はB.M mm)
監督員立ち合いの上決定すること。

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

19.消防法関係の手続き

20.労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

21.不正軽油の使用の禁止

22.屋外広告物

23.三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例への対応

24.港湾区域(港湾隣接地域)内水域(公共空地)占用許可への対応

- 1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事)
・別途工事
2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成(建築図面の作成及び建築に関する部分の記入)を行うこと。
労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

- 1) 一般事項
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。

本工事建物は三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例における対象施設であり、この条例に定められた整備基準に準ずるものとする。

本工事建物は港湾区域(港湾隣接地域)内水域(公共空地)占用許可の同意を受けた敷地であり、港湾法第37条第1項の規定による条件を順守するものとする。

Table with 2 columns: Preparation and Examination. Contains fields for drawing title, scale, and drawing number.

NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Table with 2 columns: Job Title and Date. Contains fields for job title, drawing title, design supervisor, and drawing number.

② 仮 設 工 事	1. 監督員事務所 (2.3.1)	・設置する。 監督員事務所の規模 (単位 : m)					
	2. 監督員事務所 の設備・備品 (2.3.1)						
	③ 仮設便所	構内既存の施設	・利用できる	<input type="radio"/>	利用できない		
	④ 工事用水	構内既存の施設	・利用できる (・有償 ・無償)	<input type="radio"/>	利用できない	※利用できる施設については仮設計画図参照とする。	
	⑤ 工事用電力	構内既存の施設	・利用できる (・有償 ・無償)	<input type="radio"/>	利用できない	本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。	
	⑥ 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 足場 (つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る)の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント (区分が土木又は建築である者) や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者 3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者					
	⑦ 交通誘導警備員	配置	<input type="radio"/>	図示 (図面番号: A-20)			
③ 土 工 事	①埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)	種別	・A種	<input type="radio"/>	B種	・C種	・D種
	②建設発生土の処理 (3.2.5)	<input type="radio"/>	自由処分 (場内敷き均し)	・処分地指定	処分地 ( )	・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km	
	3.山留めの撤去 (3.3.3)	鋼矢板等の抜き跡の処理	・砂充填	・ ( )			
		山留め壁等	・撤去	・存置			

④ 地 業 工 事	1. 杭の施工管理	杭工事特記仕様書による。																																										
	2. 適用基準	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日)																																										
	3. 施工記録	受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。																																										
	4. 根拠資料	特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。																																										
	5. 試験杭及び試験掘 (4.2.2)	・試験杭 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号: ) ・試験掘 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号: )																																										
	6. 杭の支持層	支持層の位置、土質 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )																																										
	7. 水平方向の位置ずれ	( ) mm以下																																										
	8. 杭の載荷試験 (4.2.3)	試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ ( ) 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置、本数 ・ 図示 (図面番号: ) 載荷荷重 ( kN) 報告書 ・ 提出部数 2部																																										
	9. 地盤の載荷試験 (4.2.4)	試験方法 ・ 平板載荷 ・ ( ) 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・ 図示 (図面番号: ) 載荷荷重 ( kN) 報告書 ・ 提出部数 2部																																										
	10. 既製コンクリート杭 (4.3.1) (表4.3.1)	・ PHC杭 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ・ SC杭 ・ PRC杭 ・ 上記以外の建築基準法に基づく杭 (参考表)																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>杭長</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																			
種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																						
		先端形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型 施工方法 ・ セメントミルク工法 ・ オーガの支持層への掘削深さ ・ ( )m ・ 図示 (図面番号: ) ・ 杭の支持層への根入れ深さ ・ ( )m ・ 図示 (図面番号: ) ・ 特定埋込杭工法 ・ 杭の根入れ深さ ・ ( )m ・ 図示 (図面番号: ) ・ 根固め液及び杭周固定液の管理試験 ・ 標準仕様書 [4.3.4(6)(c)] ・ ( ) 継手 ・ アーク溶接 ・ 無溶接継手 (工法: ) 杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない																																										

11. 鋼杭地業 (4.4.3) (4.4.4) (4.4.5) (4.4.6) (4.3.5) (4.3.8)	・ 鋼管杭 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ H形鋼杭 ・ SHK400 ・ SHK490M 径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 ・ ( ) 長さ ( )m 継手 ・ JISA5525 (鋼管ぐい) 径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 ・ ( ) 施工方法 ・ 特定埋込杭工法 ・ 杭の根入れ深さ ・ ( )m ・ 図示 (図面番号: ) 杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない
	12. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1) (4.5.4) (4.5.5) (4.5.6) (表4.5.1)
④ 砂及び砂利地業 (4.6.2) (4.6.3)	砂利 <input type="radio"/> 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 ・ ( ) 砂 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ・ ( ) 施工範囲 <input type="radio"/> 図示 厚さ (mm) ・ 60 <input type="radio"/> ( 300, 150 ) ・ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。
	⑤ 捨コンクリート地業 (4.6.4) (4.6.5)
16. 床下防湿層 (4.6.2) (4.6.5)	施工範囲 ・ 図示 (図面番号: ) ポリエチレンフィルム厚さ ・ 0.15mm以上 ・ ( ) ・ 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

⑤ 鉄 筋 工 事	① 鉄筋の種類 (5.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="radio"/>SD295A</td> <td><input type="radio"/>D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD295B</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td>・ D19以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの	種類の記号	径	備考	<input type="radio"/> SD295A	<input type="radio"/> D16以下		・ SD295B	・ ( )		・ SD345	・ D19以上	
	種類の記号	径	備考											
<input type="radio"/> SD295A	<input type="radio"/> D16以下													
・ SD295B	・ ( )													
・ SD345	・ D19以上													
2. 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm) ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ ( ) 寸法 (mm) ・ 100×100 ・ 150×150 ・ ( )													
③ 内法直径 (5.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 <input type="radio"/> 図示													
④ 継手 (5.3.4)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="radio"/>重ね継手</td> <td>D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガス圧接</td> <td>D19以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ <input type="radio"/> 標準仕様書 [5.3.4] (3) (7) ・ 図示 (図面番号: ) 継手位置 <input type="radio"/> 各部配筋参考図による ・ 図示 (図面番号: ) 鉄筋定着 <input type="radio"/> 標準仕様書 [表5.3.4] ・ 図示 (図面番号: ) ・ 標準仕様書 [図5.3.3] ・ 図示 (図面番号: )		径	部位	<input type="radio"/> 重ね継手	D16以下		・ ガス圧接	D19以上					
	径	部位												
<input type="radio"/> 重ね継手	D16以下													
・ ガス圧接	D19以上													
⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5) (表5.3.6)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ <input type="radio"/> 標準仕様書 [表5.3.6] ・ 図示 (図面番号: ) <input type="radio"/> 図示													
⑥ 各部配筋 (5.3.7)	抜取試験方法 ・ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 引張試験方法 ・ 標準仕様書 [5.4.10] (f) (b) ・ ( )													
7. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	・ 機械式継手 適用箇所 ( ) 種類 ( ) 性能 ( ) 施工完了後の継手部の試験 ( ) 不合格となった継手部への措置 ( ) 鉄筋相互のあき ( )mm ・ 溶接継手 適用箇所 ( ) 工法 ( ) 性能 ( ) 施工完了後の溶接部の試験 ( ) 不合格となった溶接部への措置 ( ) 鉄筋相互のあき ( )mm													

③コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ
※構造図による			・ 18 (cm)
・			
・			

④コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ
・ (N/mm <sup>2</sup> )			・ t/m <sup>3</sup>	・ (cm)
・				
・				

⑤骨材

⑥コンクリートの材料

⑦打継ぎ

⑧養生

⑨型枠

10. 寒中コンクリート

11. 暑中コンクリート

12. マスコンクリート

13. 無筋コンクリート

14. 流動化コンクリート

7 鉄骨工事

1. 施工管理技術者

2. 製作工場

3. 鋼材

4. 高力ボルト

5. 普通ボルト

6. 溶融亜鉛めっき高力ボルト

7. アンカーボルト

8. 溶接材料

9. タンバックル

10. テックプレート

11. スタッド

12. 柱底均しモルタル

13. 材料試験等

14. ねじの孔径

15. 仮組

16. 溶接作業における技能資格者

17. 溶接部の開先

18. 溶接施工

19. 溶接部の試験

20. 錆止め塗装

21. 耐火被覆

22. 軽量形鋼

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

1. 補強コンクリートブロック造

2. コンクリートブロック帳壁及び塀

3. ALCパネル

4. 押出成形セメント板

区分	単位荷重 (N/mm <sup>2</sup> )	呼び寸法			構法	耐火性能
・外壁パネル	・ ( )	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)		
・間仕切壁パネル	・ ( )	・ 100	・ ( )	・ ( )	・ A種	・ ( ) 時間
・屋根パネル	・ ( )	・ 100	・ ( )	・ ( )	・ C種	・ ( ) 時間
・床パネル	・ ( )	・ 100	・ ( )	・ ( )	・ F種	・ ( ) 時間
		・ 120				
		・ 150				

9 防水工事

1. アスファルト防水 (表9.2.3) ~ (表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3)

改質アスファルトルーフィングシート  
種類・標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・図示( )  
厚さ・標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・図示( )  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート  
種類・標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・図示( )  
厚さ・標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・図示( )  
絶縁用シート  
・ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上)  
・フラットヤーンクロス(70g/m<sup>2</sup>)  
押え金物  
・アルミ製 L30×15×2.0 ・図示(図面番号: )  
断熱材  
・屋根保護防水断熱工法  
種類( ) 厚さ( ) mm  
・屋根露出防水断熱工法  
種類( ) 厚さ( ) mm  
(表9.2.3) 屋根保護防水  
~ (表9.2.6) 立ち上がり部の保護コンクリート ・図示(図面番号: )  
乾式保護材 ・使用する  
立ち上がり部保護れんが ・ JIS R 1250 ・( )  
(表9.2.7) 脱気装置  
・設置数量 図示(図面番号: ) 種類( )  
(表9.2.7) 屋根露出防水における仕上塗料  
(表9.2.8) ・図示(図面番号: ) 種類( ) 使用量( )  
(表9.2.9) 屋内防水密着工法における保護層  
・図示(図面番号: )  
E-1の工程3 ・行う ・行わない  
(9.2.4) 防水層の下地モルタル塗り  
・図示(図面番号: )  
立ち上がりのコンクリート打放し仕上げの種類  
種類 ・B種 ・( )  
(9.2.4) 屋根露出防水絶縁断熱工法  
ルーフトレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置  
・図示(図面番号: )  
(9.2.5) 保護コンクリートの厚さ  
こて仕上げ ・水下 80mm以上 ・( )  
床タイル張り ・水下 60mm以上 ・( )  
立ち上がり部の保護方法  
・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え  
・モルタル押え(屋内等) ・( )  
屋上排水溝  
・図示(図面番号: )

2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1) ~ (表9.3.3)

改質アスファルトシート  
種類・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・図示( )  
厚さ・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・図示( )  
粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート  
種類・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・図示( )  
押え金物の材質、形状、寸法  
・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・( )  
厚さ・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・図示( )  
仕上塗料  
・図示(図面番号: ) 種類( ) 使用量( )  
脱気装置  
・設置数量 図示(図面番号: ) 種類( )  
断熱材  
・屋根露出防水絶縁断熱工法  
種類( ) 厚さ( ) mm  
防湿用シートの設置 ・有り ・無し

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) (9.4.4) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3)

ルーフィングシート  
種類・標準仕様書[表9.4.1] ~ [表9.4.3] ・図示( )  
厚さ・標準仕様書[表9.4.1] ~ [表9.4.3] ・図示( )  
絶縁用シート  
・発砲ポリエチレンシート ・( )  
固定金具 材質、寸法形状( )  
・図示(図面番号: )  
断熱材 種類、厚さ  
・機械的固定工法 図示(図面番号: )  
・接着工法 図面番号: )  
仕上塗料  
・図示(図面番号: ) 種類( ) 使用量( )  
防湿用シートの設置 ・有り ・無し  
S-M2又はSI-M2で立上りを接着工法  
立ち上がり面のシート厚さ ・ 1.5mm ・( ) mm  
屋内保護密着工法  
モルタル塗り厚さ ・( ) mm  
立上り部の保護モルタル塗厚さ ・ 7mm以下 ・( ) mm  
目地処理  
PC下地 ・図示(図面番号: )  
増張り(S-F1、SI-F1)  
PC入隅部 ・図示(図面番号: )  
機械的固定工法  
風圧力に対応した工法 ・図示(図面番号: )

施工箇所	種別
	X-1
	X-2
	Y-1
	Y-2

4. 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)

脱気装置(X-1)  
・設置数量 図示(図面番号: ) 種類( )  
防水層の工程数及び各工程の使用量(Y-1、Y-2)  
・製造所の仕様による ・( )  
保護層(Y-2) ・図示(図面番号: )  
仕上塗料  
・図示(図面番号: ) 種類( ) 使用量( )  
適用部位 ・図示(図面番号: )  
防水層の種類 ・C-UI ・C-UP  
(9.6.1) 防水層の下地  
(9.6.3) 壁及び天井部の仕上げ ・コンクリート打放し仕上げ(B種)  
(9.6.4) ・図示(図面番号: )  
(表9.6.1) 下地処理 ・標準仕様書[9.6.4](2) ・( )  
(表9.6.2) ・標準仕様書[表9.7.1]による

6. シーリング (9.7.2) (9.7.3) (表9.7.1) (9.7.5)

接着性試験  
・簡易接着性試験 ・引張接着性試験

10 石工事

1. 共通 (10.1.3) (10.1.5)

割付 ・図示(図面番号: )  
粗面仕上げの場合のみみ込み部分の仕上げ ・( )  
清掃における床面ワックス ・使用する

2. 天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)

使用部位	種類(名称)	等級	寸法(mm)	表面仕上げ	工法	形状
床		2等		粗磨き ・( )		
壁		1等		水磨き ・( )		

ジェットパーナー仕上げ面 ・手加工あり ・機械加工バフ仕上げあり

3. テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	大理石	1.5~12mm	300型 400型	( )

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上
	大理石	1.5~12mm	平もの 役もの	片面 両面	( )	( )

4. その他の材料 (10.2.3)

取付用モルタル ・図示(図面番号: )  
目地用モルタル ・図示(図面番号: )  
石裏面処理材 ・図示(図面番号: )  
裏打ち処理材 ・図示(図面番号: )  
ドレンパイプ ・図示(図面番号: )  
充填材料 ・図示(図面番号: )

5. 外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3)

受け金物の材質、形状、寸法  
・図示(図面番号: )  
アンカーの材質及び寸法 ・ SS400 M12 ・( )  
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
ドレンパイプの材質  
・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ  
・( )  
石材の厚さ ・ 25mm以上 ・( )  
石裏面処理 ・適用する  
裏打ち処理 ・適用する  
下地ごしらえ  
・流し筋工法 ・あと施工アンカー工法  
・あと施工アンカー横筋流し工法  
目地 一般目地  
目地幅(mm) ・ 6以上 ・( )  
伸縮調整目地  
位置 ・標準仕様書[表11.1.1] ・図示(図面番号: )  
シーリング材の目地寸法  
・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号: )

6. 内壁空積工法 (10.2.2) (10.3.3) (10.4.2) (10.4.3)

受け金物の材質、形状、寸法  
・図示(図面番号: )  
アンカーの材質及び寸法 ・ SS400 M12 ・( )  
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
石材の厚さ ・ 20mm以上 ・( )  
下地ごしらえ  
・あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法  
目地 一般目地  
目地幅(mm) ・ 6以上 ・( )  
伸縮調整目地  
位置 ・ 6mごと ・図示(図面番号: )  
シーリング材の目地寸法  
・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号: )

7. 乾式工法 (10.2.2) (10.5.2) (10.5.3)

金物の種類、形状、寸法 ・図示(図面番号: )  
取り付け工法  
・スライド方式 ・ロッキング方式  
アンカーの材質及び寸法 ・ SS304 M10 ・( )  
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
石材の厚さ ・ 30mm以上(外壁) ・ 25mm以上(内壁) ・( )  
たば用穴の位置 ・図示(図面番号: )  
石裏面処理 ・適用する  
裏打ち処理 ・適用する  
風圧力に対応した工法 ・図示(図面番号: )  
目地  
目地幅(mm) ・ 8以上 ・( )  
シーリング材 ・適用する

8. 床及び階段の石張り (10.3.3) (10.6.2) (10.6.3)

石材の厚さ ・( )  
石裏面処理 ・適用する  
目地 一般目地  
目地幅(mm) ・ 屋内4mm以上、屋外3~6mm  
・図示(図面番号: )  
伸縮調整目地  
位置 ・標準仕様書[10.6.2](5)(4)(a)  
・図示(図面番号: )  
シーリング材の目地寸法  
・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号: )

9. アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2) (10.3.3) (10.7.1) (10.7.2)

取付け金物 ・標準仕様書[10.2.2](3) ・( )  
吊金物及び化粧吊りボルト  
・設ける  
吊金物 ・ステンレス(SUS304) 径6mm長さ80mm(加工物)  
吊りボルト ・ステンレス(SUS304) M10 化粧ナット付き  
アンカーの材質及び寸法 ・ SS304 M10 ・( )  
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法  
石材の厚さ ・( )  
石裏面処理 ・適用する  
裏打ち処理 ・適用する  
目地 一般目地  
目地幅(mm) ・ 6以上 ・( )  
伸縮調整目地  
位置 ・図示(図面番号: )  
シーリング材の目地寸法  
・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号: )

10. 笠木、甲板等 (10.2.2) (10.3.3) (10.5.3) (10.7.1) (10.7.3)

取付け金物 ・標準仕様書[10.2.2](3) ・( )  
アンカーの材質及び寸法 ・ SS304 M10 ・( )  
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法  
石材の厚さ ・( )  
石裏面処理 ・適用する  
取付け代(乾式工法の場合)(mm)  
・標準仕様書[10.5.3](2) ・( )  
石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)  
・適用する 図示(図面番号: )  
目地 一般目地  
目地幅(mm) ・( )  
伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)  
位置 ・図示(図面番号: )  
シーリング材の目地寸法  
・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号: )  
石材の厚さ ・ 40mm ・( )

11. 隔て板 (10.7.4)

①伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)  
位置 〇 標準仕様書[表11.1.1] ・図示(図面番号: )

②タイル張り (表11.2.3) (11.2.2) (11.2.3) (11.3.2) (11.3.4) (表11.3.2)

施工箇所	工法	種類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役物	標準・特注色の別	耐凍害性の有無
床	湿式	I類	100角	○			標準	

・役物( )  
・試験張りを行う  
・見本焼きを行う  
・既モルタル調査( )  
(11.2.7) セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事  
(11.3.7) コンクリート素地面の処理 ・適用箇所 図示(図面番号: )  
〇 目荒し工法 ・ MCR工法  
有機系接着剤あと張り工事  
シーリング材  
打継、ひび割れ誘発目地 ・ PU-2 ・( )  
伸縮、その他目地 ・ MS-2 ・( )

備考

備	
考	

**NISSHIN SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE	
Drawn Title	特記仕様書04	SCALE	
		Nb Scale	
	設計担当者		
一般建築士 No. 265708 出口基樹			A-04 原図 A2

1. 木材 (12.1.4) 見え掛り部の表面仕上げ  
機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
(表12.1.1) 適用箇所 ( )  
(表12.1.2) 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種  
(12.2.1) 木材の含水率

部材名称	種別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

樹種 ・ 図示 (図面番号: )

2. 製材 (12.2.1) (2) (7) 「製材の日本農林規格」による製材

樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	県産材
下地用 針葉樹製材 (: )	( )				
造作用 針葉樹製材 (: )	( )				
広葉樹製材 (: )	( )	・ 10% 以下			

(12.2.1) (2) (4) 「製材の日本農林規格」以外の製材  
(表12.2.2) 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率  
・ 図示 (図面番号: )  
造作材の材面の品質 ・ A種 ( )  
樹種

部位	樹種	県産材

3. 集成材等 (12.2.1) 造作用集成材  
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

品名・樹種・寸法 見付け材面数	品質	化粧薄板厚さ
造作用集成材 ・ 図示 (図面番号: )	( )	
化粧ばり造作用集成材 ・ 図示 (図面番号: )	( )	
化粧ばり構造用集成材 ・ 図示 (図面番号: )		

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材  
樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率  
・ 図示 (図面番号: )

4. 単板積層材 (12.2.1) 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材  
品名、寸法、表面の品質及び防虫処理  
・ 図示 (図面番号: )  
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材  
寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理  
・ 図示 (図面番号: )

5. 直交集成材 (12.2.1) 「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材  
品名、曲げ強度(強度等級)、種別、接着性能(使用環境)、樹種、寸法  
・ 図示 (図面番号: )

6. 合板等 (12.2.1)

品名・品目	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫・保存処理等	厚さ

構造用合板の強度等級  
・ 図示 (図面番号: )  
特殊加工化粧合板の化粧加工方法  
・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ( )

7. 接合具等 (12.2.2) パーティクルボード  
表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等  
・ 図示 (図面番号: )  
ミディアムデンシティーファーバーボード (MDF)  
表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等  
・ 図示 (図面番号: )

(12.2.3) 造材材の化粧面の釘打ち  
・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し  
諸金物の形状、寸法、材質  
・ 図示 (図面番号: )

(12.3.1) 7. 接合具等 (12.2.2) 防腐・防蟻  
薬剤加圧注入  
・ 防虫処理  
(12.3.1) 薬剤加圧注入  
適用部材、保存処理性能区分 ・ 図示 (図面番号: )  
(12.3.2) 薬剤の塗布等  
処理方法 ・ 標準仕様書[12.3.1] (f) (b) ( )  
附属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存剤による処理  
薬剤の種類、適用部材 ・ 図示 (図面番号: )  
薬剤の接着剤への混入 ( )  
合板等の加圧注入 ( )  
防虫処理 ( )

8. 折板葺 (13.3.2) 1. 長尺金属板葺 (13.2.2) 屋根葺形式  
材種 厚さ (mm) 下葺の種類 備考  
縦ハセ葺 ・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板 ・ 0.6 ・ アスファルトルーフィング940

(13.2.3) 風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
・ 図示 (図面番号: )  
雪止め ・ 図示 (図面番号: )

(13.3.3) 2. 折板葺 (13.3.2) 緊結方法 板厚(mm) 山の高さ(mm) 山のピッチ(mm) 耐力区分  
・ 0.8 ・ 90 ( ) ( ) ( )  
・ 0.6 ( ) ( ) ( )

(表13.2.1) ・ 重ね形 材種 軒先面戸板  
・ はせ締め形 ・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板 ( )  
・ なし

タイトフレーム 材料 ( )  
断熱材 種別 ・ ガラス繊維シート ( )  
厚さ (mm) ・ 5 ( )  
防火性能 ( )

風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
・ 図示 (図面番号: )  
けらば納め けらば包み ( )

3. 粘土瓦葺 (13.4.2) 種類 大きさ 産地 役物の種類 棟の工法

(13.4.3) 凍害試験 ・ 行う ・ 行わない  
雪止め瓦 ・ 使用する  
瓦葺木の材種、寸法 ・ 杉 21×15 ( )  
棟補強用材の材質、寸法 ・ 杉 40×30 ( )  
棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法、留付け方法  
・ 図示 (図面番号: )  
下葺材の種類 ( )  
風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示 (図面番号: )  
棟木の留付け工法 ・ 図示 (図面番号: )  
棟の工法 ・ 標準仕様書[13.4.3] (4) ・ 図示 (図面番号: )

4. とい (13.5.2) 材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ 配管用鋼管(白管)  
( ) ( )  
(表13.5.1) 耐酸被覆鋼板 材質等 ( )  
(表13.5.2) 受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔  
(13.5.3) ・ 図示  
(表13.5.5) 軒といの取付け間隔 (多雪地域) ・ 0.5m以下 ( )  
鋼管製といの防露巻工法  
・ 標準仕様書[表13.5.5] ( )

1. ステンレス (14.2.1) 表面仕上げ ・ HL仕上げ ( )  
2. アルミニウム (14.2.2) 表面処理の種別  
(表14.2.1) ・ AB-1 ・ AB-2 ・ AC-1 ・ AC-2 ・ BA-1  
・ BA-2 ・ BB-1 ・ BB-2 ・ BC-1 ・ BC-2  
常温乾燥形の塗装 ( )  
陽極酸化被膜の着色方法 ・ 二次電解着色 ( )  
陽極酸化被膜の色合い等 ( )

3. 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2) 亜鉛めっきの種別  
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種

4. 軽量鉄骨 (14.4.2) 野緑などの種類  
天井下地 屋内 ・ 19形 ( )  
屋外 ・ 25形 ( )  
(表14.4.1) 屋外の野緑受等の間隔 ・ 図示 (図面番号: )  
(14.4.3) 吊りボルトの補強方法 (@900mm超) ・ 図示 (図面番号: )  
(表14.4.2) 吊りボルトの水平補強、斜め補強  
(14.4.4) ・ 1.5≦天井ふところ≦3.0m ・ 標準仕様書[14.4.4] (8)  
・ 図示 (図面番号: )  
・ 天井ふところ>3.0m 図示 (図面番号: )  
・ 耐震天井 図示 (図面番号: )  
・ 耐風圧の補強 図示 (図面番号: )

5. 軽量鉄骨壁 (14.5.3) スタッド、ランナーの種類  
下地 ・ 標準仕様書[表14.5.1] ・ 図示 (図面番号: )  
(表14.5.1) スタッドの高さ5m超  
・ 図示 (図面番号: )  
(14.5.4) 出入口、開口部の補強 ・ 標準仕様書[14.5.4] (4) ( )

6. 金属成形板 (14.6.2) 板張り 施工箇所  
種別 ・ アルミニウム ・ ステンレス ・ 鋼  
(14.6.3) 形状 ・ スパンドレル形 ・ パネル形  
表面処理

取付け用下地 ・ 図示 (図面番号: )  
長尺ものにおける伸縮調整継手  
・ 設ける 図示 (図面番号: )

7. アルミニウム製笠木 (14.7.2) 部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形  
表面処理 ( )  
(14.7.3) 固定方法 ・ 図示 (図面番号: )  
風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示 (図面番号: )  
(表14.7.1)

8. 手すり (14.8.2) 材種 表面処理の種別 施工箇所  
アルミニウム ・ 標準仕様書[表14.2.1]の種別(種) スロープ・階段  
( ) ( )  
鋼 ・ 標準仕様書[表14.2.2]の種別(種)  
( ) ( )  
ステンレス ・ HL程度 ( )

9. タラップ (14.8.3) 材種 表面処理の種別 施工箇所  
鋼 ・ 標準仕様書[表14.2.2]の種別(種)  
ステンレス

10. 天井見切縁 材種 ・ アルミニウム合金製 ・ 塩化ビニル製

11. 点検口 取付箇所 材種 寸法 形式  
・ 天井 ・ アルミニウム製 ・ 450角 ・ 額縁タイプ  
・ 床 ・ アルミニウム製 ・ 450角 ・ 目地タイプ

1. ラス系下地 (15.2.4) 通気工法 ・ 二層下地 ・ 単層下地  
直張り工法 ・ ラスマルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地  
ラス及び補強用平ラス

素材による区分	種類	質量 (kg/m <sup>2</sup> )
( )	( )	( )

ラスシート

山高	山ピッチ (mm)	質量 (kg)	溶接ピッチによる区分
( )	( )	( )	( )

外張断熱工法 ・ 図示 (図面番号: )  
耐力壁、防火構造等の指定 ・ 図示 (図面番号: )  
ステープルの形状、寸法 ・ 図示 (図面番号: )  
換気口部の措置 ・ 標準仕様書(木造)[11.4.3] ( )

2. せっこうボード (15.2.5) せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ  
その他のボード下地 ・ 図示 (図面番号: ) ( )  
木質系セメント板の種類、厚さ  
・ 図示 (図面番号: ) ( )

3. こまい下地 (15.2.6) 耐力壁の指定 ・ 図面 (図面番号: )  
木ずり用小幅板の樹種 ・ 図示 (図面番号: )

④モルタル塗り (15.3.2) 材料 ○現場調合材料 ○既調合材料  
既製目地材 ・ 使用する 図示 (図面番号: )  
(15.3.5) 床の目地 ・ 図示 (図面番号: )  
下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験 (外壁タイル張り等)  
・ 実施する

5. セルフレバリング (15.5.2) (表15.5.1) 種類 ・ せっこう系 ・ セメント系

⑥仕上塗材仕上 (15.6.2) (表15.6.1)

種類	呼び名	仕上形状	工法
薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	・ 吹付け
	・ 内装薄塗材E	・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	スタックコ状 ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状	・ 吹付け
	・ 外装厚塗材Si	スタックコ状 ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状	・ 吹付け
	・ 外装厚塗材E	スタックコ状 ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて
	( )	( )	( )
複層仕上塗材	○複層塗材E ・ 複層塗材RE	○ゆず肌状 ・ 凸部処理	○ローラー
	○防水型複層塗材E ・ 防水型複層塗材RE	・ 凹凸状	・ 吹付け
軽量骨材仕上塗材	・ 吹付け軽量塗材	・ 砂壁状	・ 吹付け
	・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状	・ こて

内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの)  
・ JIS A 6909 調湿形  
複層仕上塗材の耐候性 ・ 耐候形3種 ( )  
外装厚塗材Cの上塗材  
・ セメントスタック以外の場合 材所要量 ( kg/m<sup>2</sup>)



18 塗装工事

3. 耐候性塗料塗り (DP) (18.7.2) (表18.7.1) (18.7.3) (18.7.4)

下地の種類	施工箇所	上塗り等級	カラー・ECP面における種類
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ A種 ・ B種 ・ C種

4. オイルステイン塗り (18.12.2)

塗料 ( )

19 内装工事

1. ビニル床シート張り (19.2.2) (表19.2.1)

種類	色柄	厚さ(mm)	継目
・ FS	・ 無地	・ 2.0	・ 溶接
・ ( )	・ 柄物	・ ( )	・ 突付け

接着剤の種類、施工箇所  
セメント系下地、木質系下地以外 (図面番号: )

2. ビニル床タイル張り (19.2.2) (表19.2.1)

寸法・色合	種類	厚さ(mm)
・ 300×300 ( )	・ コンポジションビニル床タイル (KT)	・ 半硬質
・ 450×450 ( )	・ コンポジションビニル床タイル (KT)	・ 軟質
	・ ホモジニアスビニルタイル	・ ( )

接着剤の種類、施工箇所  
セメント系下地、木質系下地以外 (図面番号: )

3. 特殊機能床材 (19.2.2) (表19.2.2)

- ・ 帯電防止ビニルシート・床タイル 寸法( ) mm 厚さ( ) mm 種類( )
- ・ 視覚障害者用床タイル 種類(・ ビニル床タイル ( )) 形状(・ 300×300 ( ))
- ・ 耐動荷重性床シート 種類( ) 寸法( ) 厚さ( mm)
- ・ ゴム床タイル 色柄( ) 種類( ) 寸法( ) 厚さ( mm)

接着剤の種類、施工箇所  
セメント系下地、木質系下地以外 (図面番号: )  
・ 防滑り性床シート・床タイル 種類( ) 寸法( ) 厚さ( )

4. ビニル幅木 (19.2.2)

種類 (図面番号: )  
高さ (図面番号: ) ・ 60mm  
厚さ (図面番号: ) ・ 1.5mm以上

5. 施工 (19.2.3)

下地 ・ モルタル ・ セルフレリング ・ 木造 ・ ( )  
目地処理工法 ・ 突付け ・ 熱溶接工法

6. カーペット敷き (19.3.2) (表19.3.1) (表19.3.2)

種類	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	織り方
・ A種	・ 無地	・ ループ	・ パイル長	・ ウィルトンカーペット
・ B種	・ 柄物	・ カット	・ 5~7mm	・ ダブルフェースカーペット
・ C種	(標準品)	・ カット、ループ併用	・ 4~6mm	・ アキスミンスターカーペット

種類	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法
・ タフテッドカーペット	・ 無地	・ ループ	・ パイル長	・ グリッパー
・ ニードルパンチカーペット	・ 柄物	・ カット	・ 5~7mm	・ 全面接着
・ タイルカーペット	・ 無地	・ ループ	・ 総厚さ、サイズ	・ 全面接着
	・ 柄物	・ カット	・ 6.5mm	・ 500角

・ 帯電性(人体帯電電圧の値3kV以下)  
タイルカーペットの敷き方(全面接着工法)  
平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し (図面番号: )  
階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し (図面番号: )  
下敷き材 ・ 第2種2号、呼び厚さ8mm  
(図面番号: )  
見切り、押え金物  
・ 材質( ) ・ 種類( )  
・ 形状(図面番号: )  
織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ( )

7. 合成樹脂塗床 (19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) (表19.4.8)

- ・ 弾性ウレタン塗床材 (JISK 5970) 仕上げ  
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
- ・ エポキシ樹脂塗床材 (JISK 5970) 工法、仕上げ  
・ 薄膜流しのペエ工法(・ 平滑 ・ 防滑)  
・ 厚膜流しのペエ工法(・ 平滑 ・ 防滑)  
・ 樹脂モルタル工法(・ 平滑 ・ 防滑)  
・ 塗膜型塗床工法(平滑)

8. フローリング張り (19.5.2) (19.5.3) (19.5.4) (19.5.5) (19.5.6) (表19.5.2) (表19.5.4)

材料 ・ 単層フローリング ・ フローリングボード(1等) ・ フローリングブロック(1等) ・ 複合フローリング

・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種	・ なら
	・ B種	・ ( )
	・ C種	・ ( )

・ 接着工法

材料	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	裏面緩衝材
・ フローリングボード (直張用)	・ なら			・ 合成樹脂製泡シート
・ フローリングブロック (直張用)	・ ( )			
・ 複合フローリング (直張用)	・ A種			
	・ B種			
	・ C種			

現場塗装  
仕上げ ・ ウレタン樹脂ワニス塗り(・ A種 ・ B種)  
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り  
・ 生地そのままワックス塗り ( )

9. 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種  
・ D種の畳床 KT- (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)

10. セッコウボード、その他のボード及び合板張り (19.7.2) (表19.7.1) (19.7.3) (表19.7.3) (表19.7.5)

種類	種別	厚さ(mm)	
		壁	天井
・ セッコウボード		・ 9.5(準不燃)	・ 12.5(不燃)
・ 化粧セッコウボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃)	・ 9.5(準不燃)
	・ 木目模様	・ 9.5(不燃)	・ 9.5(準不燃)
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9	・ ( )
	・ 立体模様	・ 9	・ ( )
・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	・ ( )	・ ( )
・ ( )	・ ( )	・ ( )	・ ( )

合板張り  
・ 普通合板 表面の樹種名 ・ 生地そのまま (透明塗料塗り)ラワン (不透明塗料塗り)しな ( )  
板面の品質 ( ) 厚さ( mm)  
接着の程度 ・ 1類(湿潤箇所) ・ ( )  
防虫処理 ( )  
・ 天然化粧合板 化粧板の樹種名 ( )  
厚さ( mm)  
接着の程度 ・ 1類(湿潤箇所) ・ ( )  
防虫処理 ( )  
・ 特殊加工合板 化粧加工の方法  
・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ( )  
表面性能 ( ) 厚さ( mm)  
接着の程度 ・ 1類(湿潤箇所) ・ ( )  
防虫処理 ( )

12. 壁紙張り (19.8.2) (19.8.3)

施工箇所	種類	防火性能	品質

遮音シール材  
・ 適用する(・ シーリング材 ・ ジョイコンパウンド)  
合板類の張付け ・ B種 ・ A種  
せっこうボードの目地工法  
・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し  
下地 ・ 軽量鉄骨 ・ 木造 ( )

13. 断熱材 (19.9.2) (19.9.3)

施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)		
	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		
	・ フェノールフォーム断熱材		

素地ごしえ  
せっこうボード面 ・ B種 ・ A種  
コンクリート面 ・ B種 ・ A種  
モルタル・プラスター面 ・ B種 ・ A種

1. フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	所定荷重	高さ(mm)	床仕上げ材及び厚さ(mm)	備考
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ ( ) ・ ビニル床タイル ( )mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ( )
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ ( ) ・ ビニル床タイル ( )mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ( )

試験方法 20.2.2(2)(イ)(a) ~ (d)  
寸法精度 20.2.2(2)(イ)(a) ~ (c)

2. 可動間仕切 (20.2.3)

組立て方式  
・ スタッド式 ・ パネル式 ・ スタッドパネル式  
寸法及び形状 (図面番号: )  
表面材の材質及び仕上げ (図面番号: )  
遮音性 ・ 高遮音

3. 移動間仕切 (20.2.4)

操作方法 ・ 手動式 ・ 電動式  
表面材の材質及び仕上げ (図面番号: )  
遮音性 ・ 高遮音  
ハンガーレールの取付け下地の補強  
・ 標準仕様書[20.2.4](3)(イ) (図面番号: )  
パネルをランナーに取り付ける部品  
・ 標準仕様書[20.2.4](3)(イ) (図面番号: )  
ハンガーレール  
・ 標準仕様書[20.2.4](3)(イ) (図面番号: )  
ランナー  
・ 標準仕様書[20.2.4](3)(イ) (図面番号: )  
ハンガーレールの固定方法  
・ 溶接 ・ あと施工アンカー(材質: 、寸法: )

4. トイレブース (20.2.5)

表面仕上 ・ メラミン樹脂系化粧板  
・ ポリエステル樹脂系化粧板  
脚部 ・ 幅木 (図示)  
扉小口の材質 ・ ステンレス製 ・ アルミ製

5. 階段滑り止め (20.2.6)

・ ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き)  
・ ( )  
寸法 ・ 約35mm (図面番号: )  
工法 ・ 接着工法 ・ 埋込み工法

6. 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

黒板の種類 ・ 焼付け ( )  
黒板の色 ・ 緑 ( )

②0 ユニット及びその他工事

7. 鏡 (20.2.14)

8. 表示 (20.2.10)

区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法
・ 室名札	・ アクリル	・ 5mm	・ ( )	・ シルクスクリーン印刷	・ ( )
・ ( )	・ ( )			・ ( )	
・ 案内板	・ アクリル	・ 5mm	・ ( )	・ シルクスクリーン印刷	・ ( )
・ ( )	・ ( )			・ ( )	

- ・ 衝突防止表示 (図面番号: )
- ・ 非常用進入口表示 (図面番号: )

適用安全使用温度 ( °C)

9. 煙突ライニング (20.2.11)

10. ブラインド (20.2.12)

形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類
・ 横形ブラインド	・ アルミニウム合金	・ ギヤ式 ・ コード式	・ 25 ・ ( )	・ 鋼製 ・ ( )
・ 縦形ブラインド	・ アルミニウム合金	・ ギヤ式 ・ コード式	・ 80 ・ 100 ・ ( )	・ ( )

操作方法 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式  
寸法及び材質 (図面番号: )

11. ロールスクリーン (20.2.13)

カーテンの形式等

きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ ドレープ	・ フランスひだ	・ 片引き	・ 手引き
・ レース	・ 箱ひだ	・ 引分け	・ ひも引き
・ 図示( )	・ プレーンひだ	・ 片ひだ	・ 電動
・ 暗幕(遮光( )織)	・ ( )	・ ( )	・ ( )

カーテンレール ・ アルミ製 ・ ステンレス製  
強さによる区分 ・ 10-90 ( )  
形状 ・ シングル ・ ダブル  
断面形状 ・ 角形 ・ C形 ・ D形

13. プレキャストコンクリート工事 (20.3.2) (20.3.3) (20.3.4)

補強鉄線の径 ・ 3.2mm ( )  
補強鉄線の網目寸法 ( )  
設計基準強度Fc (図示)  
配筋 (図示)  
取付方法 (図示)

14. 間知石間知ブロック積 (20.4.2) (20.4.3)

材質 ( )  
種類及び質量区分 (図面番号: )  
積み方 ・ 谷積み ・ 布積み  
目塗り ( )  
伸縮調整目地 ・ 材質( ) ・ 厚さ( mm)

②1 RCa1便所

① H.O.C株式会社 パーティ同等品  
※仕様は図示(図面番号: A-09)参照

②1 排水工事

1. 排水管 (21.2.1) (表21.2.1)

材種	管の種類	呼び径	備考
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP		

2. 排水樹等 (21.2.1)

- ・ 排水樹 種類及び寸法 (図示)
- ・ 適用荷重 ( )
- ・ 排水溝 種類及び寸法 (図面番号: )
- ・ ふた/グレーチングの種類

材質	用途	適用荷重	メインパーピッチ	斜度固定



21 排水工事

③ 地業の材料 (21.2.1) ・再生クラッシュラン ○ 切込砂利又は切込砕石  
・砂の粒度試験

④ 埋め戻し土 (21.2.1) ○ B種 ・ A種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土

5. 施工 (21.2.2) 遠心力鉄筋コンクリート管  
基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号: )  
硬質ポリ塩化ビニル管  
基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号: )  
継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪

⑥ 街きよ (21.3.1) 緑石、側溝  
形状、寸法 ○ 図示  
地業 (21.3.2) 厚さ ○ 150mm ○ 図示

22 舗装工事

1. 路床 (22.2.2) 路床の材料 (厚さは図示 (図面番号: ))  
・遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂  
(22.2.3) ・凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ ( )  
(表22.2.1) ・ フィルター層 ・ 砂  
(22.2.4) 路床安定処理 ・ 行う  
(22.2.5) 添加材料による安定処理  
種類 ・ 普通ポルトランドセメント  
・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 ( )号  
・ 消石灰 ( )号  
添加量 ( )kg/m<sup>3</sup> (目標CBR ・ 5以上 ・ ( ))  
盛土に用いる材料  
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土  
C種の場合: 建設発生土受入量 ( )m<sup>3</sup>  
片道の運搬距離 ( )km  
試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験  
・ 路床締め固めの試験  
・ 現場CBR試験

舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料
・ アスファルト舗装	・ ( ) ・ ( )	・ 再生クラッシュラン
・ カラー舗装	・ ( ) ・ ( )	・ クラッシュラン
・ 透水性アスファルト舗装	・ ( ) ・ ( )	・ 鉄鋼スラグ
・ インターロッキング ブロック舗装	・ ( ) ・ ( )	・ クラッシュラン ・ ( )
・ ( )	・ ( ) ・ ( )	

2. 路盤 (22.3.2) 舗装の種類  
(表22.3.1) ・ アスファルト舗装 ・ ( ) ・ ( )  
(22.3.3) ・ カラー舗装 ・ ( ) ・ ( )  
・ 透水性アスファルト舗装 ・ ( ) ・ ( )  
・ インターロッキング  
ブロック舗装 ・ ( ) ・ ( )  
・ ( ) ・ ( ) ・ ( )

3. アスファルト舗装 (22.4.2) 舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号: )  
(22.4.6) 表層の種類 ・ A-3-10 ・ ( )  
(表22.4.1) 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)  
(表22.4.6) 基層の種類 ・ 粗粒度アスファルト混合物 (20) ・ ( )  
試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験

4. コンクリート舗装 (22.5.2) 舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号: )  
(22.5.6) 構造 ・ 標準仕様書 [表22.5.1] ・ ( )  
早強セメント ・ 使用する  
注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ  
目地 ・ 種類 ( ) ・ 間隔 ( )  
・ 標準仕様書 [表22.5.3]

5. カラー舗装 (22.6.2) 種類  
(22.6.3) ・ 加熱系 構成及び厚さ ( )  
混合物 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系 (顔料の添加量: )  
添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石  
・ 常温系  
工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法  
着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装

6. 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) 材料  
(表22.7.1) ・ ストレートアスファルト  
・ 改質アスファルト (・ I型 ・ II型 ・ ( )型)  
厚さ (mm) ・ ( ) ・ 図示 (図面番号: )

7. ブロック系舗装 (22.8.2) 舗装の種類  
(22.8.3) ・ コンクリート  
平板舗装 ・ 普通平板  
・ 透水平板  
寸法 (mm) ・ 300角  
厚さ (mm) ・ 60  
備考 目地 ・ 砂 ・ モルタル  
表面加工  
・ 研ぎ出し  
・ 洗い出し  
・ たき出し

・ インター  
ロッキング  
ブロック舗装 ・ 普通ブロック  
・ 透水性ブロック  
車道部  
・ 80  
・ ( )  
歩道部  
・ 60  
・ ( )  
・ 養生用ブロック  
・ 80・100

・ 舗石舗装 ・ 小舗石  
・ 花こう岩  
・ ( )  
施工方法  
・ うろこ張り  
・ ( )  
基層  
・ コンクリート舗装  
・ アスファルト舗装

8. 砂利敷き (22.9.2) ・ 通路部 ・ A種 ・ B種 ・ ( )  
・ 建物周囲 ・ B種 ・ A種 ・ ( )

23 植栽工事

1. 植栽地の確認 (23.1.3) ・ 土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 行う  
・ 電気伝導度類 (EC) の試験 ・ 行う  
( )の試験 ・ 行う

2. 植栽基盤 (23.2.2) 植栽基盤整備工法  
(23.2.3) ・ 樹木 ( ・ A種 ・ ( ) )  
(表23.2.2) ・ 芝及び地被類 ( ・ B種 ・ ( ) )  
有効土層 面積 ・ 図示 (図面番号: )  
厚さ ・ 図示 (図面番号: )  
排水設備 ・ 設ける  
( ・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ ( ) )  
埋込み用土 ・ 現場発生の良い土 ・ 客土  
土壌改良材 ・ ( )

3. 植樹 (23.3.2) 樹木の種類 ・ 図示 (図面番号: )  
(23.3.3) 寸法 ・ 図示 (図面番号: )  
株立数 ・ 図示 (図面番号: )  
刈込み ・ あり ・ なし  
支柱材  
・ 丸太 (防腐処理方法 ・ 加圧式防腐処理方法 ・ ( ) )  
・ ( )  
支柱形式 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け系 ・ ( )  
幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも

4. 新植樹木の  
枯補償 (23.3.4) 引渡しの日から ・ 1年 ・ ( )

5. 移植樹木の  
枯損処理 (23.3.6) 引渡しの日から ・ 1年 ・ ( )

6. 芝 (23.4.2) 種類 ・ コウライシバ ・ ノシバ ・ ( )  
(23.4.3)

7. 屋上緑化 (23.5.2) 植栽基盤及び材料  
(23.5.3) ・ 屋上緑化システム  
(23.5.4) 土壌層の厚さ ・ 図示 (図面番号: )  
排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ: ) ・ 板状成形品  
植込み用土 ・ 改良土 ・ 人工軽量土  
樹木の材種 図示 (図面番号: )  
寸法 図示 (図面番号: )  
株立数 図示 (図面番号: )  
・ 屋上緑化軽量システム  
芝及び地被類の樹種並びに種類等  
・ 図示 (図面番号: )  
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等  
・ 図示 (図面番号: )  
支柱 ・ 図示 (図面番号: )  
かん水装置 ・ 図示 (図面番号: )

24 外構工事

1. 旗竿 材質 ・ アルミニウム製 ・ ( )  
形式 テーバー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式  
脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式  
高さ (m) ・ 5 ・ 6 ・ 7

2. フェンス ・ ネットフェンス ・ 網材種 ( ・ ビニル被覆鉄線 ・ ( ) )  
・ メッシュフェンス  
網材種 ( ・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ( ) )  
・ 格子フェンス  
網材種 ( ・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ( ) )

備考

**NISSHIN  
SEKKEI**  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE	
Drawings Title	特記仕様書08	SCALE	No Scale
設計担当者		A-08 原図: A2	
一級建築士 No. 265708 出口基樹			

■ 建築主	住所	三重県津市西丸之内23-1
	氏名	津市
	代表者名	津市長 前菜泰幸
■ 工事種別	○ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 移転 ・ 用途変更 ・ 大規模の修繕	
■ 敷地概要	1. 地名地番	三重県津市藤方地内
	2. 敷地面積	317.88 m <sup>2</sup>
	3. 道路	幅員 0.0m
	4. 敷地状況	平坦(砂地)
	5. 用途地域	・ 第1種低層住居専用地域 ・ 第2種低層住居専用地域 ・ 第1種中高層住居専用地域 ・ 第2種中高層住居専用地域 ・ 第1種住居地域 ・ 第2種住居地域 ・ 準住居地域 ・ 近隣商業地域 ・ 商業地域 ・ 準工業地域 ・ 工業地域 ・ 工業専用地域 ・ 用途地域無指定 ・ 都市計画区域外 ○市街化調整区域
	6. 防火地域	・ 防火 ・ 準防火 ・ 無指定 ○法22条区域
	7. 高度地区	
	8. 日影規制	・ 有 ○無
	9. その他の規制	
■ 建物概要	1. 主用途	公衆便所
	2. 階数	地上1階
	3. 建物高さ	最高の高さ 2.97 m 最高の軒高 2.55 m
	4. 面積	建築面積 23.64 m <sup>2</sup>  1F床面積 19.96 m <sup>2</sup> 延床面積 19.96 m <sup>2</sup>
	5. 許可・認可等	港湾法37条第1項 港湾区域(港湾隣接地域)内水域(公共空地)占用許可 建築基準法43条第2項第二号 許可
■ 構造概要	1. 構造種別	○ R C造 ・ S造 ・ SRC造 ・ 木造
	2. 杭地業	・ 既製コンクリート杭 ・ 場所打ち杭 ・ 地盤改良(柱状)
	3. 基礎	・ 独立基礎 ・ 布基礎 ○ べた基礎
	4. その他	
■ 設備概要	各設備特記仕様書による	
	○ 本工事 (○ 電気設備工事 ○ 機械設備工事 ・ 浄化槽設備工事) ・ 別途工事 (・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事 ・ 浄化槽設備工事)	

### R Cユニット便所仕様

### ■ 外部仕上表

工事区分	部位	項目	仕様 (RCユニット便所)	員数	備考
ユニット工事	屋根及びとい	片流れ屋根	カラーガルバリウム鋼板t0.6 縦ハゼ葺 野地板:75x75x12mm F940、t27(杉、無処理材) WP塗装 小屋組:垂鉛メッキ+SOP塗装仕上げ ケラバ包み:カラーガルバリウム鋼板t0.6	—	H.O.C株式会社 パ-ケトル同等品
		雨水排水部材	雨水排水金物:ステンレスボックス加工 縦樋:硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) φ60 SUS掴み金物共	3	
	躯体	本体	鉄筋コンクリート (Fc:30kN/m <sup>2</sup> 、SD295A)	—	
	防水	屋根面	ウレタン系塗膜防水仕上げ	—	
	外装	外壁	外周:塗装仕上げ(複層仕上塗材E) ジョイント部:シリカ MS-2 内側:50x50x10mm 外装タイル貼り仕上げ	—	
		トブライトドーム	ポリカーボネート樹脂:1300角ドーム(乳白色) t=4.0 網入りガラス t=6.8 防火認定DW-9054	3	
		ピクトサイン	アルミ複合板-180x300x3.0/絵柄:インクジェット印刷(UVフィルム貼り)	3	
	建具	案内図	ステンレス H.L仕上げ 300x250x1.5(透明樹脂点字シートUVフィルム貼り)	1	
		ハンガースライド扉(多目的)	表面材:カラー化粧鋼板、アルミ換気ガラリ付き 使用表示錠、非常解錠装置付き、*管理用外施錠鍵付き(共通鍵)	1	
		ハンガースライド扉(男子/女子)	表面材:カラー化粧鋼板、アルミ換気ガラリ付き *管理用外施錠鍵付き(共通鍵)	2	

仕上げの色は監督員と協議にて決定するものとする

### ■ 内部仕上表

工事区分	部位	項目	仕様 (RCユニット便所)	員数	備考
ユニット工事	内装	内壁	複層仕上塗材E	—	H.O.C株式会社 パ-ケトル同等品
		床	磁器質100角ノンスリップタイル貼り	—	
		ふかし壁	軽量鉄骨下地、耐水PBTt12.5、メラミン化粧板 t=6 ステンレス巾木 H=60	—	
		面台	軽量鉄骨下地 MDF芯材(t=20)、表面材:メラミン化粧板	—	
	建具	トイレブース	表面材:メラミン化粧板 t=40 *用具入れは外施錠付き(共通鍵)	5	
	電気設備	電灯設備	LED照明器具 ※別紙(図面番号:A-14)参照	6	
	機械設備	換気材	カラーパイプフード(アルミ、ガラリ・防虫網・水切り付) カラーベントキャップ(アルミ、ガラリ付)	5	
		排水	硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) φ100	—	
		衛生機器	※別紙(図面番号:A-15)参照	—	

仕上げの色は監督員と協議にて決定するものとする

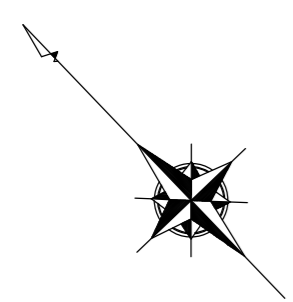
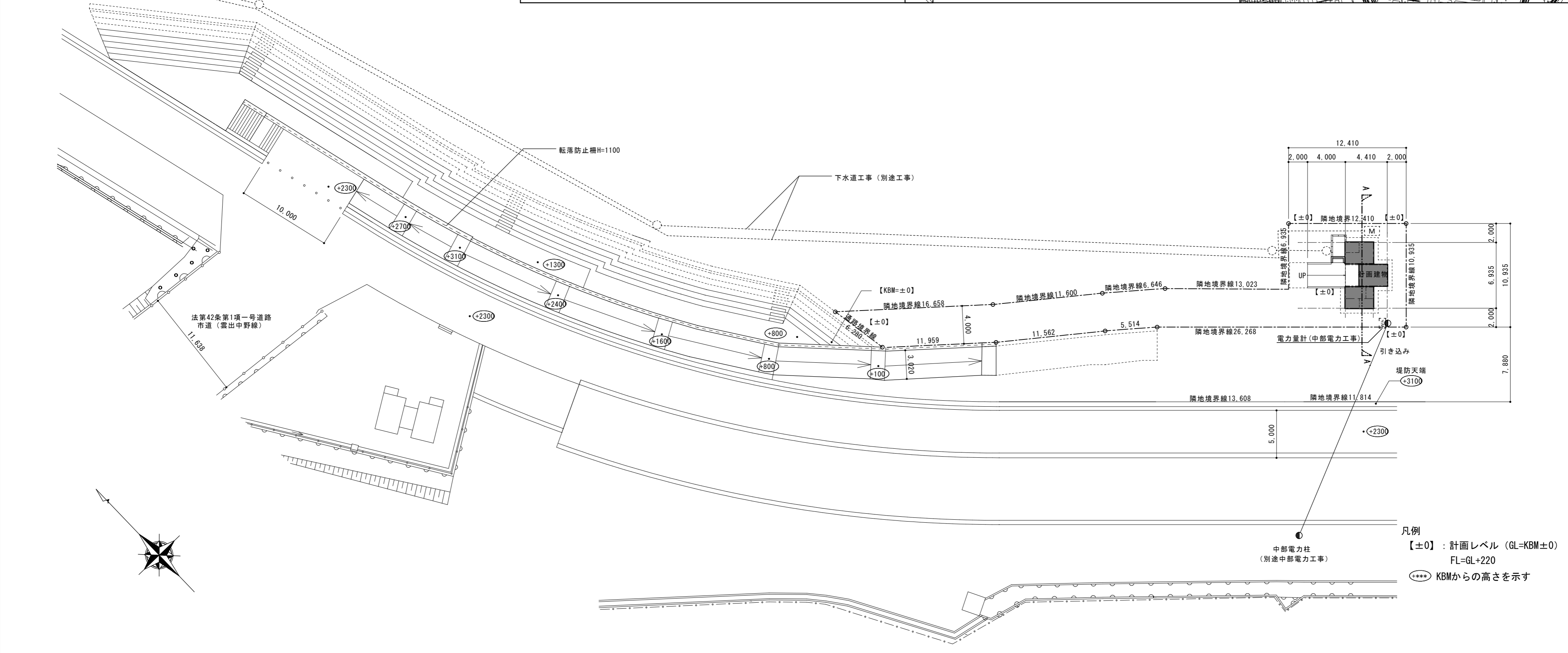
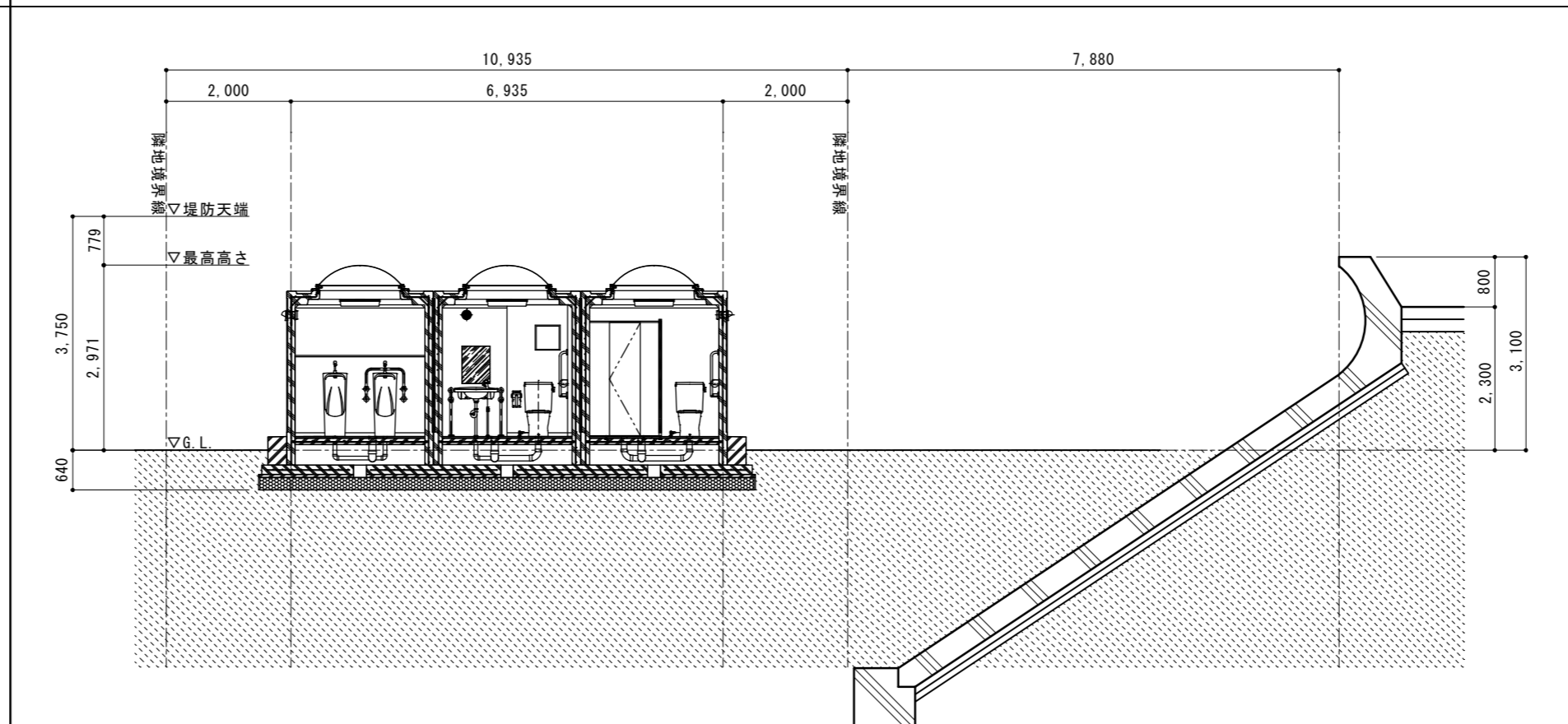
### 外 構

工事区分	部位	項目	仕様	備考
建築工事	外構	巾木	コンクリート打放補修の上 防水型複層塗材E	
		スロープ	床:磁器質100角ノンスリップタイル貼り 立上り:複層仕上塗材E モルタル下地	
		ポーチ	床:磁器質100角ノンスリップタイル貼り	
		足洗い場	床:モルタル仕上げ上、砕石敷込 袖壁:複層仕上塗材E モルタル下地	

仕上げの色は監督員と協議にて決定するものとする

備考	

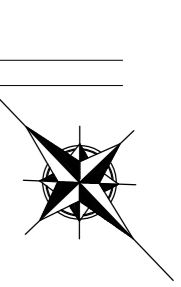
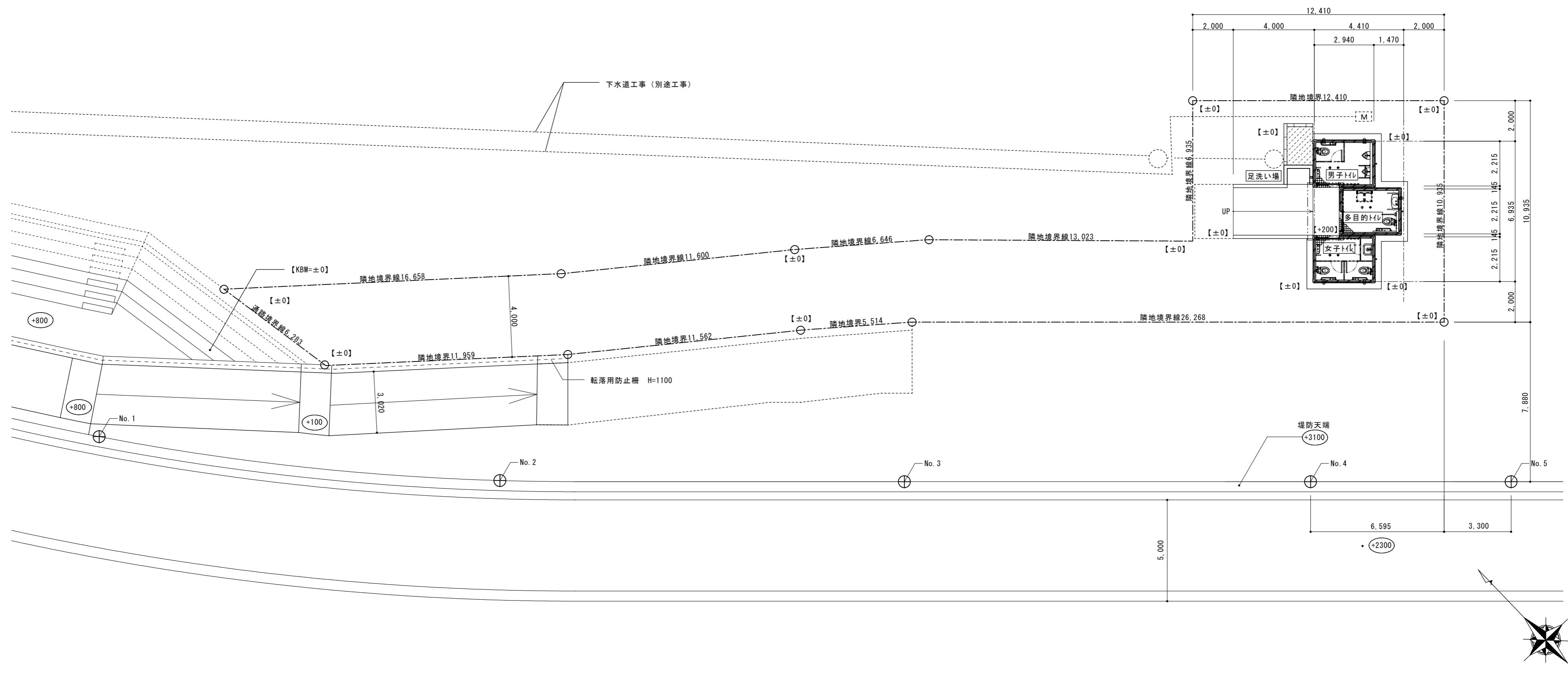
<b>NISSHIN</b> <b>SEKKEI</b> <b>日新設計株式会社</b> 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹		Job Title 御殿場海岸南公衆便所新築工事 Drawing Title 設計概要、外部仕上表、内部仕上表 設計担当者 一級建築士 No.265708 出口基樹	DATE SCALE No Scale A-09 原図:A2
---	--	---	--



凡例  
【±0】: 計画レベル (GL=KBM±0)  
FL=GL+220  
\*\*\*\* KBMからの高さを示す

備 考	

<b>NISSHIN SEKKEI</b> <b>日新設計株式会社</b> 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹		Job Title 御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE
		Drawings Title 配置図・附近見取図	SCALE A2: 1/100 A3: 1/120 A2: 1/300 A3: 1/420
		設計担当者 	A-10 原図: A2



備考	

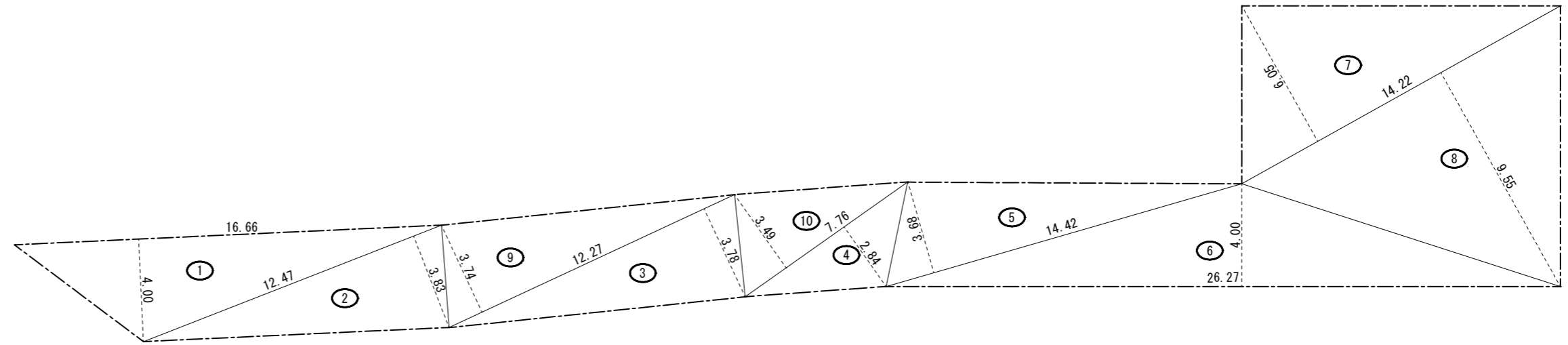
**NISSHIN  
SEKKEI**  
**日新設計株式会社**

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事
Drawings Title	配置図02
Design Responsibility	設計担当者
Architect	
No.	
出口基樹	

DATE	
SCALE	A2:1/150 A3:1/180
A-11	原図:A2

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	16.66	4.00	66.6400	33.32000
2	12.47	3.83	47.7601	23.88005
3	12.27	3.78	46.3806	23.19030
4	7.76	2.84	22.0384	11.01920
5	14.42	3.68	53.0656	26.53280
6	26.27	4.00	105.0800	52.54000
7	14.22	6.05	86.0310	43.01550
8	14.22	9.55	135.8010	67.90050
9	12.27	3.74	45.8898	22.94490
10	7.76	3.49	27.0824	13.54120
合計				317.88445
敷地面積				317.88 m <sup>2</sup>



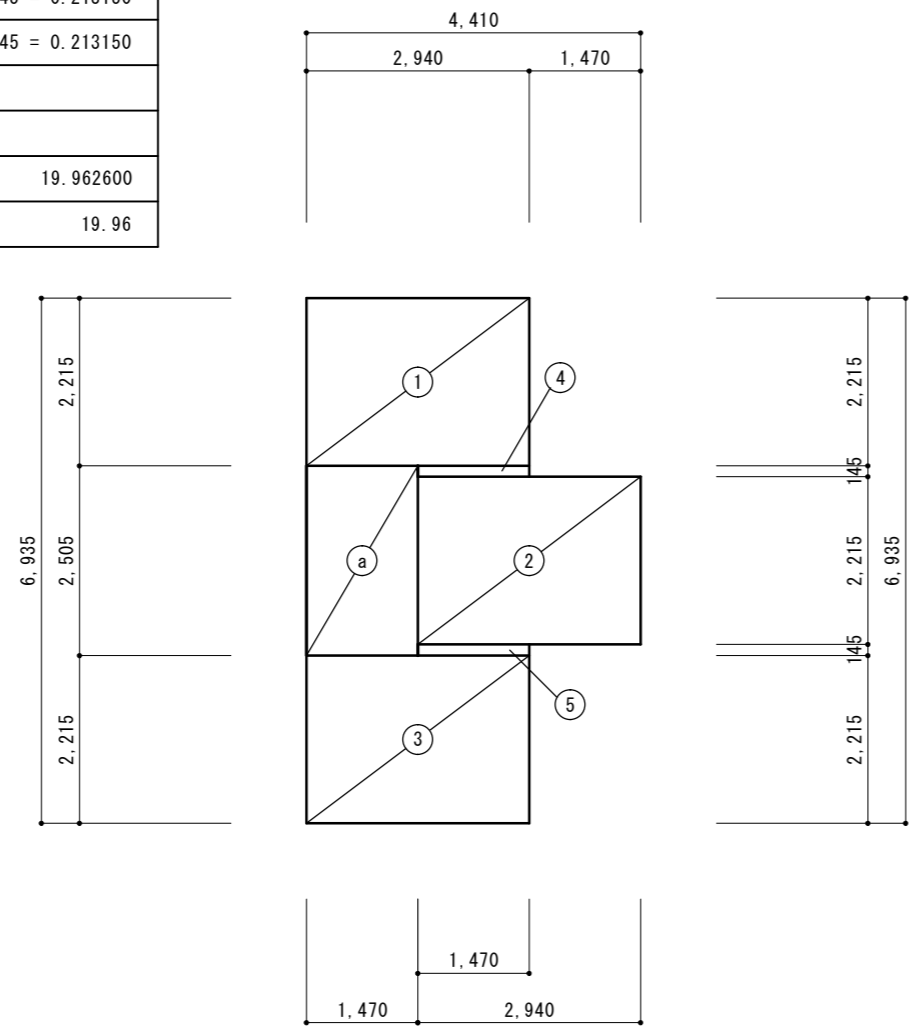
建物求積図

1/100

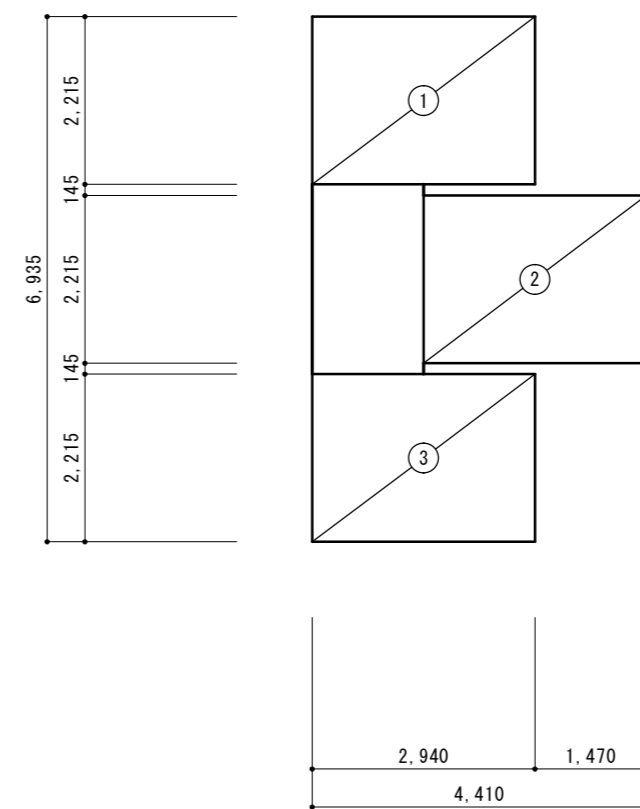
法規チェック図

1/100

建築面積		床面積	
①	2.940 * 2.215 = 6.512100	①	2.940 * 2.215 = 6.512100
②	2.940 * 2.215 = 6.512100	②	2.940 * 2.215 = 6.512100
③	2.940 * 2.215 = 6.512100	③	2.940 * 2.215 = 6.512100
④	1.470 * 0.145 = 0.213150	④	1.470 * 0.145 = 0.213150
⑤	1.470 * 0.145 = 0.213150	⑤	1.470 * 0.145 = 0.213150
⑥	1.470 * 2.505 = 3.682350		
合計	23.644950	合計	19.962600
建築面積	23.64	延床面積	19.96



番号	部屋名称	床面積 (A)	天井高	採光チェック (L) < 建法第28条1項、建令第19条3項 >		換気チェック (V) < 建法第28条2項 >		排煙チェック (S) < 建法第35条、建令第116条の2 >		消防法の無窓階チェック < 消防令第10条1項5号 >	
				必要面積 1/20	有効採光面積	必要面積 1/20	有効換気面積	必要面積 1/50	有効窓面積	必要面積 1/30	有効窓面積
①	男子トイレ	6.51	2.11	非居室		非居室		非居室			
②	多目的トイレ	6.51	2.11	非居室		非居室		非居室			
③	女子トイレ	6.51	2.11	非居室		非居室		非居室			



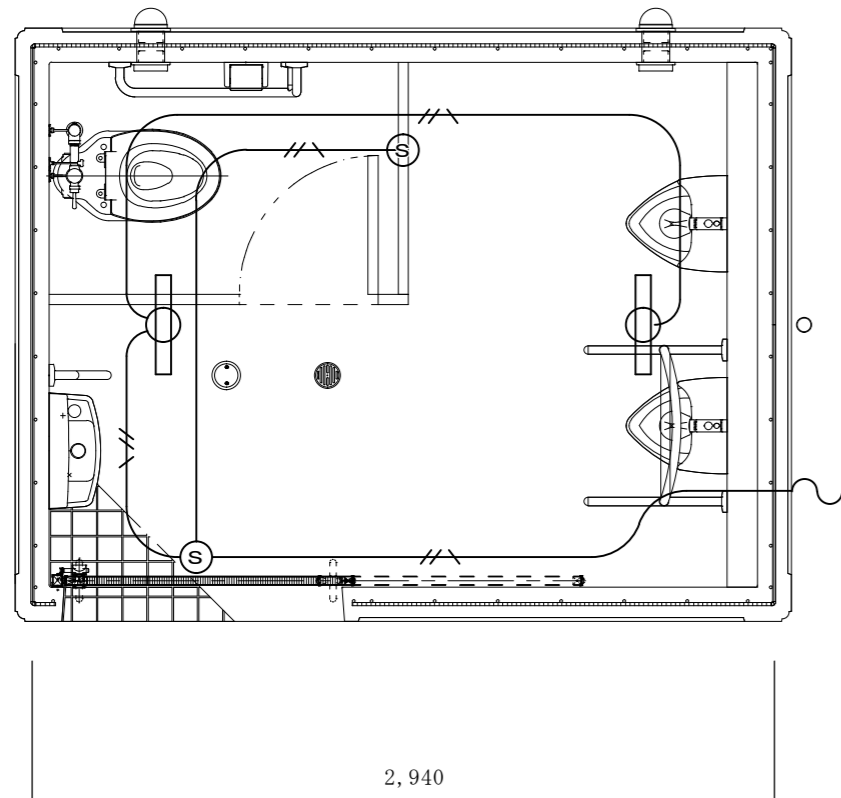
備 考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

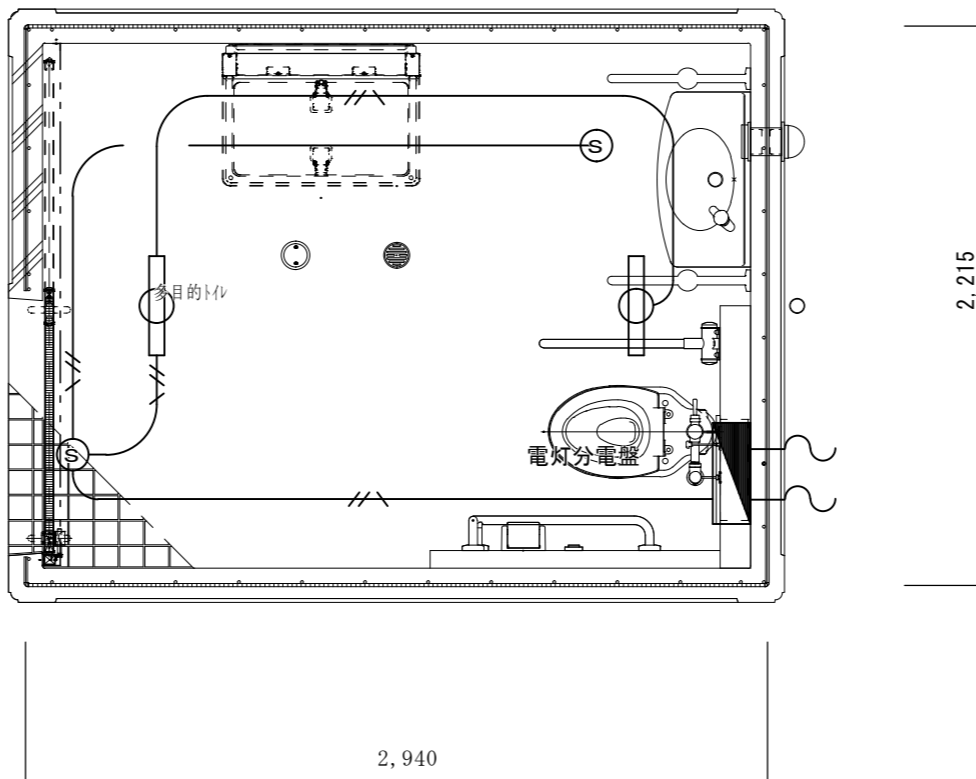
Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE	
Drawings Title	敷地求積図・建物求積図・法規チェック図	SCALE	A2:1/200 A3:1/240 A2:1/100 A3:1/120
設計担当者			
一級建築士 No.265708 出口基樹			



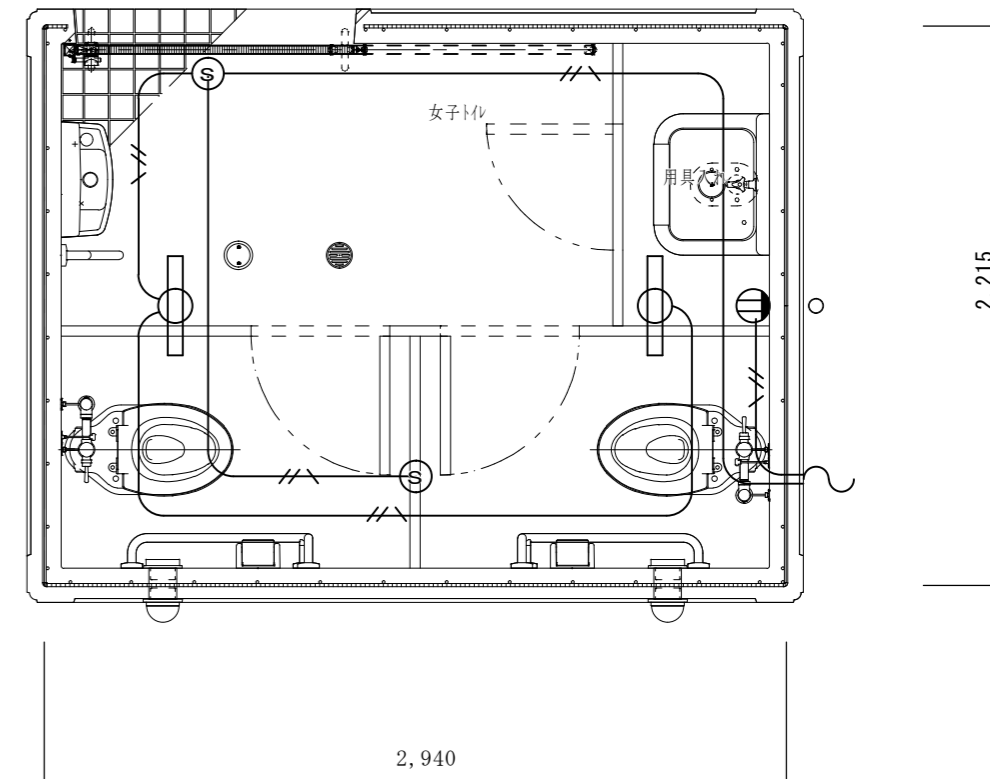
参 考



男子便所



多目的便所



女子便所

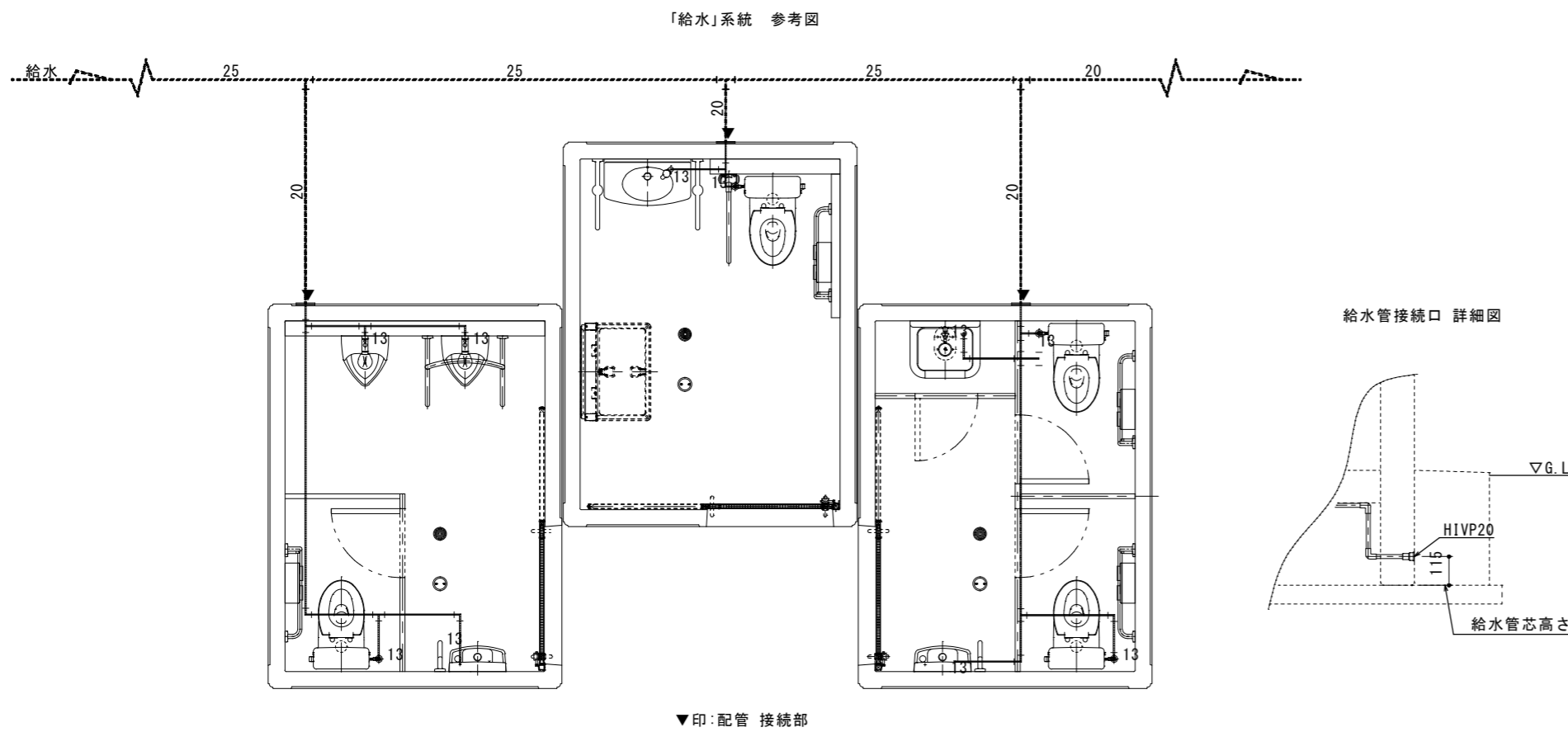
凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	
	LED照明器具	参考型番: LEDB83901
	人感センサ	
	防水コンセント	2EET
	IV1.6 x 3 (PF16)	

備 考	

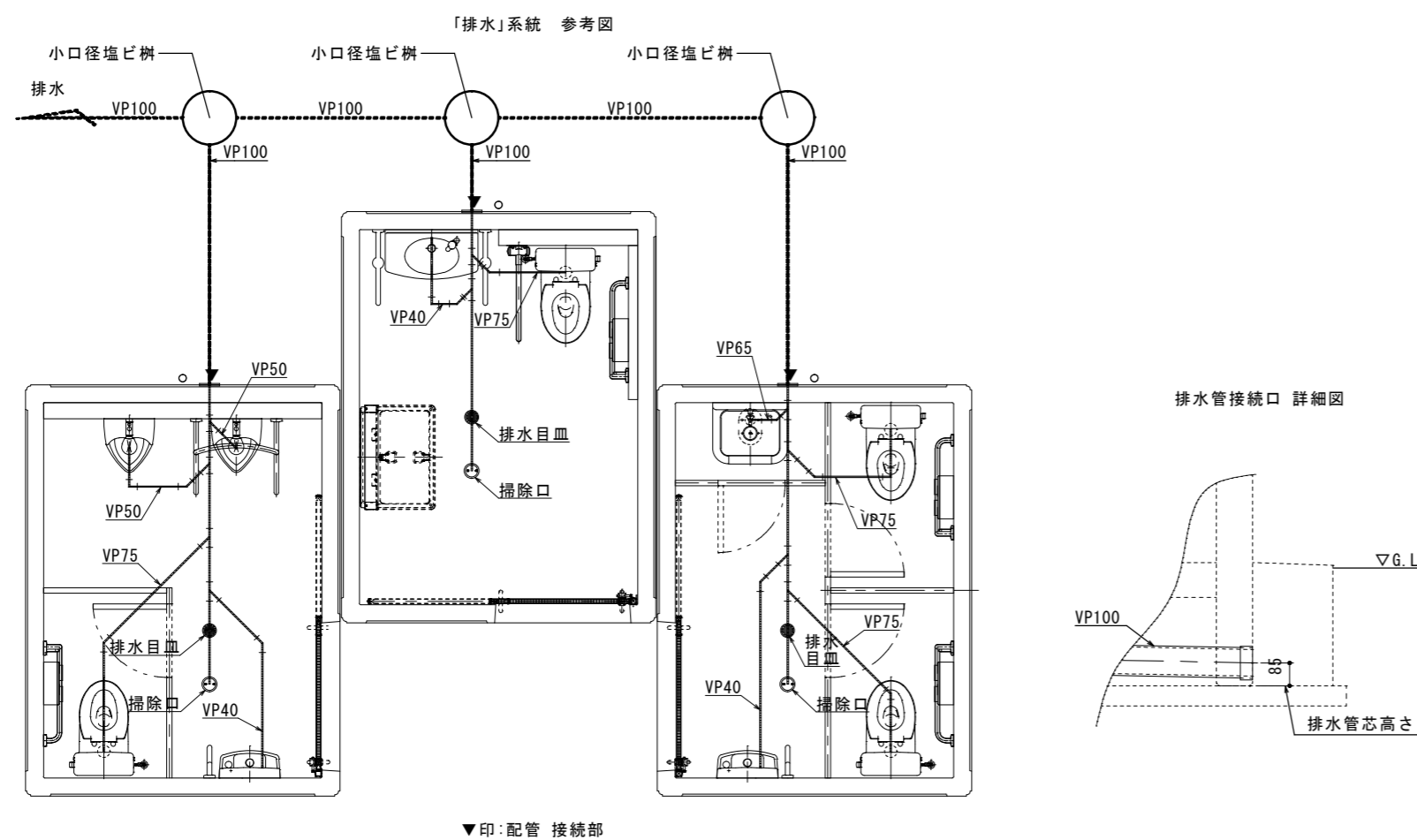
**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南衆便所新築工事	DATE
Drawing Title	【参考】RCユニット便所電気設備仕様	SCALE
	設計担当者	A2:1/50 A3:1/70
一級建築士 No.265708 出口基樹		A-14 原図:A2



部位	項目	仕様	員数
衛生器具	洋風便器	タンク密結形防露便器:CS597BS (TOTO) 防露式密結形固定式ロータンク:SH596BAYR (TOTO)	4
	紙巻器	YH701 (SUS製) (TOTO)	4
	小便器	床置小便器:UFH507CR (TOTO) フラッシュバルブ:TG600PN (TOTO)	2
	手洗器	コンパクト手洗器:LSK870APR (オートストップ水栓) (TOTO)	2
	洗面器	カウンター一体型洗面器:L270D (TOTO) オートストップ水栓:TL19AR (TOTO)	1
	掃除用洗し	バック付掃除用洗し(床排水):SK22A 横水栓:T23AE020C (TOTO)	1
	L型手すり	T112CL10 (TOTO)	4
	小便器用手すり	T112CU22 (TOTO)	1
	踏ね上げ手すり	T112HP7 (TOTO)	1
	洗面器用手すり	T112CP23 (TOTO) ※イゾーナー品 L=550, H=740	1
	手洗器用手すり	T112CD6 (TOTO)	2
	化粧鏡(男子)	YM3545FE (盗難防止形耐熱鏡) (TOTO)	1
	化粧鏡(女子)	YM3545FE (盗難防止形耐熱鏡) (TOTO)	1
	化粧鏡(多目的)	YM4560FE (盗難防止形耐熱鏡) (TOTO)	1
	ペビーシート	YKA25R (TOTO)	1

- 特記事項
- ・外壁の塗装色は、協議の上決定とする。
  - ・トイレ本体の鉄筋コンクリート躯体は、鋼製型枠による躯体一体成型品とする。
  - ・本製品は、プレキャスト鉄筋コンクリート製品(JIS A 5372)の認定を受けた J I S 工場の品質管理の下、製造された製品とする。
  - ・本製品は、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険に加入した製品とする。
  - ・器具品番は参考とし、同等品以上とする。
  - ・屋内の器具及び配管はユニット工事、屋外配管及び本ユニットへの接続は機械設備工事とする。

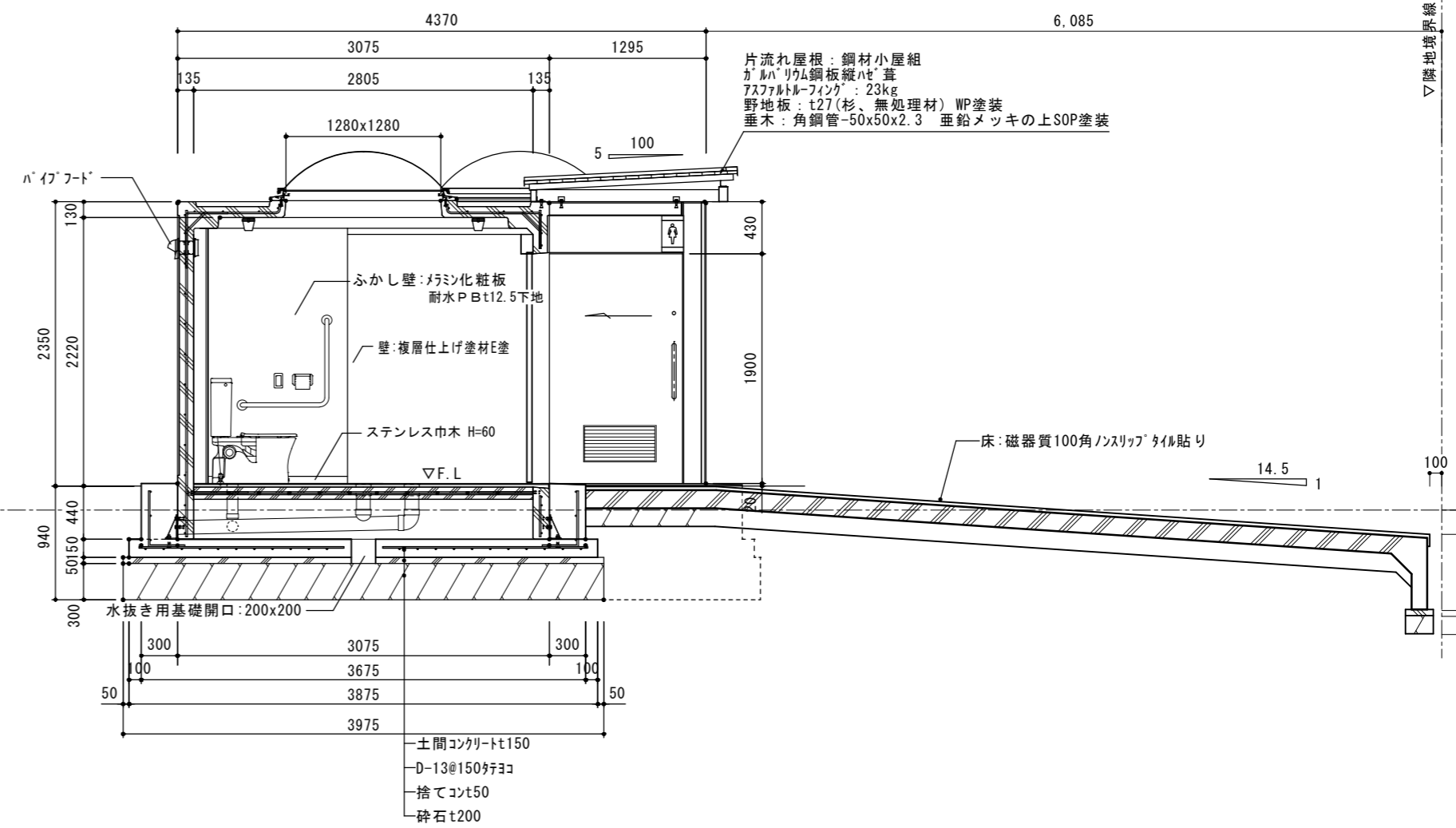
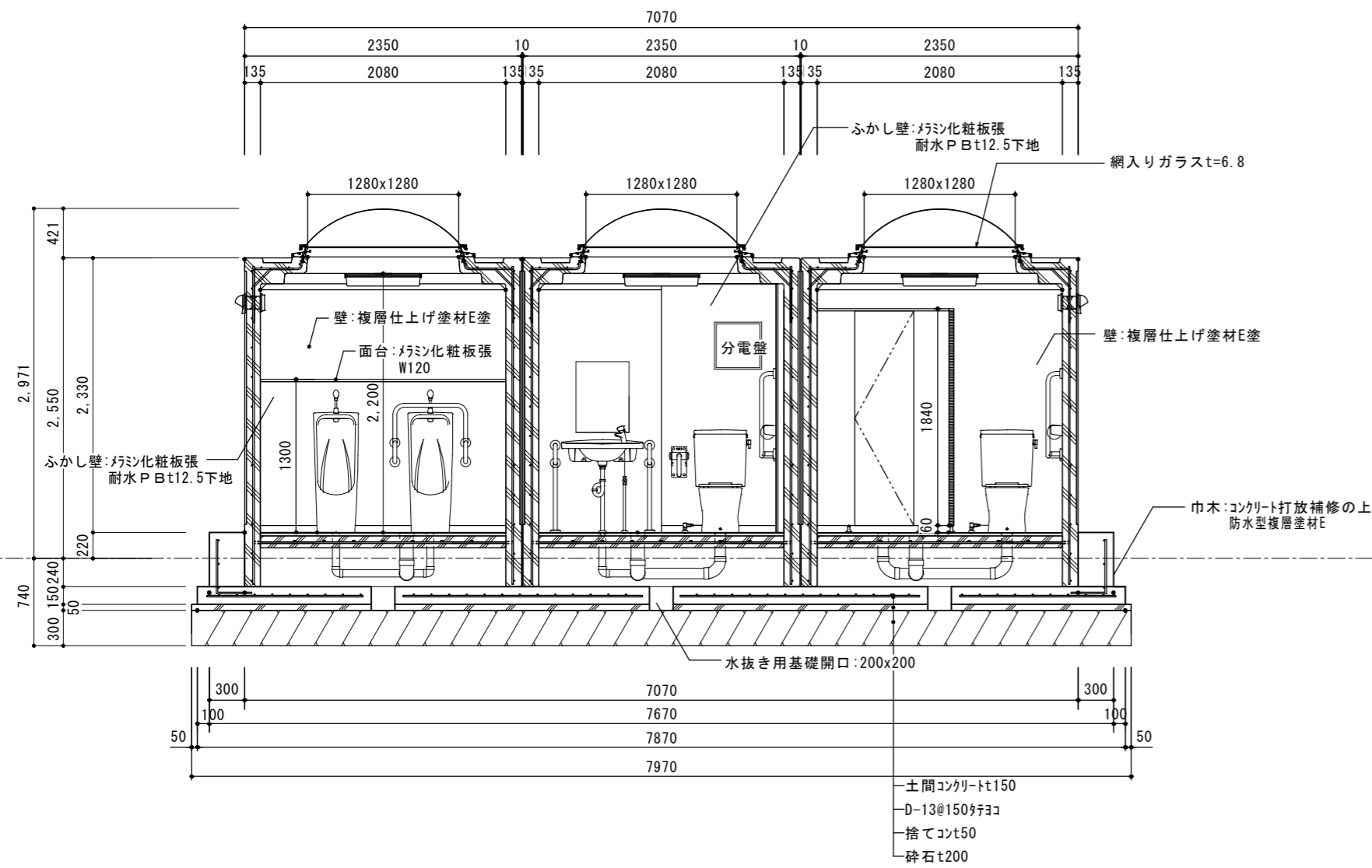
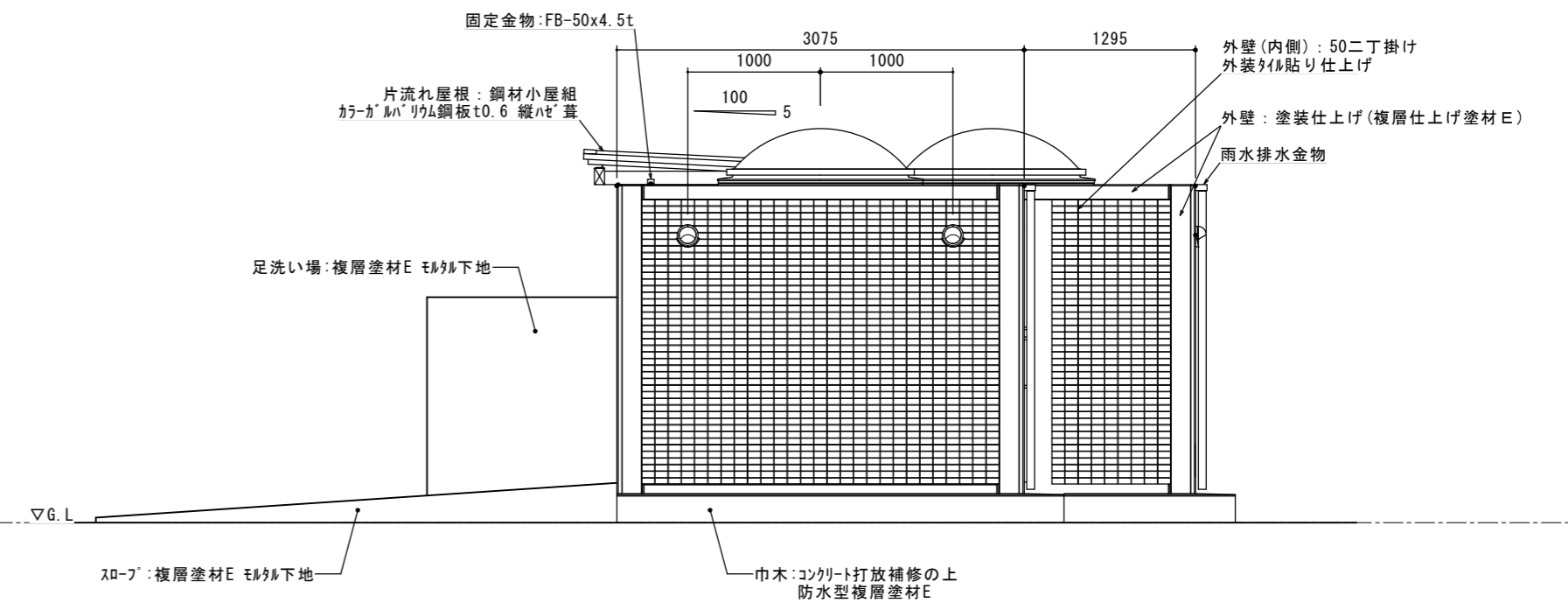
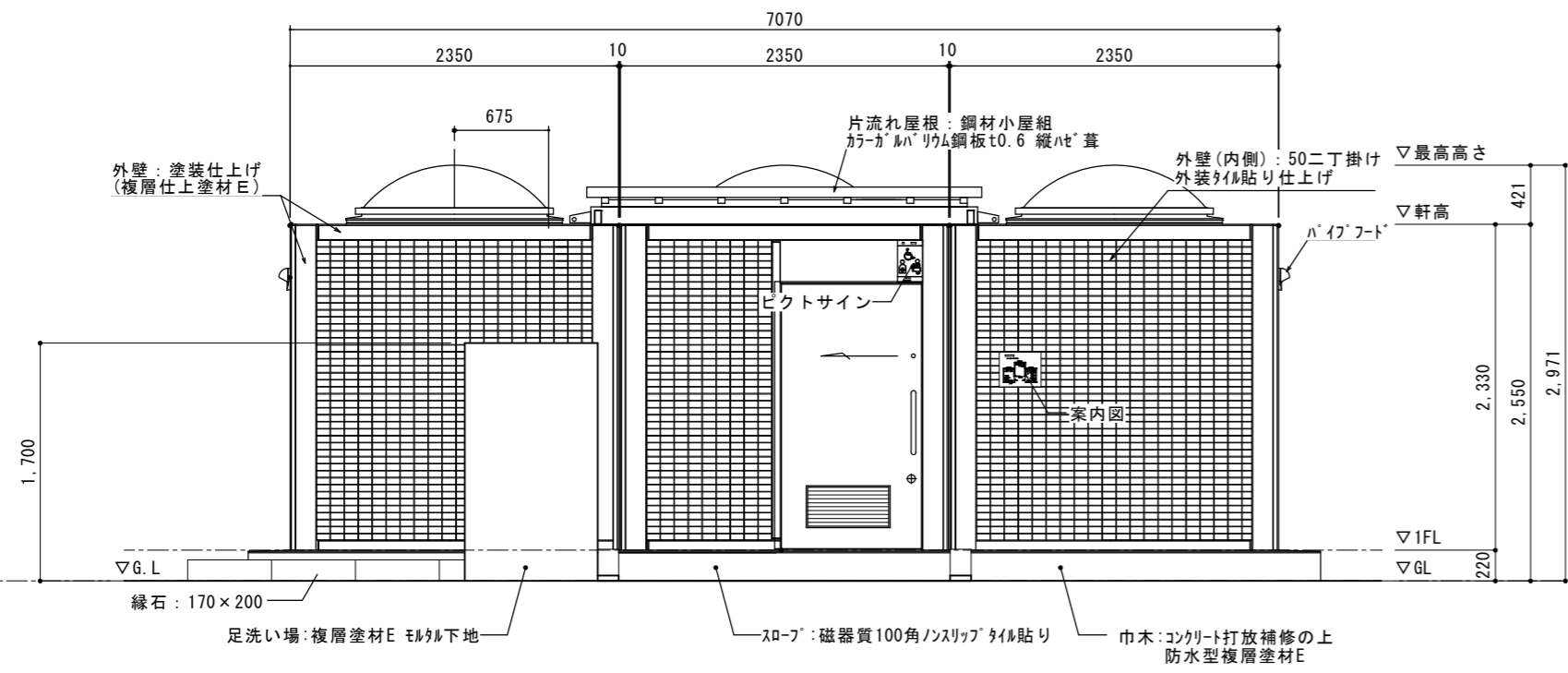


備考

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE
Drawings Title	【参考】RCユニット便所機械設備仕様	SCALE
設計担当者		A2:1/50 A3:1/70
一級建築士 No.265708 出口基樹		A-15 原図:A2



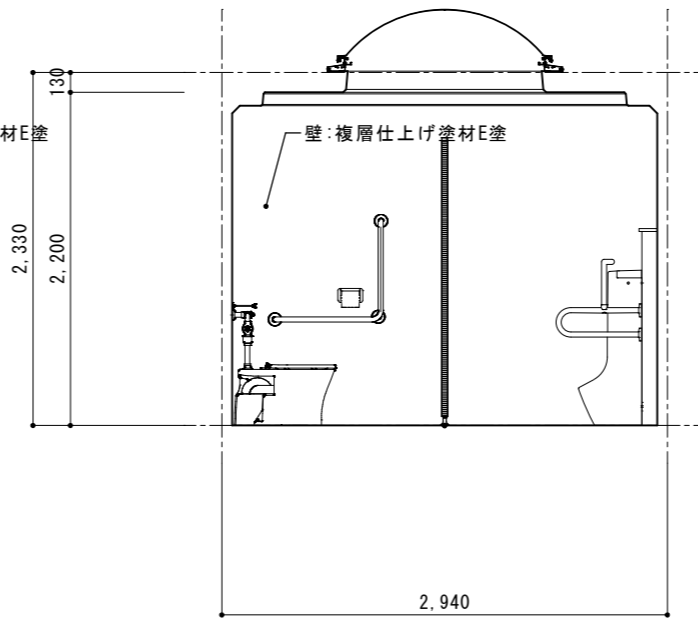
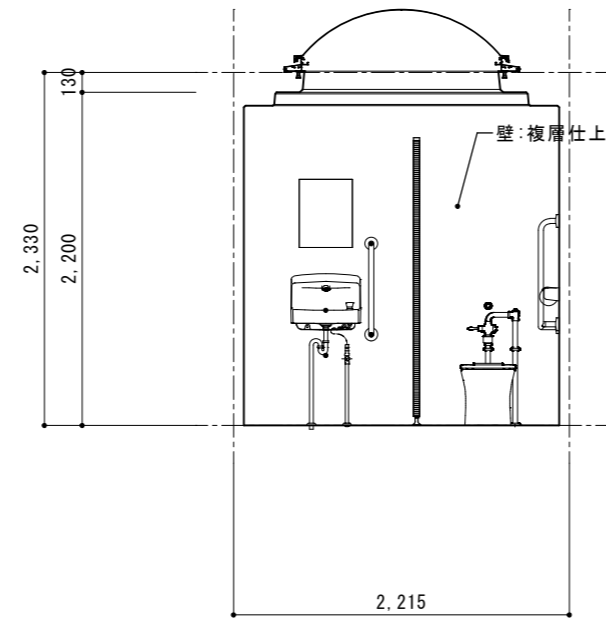
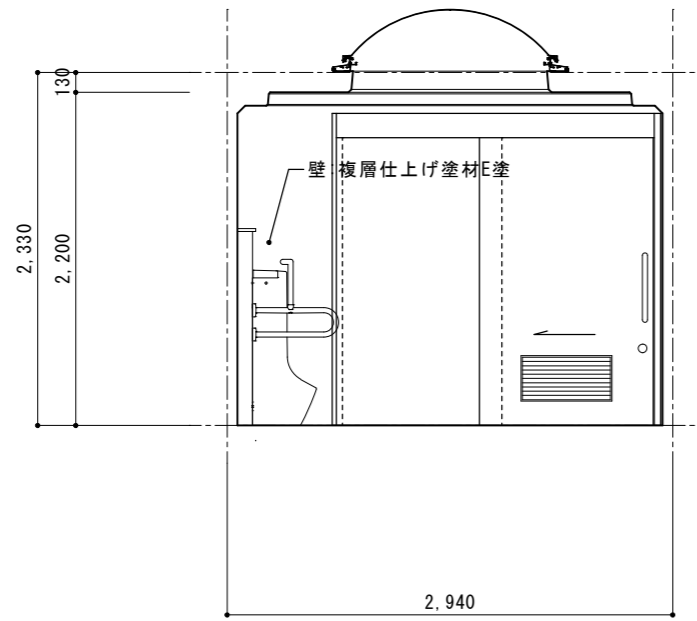
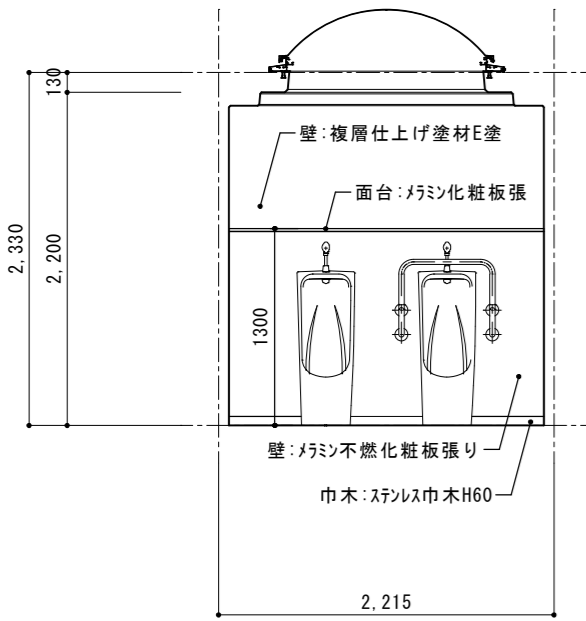


備考

**NISSHIN  
SEKKEI**  
**日新設計株式会社**

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE
Drawing Title	立面図、断面詳細図	SCALE
設計担当者		A2:1/50 A3:1/70
一級建築士 No.265708 出口基樹		A-16 原図:A2



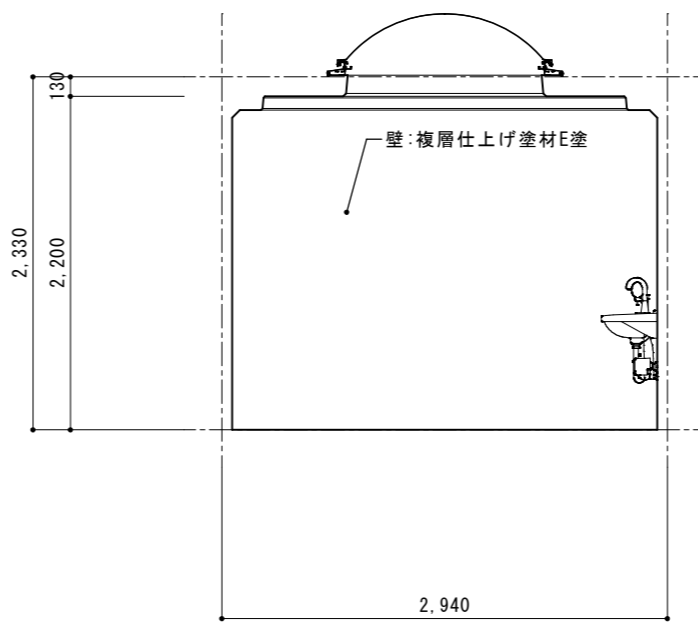
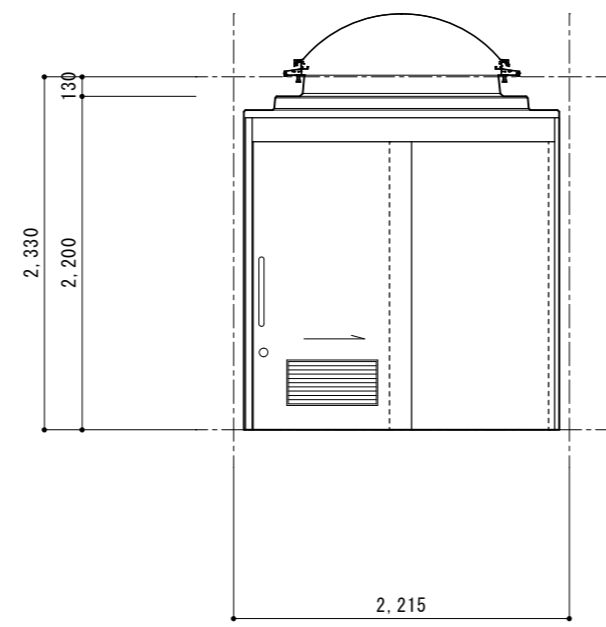
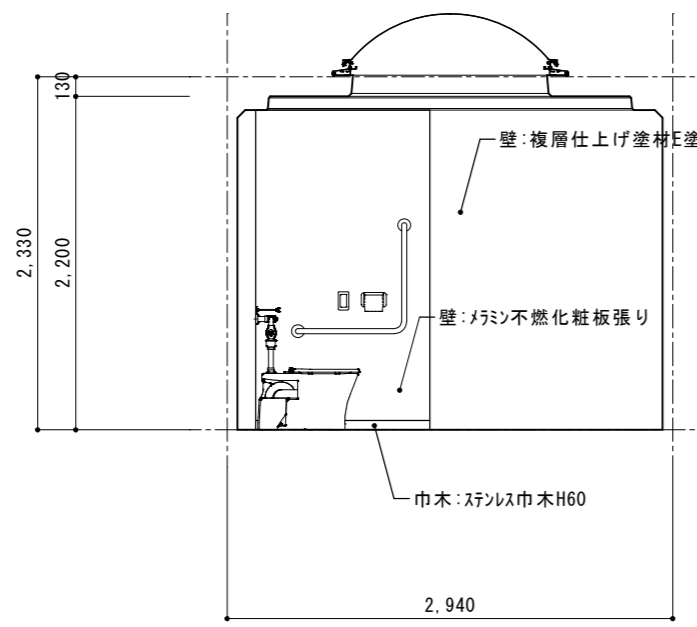
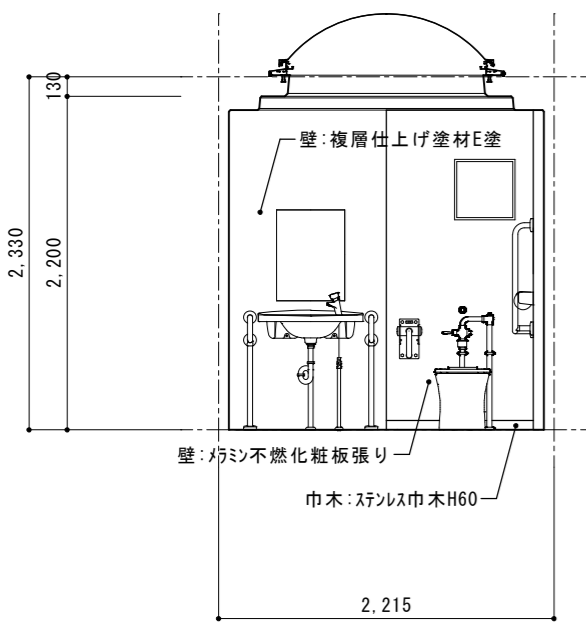
男子トイレ

A面

B面

C面

D面



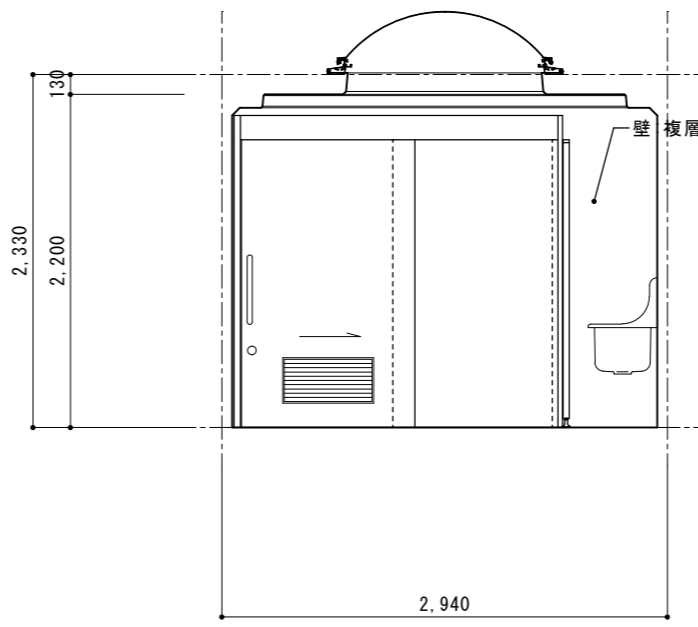
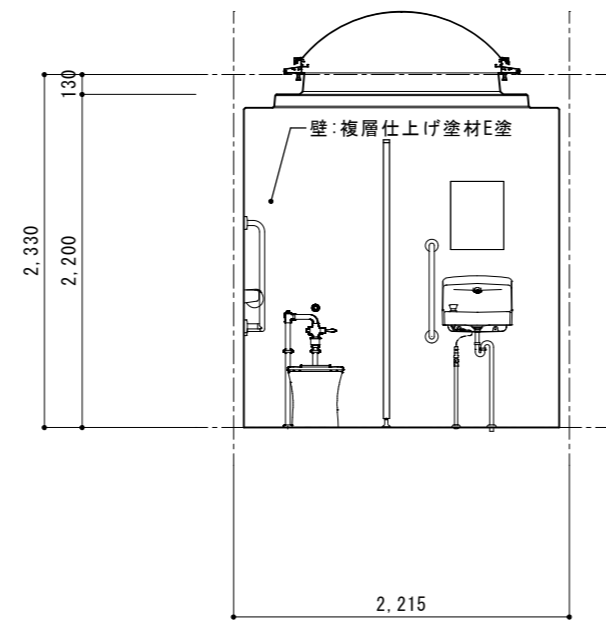
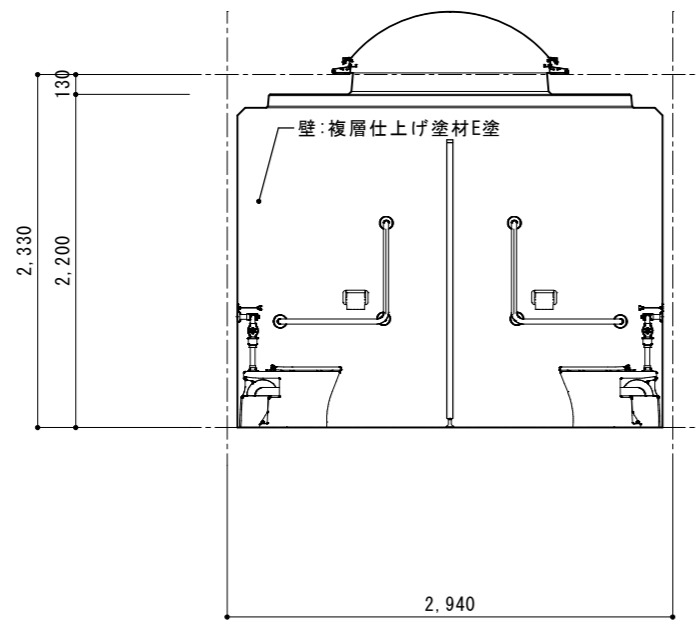
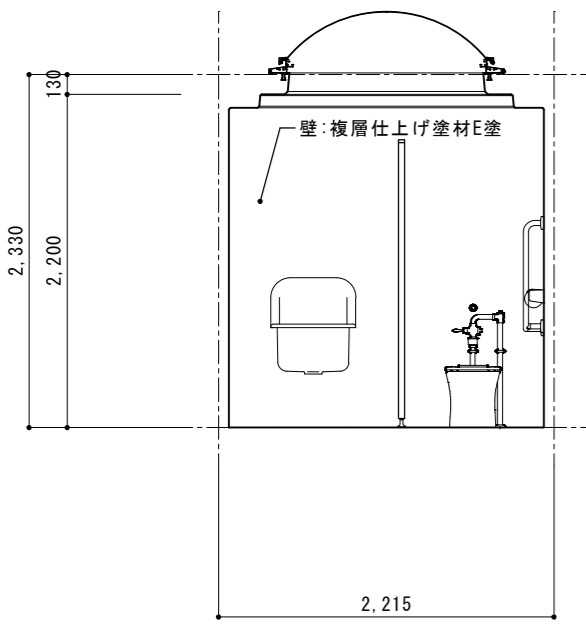
多目的トイレ

A面

B面

C面

D面



女子トイレ

A面

B面

C面

D面

備考

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

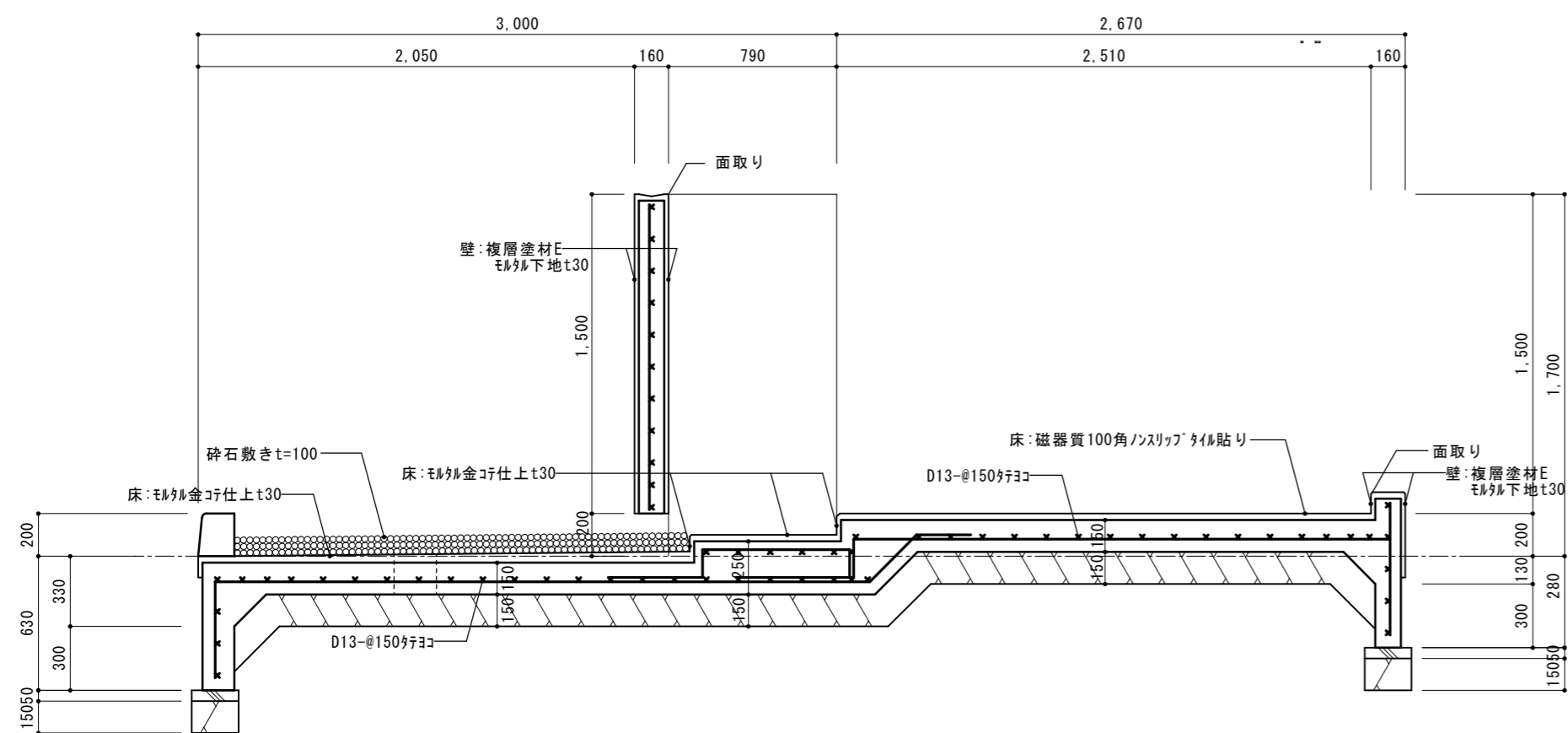
Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE
Drawing Title	展開図	SCALE
設計担当者		A2:1/50 A3:1/70
一級建築士 No.265708 出口基樹		A-17 原図:A2

建 具 表		S:1/50				
記号・数量	HD 1 多目的トイレ	1	HD 2 男子トイレ、女子トイレ	2	24	
姿 図						
形 式	軽量鋼製上吊引戸		軽量鋼製上吊引戸			
材 質	化粧鋼板t0.6		化粧鋼板t0.6			
見 込	70		70			
ガラス	-		-			
金 物	使用表示錠、内部サムターン、非常解錠装置、管理用外施錠 ドアカブリ(焼付塗装)、SUS製引手L450、自閉装置		管理用外施錠、ドアカブリ(焼付塗装)、SUS製引手L450、自閉装置			
記号・数量	TB 1 男子トイレ	1	TB 2 男子トイレ	1	TB 3 女子トイレ	
記号・数量	TB 4 女子トイレ	1	TB 5 女子トイレ	1	1	
姿 図						
姿 図						
形 式	トイレブース		トイレブース		トイレブース	
材 質	メラミン化粧板		メラミン化粧板		メラミン化粧板	
見 込	40		40		40	
ガラス	-		-		-	
金 物	7ミリ頭繋ぎ(口型)		7ミリ頭繋ぎ(口型)、表示付タッチ錠、非常時外開き開放戸当り、ケラビレヒンジ		7ミリ頭繋ぎ(口型)、表示付タッチ錠、非常時外開き開放戸当り、ケラビレヒンジ	

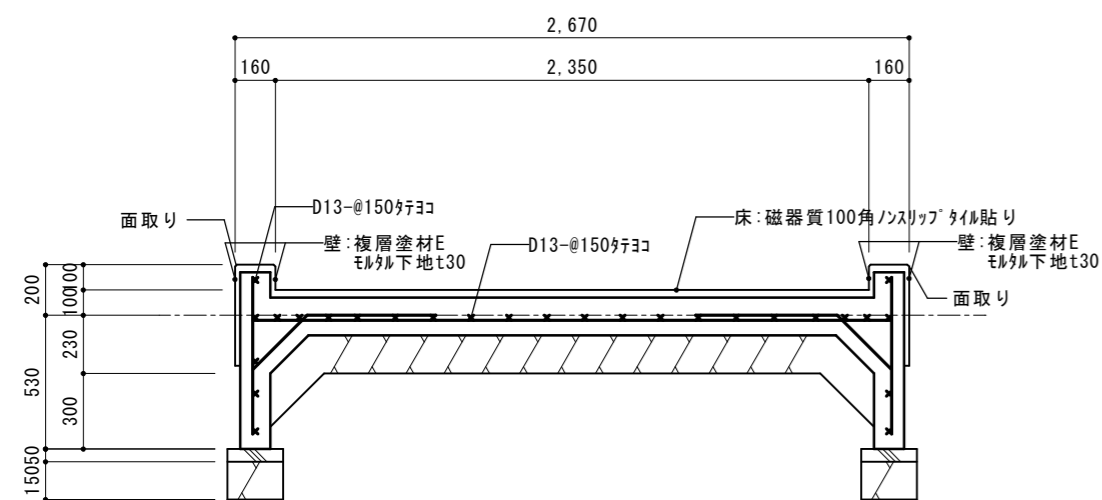
備  
考

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

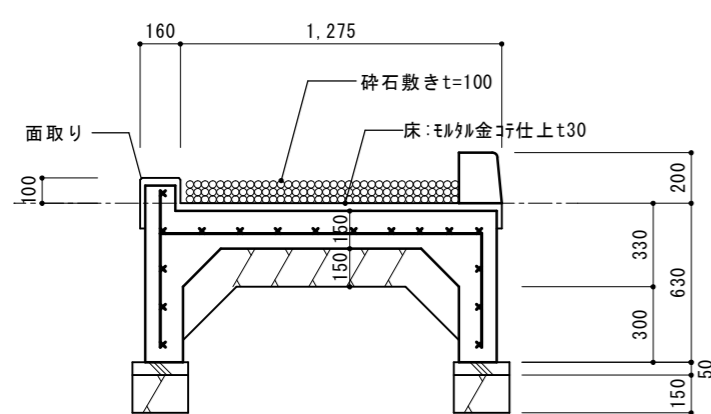
Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE
Drawings Title	建具表	SCALE
設計担当者		A2:1/50 A3:1/70
一級建築士 No.265708 出口基樹		A-18 原図:A2



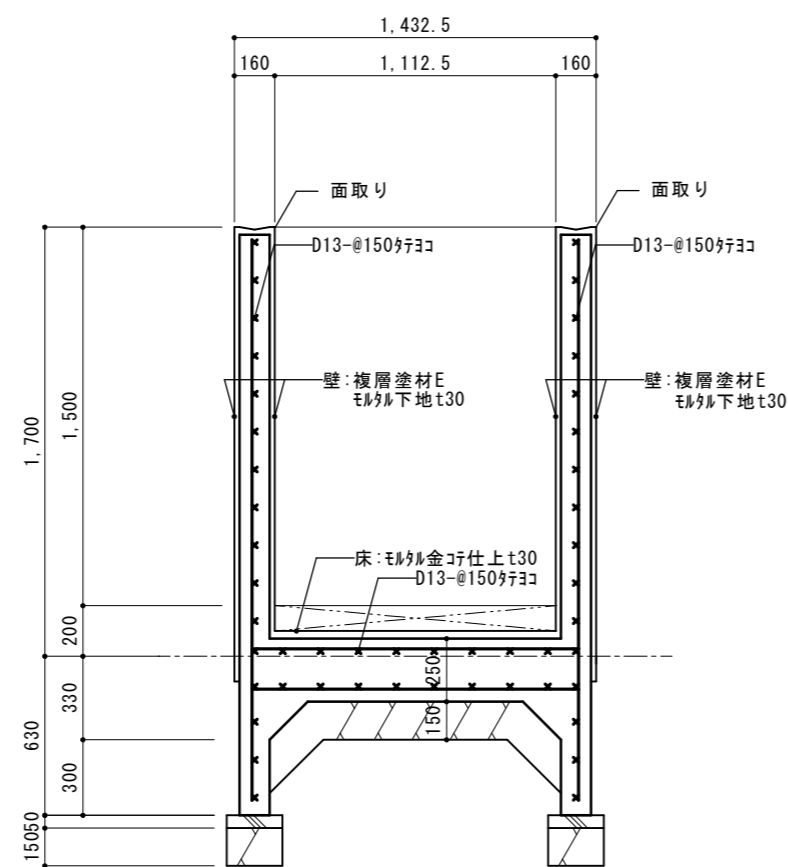
A-A' 断面詳細図 1:30



B-B' 断面詳細図 1:30



D-D' 断面詳細図 1:30



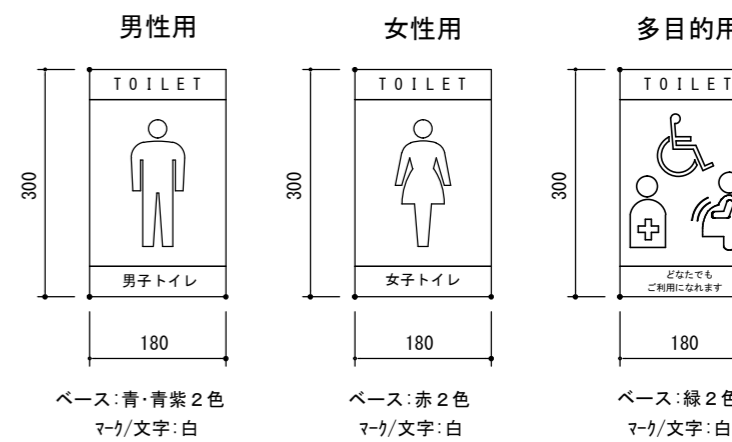
C-C' 断面詳細図 1:30

ピクトサイン詳細図

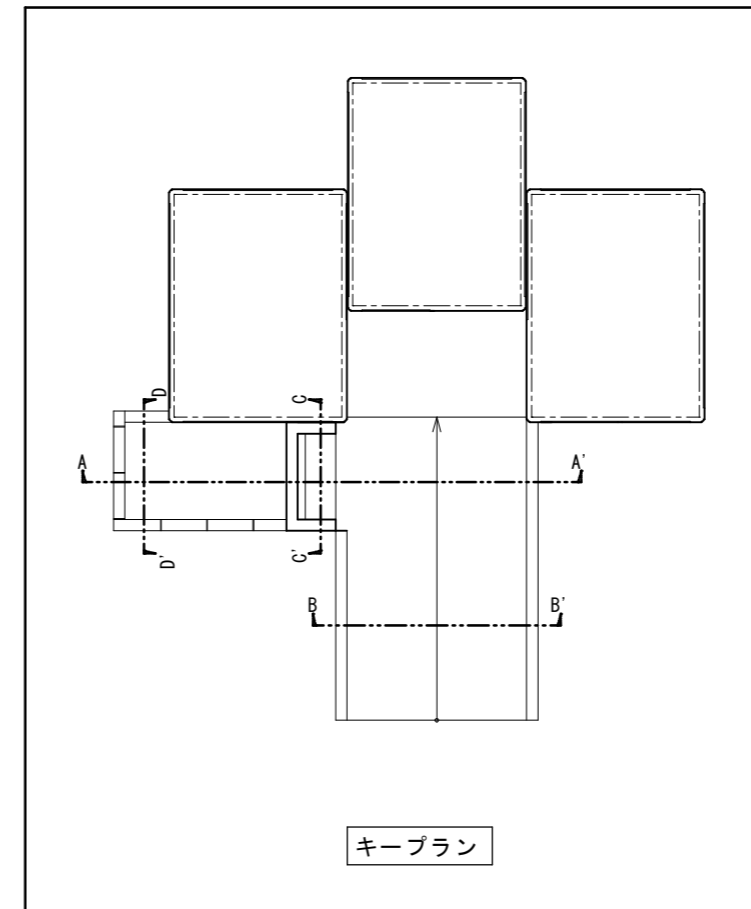
アルミ複合板-180x300x3.0

絵柄:インクジェット印刷(UVフィルム貼り)

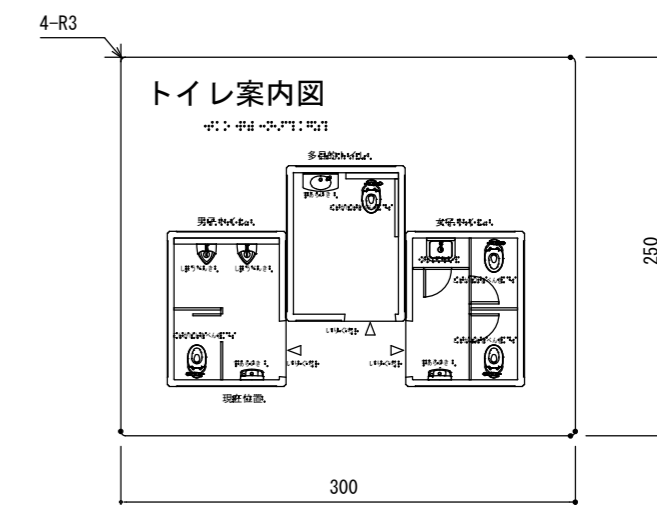
両面テープ接着固定の上、コーキング処理により二重固定



※表示内容は、協議の上決定とします。



SUSプレート-300x250x1.5:H.L仕上げ  
凸表示:透明樹脂点字シートUVフィルム貼り  
両面テープ接着固定の上、コーキング処理により二重固定

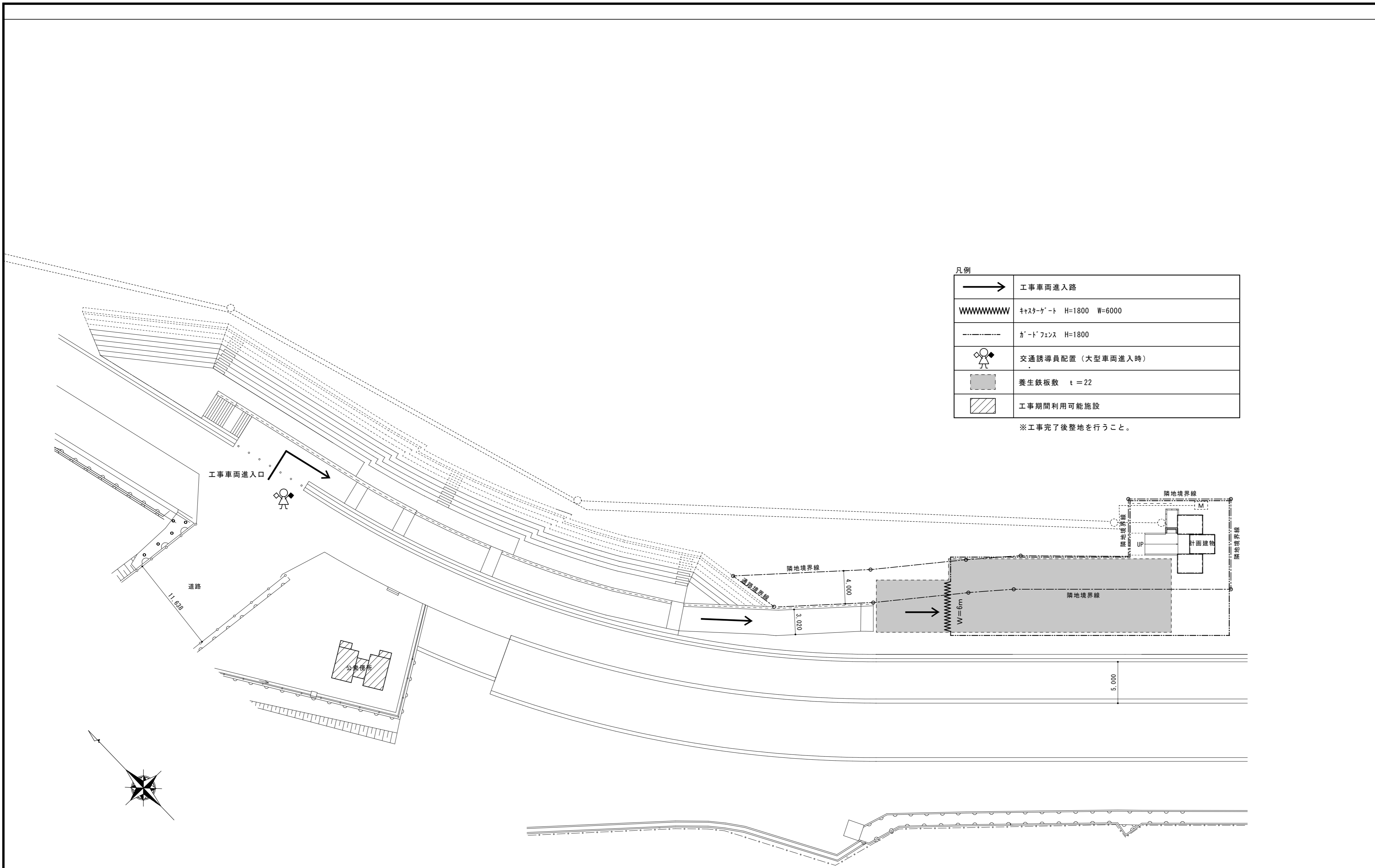


※表示内容は、協議の上決定とします。

備考

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE
Drawings Title	雑詳細図	SCALE A2:1/30 A3:1/42 A2:1/10 A3:1/12
Design Charge	設計担当者	A-19 原図:A2
Level	一級建築士 No.265708 出口基樹	



凡例

	工事車両進入口
	カヌーゲート H=1800 W=6000
	ガードフェンス H=1800
	交通誘導員配置 (大型車両進入時)
	養生鉄板敷 t=22
	工事期間利用可能施設

※工事完了後整地を行うこと。

備 考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事
Drawings Title	仮設計画図
Design Responsibility	設計担当者
Architect	一級建築士 No. 265708 出口基樹

DATE	
SCALE	A2: 1/300 A3: 1/420
	A-20 原図: A2



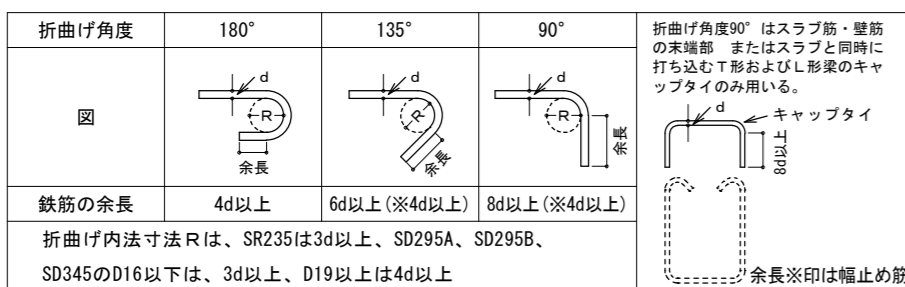
# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

## 1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。  
 (2) 記号  
 d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径  
 @...間隔 r...半径 c...中心線 Lo...部材間の内法距離 ho...部材間の内法高さ  
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼
- | 鉄筋表示記号 | ○     | ×   | ◇   | ●   | ○   | ◎   | ⊗   | ⊙   |
|--------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 鉄筋径    | 丸鋼 9φ | 13φ | 16φ | 19φ | 22φ | 25φ | 28φ | 32φ |
- 上表の鉄筋表示記号は、この配筋標準図には適用しない。

## 2. 鉄筋加工、かぶり

### (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状



### (2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

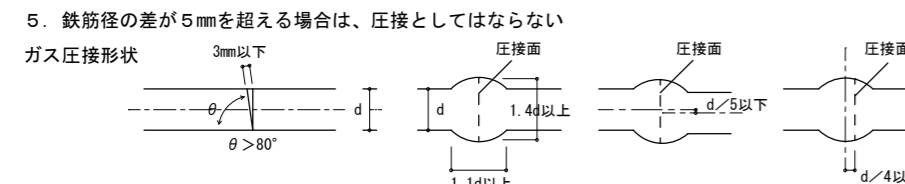
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内の寸法(R)
	帯筋	SR235、SD295A	16φ、D16以下	3d以上
	あばら筋 スパイラル筋	SD295B、SD345	19φ、D19以下	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	19φ~25φ、D19~D25 28φ~32φ、D29~D38	6d以上 8d以上

### (3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm <sup>2</sup> )			定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L <sub>1</sub> )
	21	22.5	24	一般(L <sub>a</sub> )	下端筋(L <sub>o</sub> )	小梁	
SR235	21	22.5	24	35dフックつき	25dフックつき	15cmフックつき	35dフックつき
SD295A SD295B SD345	21	22.5	24	35dまたは25dフックつき	25dまたは15dフックつき	25dかつ15cm以上	45dフックつき

#### 継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D19以上の異形鉄筋は、原則として重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が5mmを超える場合は、圧接としてはならない



### (4) かぶり厚さ (単位: mm)

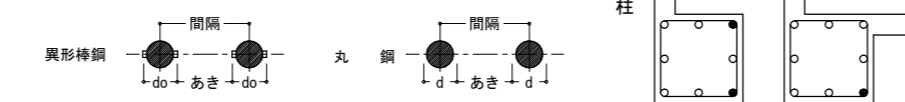
ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

部 位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)	
		屋外	屋内
土に接しない部分	屋根スラブ	30	30(20)
	床スラブ 非耐力壁	40 <sup>(1)</sup>	30(20)
土に接する部分	柱	40	30
	は耐力壁	50 <sup>(2)</sup>	40 <sup>(1)</sup> (30)
土に接する部分	擁壁・耐力スラブ	50 <sup>(3)</sup>	40
	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40 <sup>(4)</sup>
	基礎・擁壁・耐力スラブ	70	60 <sup>(5)</sup>

- [注] (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる  
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる  
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる  
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする  
 (5) ( )内は仕上げがある場合

## (5) 鉄筋のあき

丸鋼では形、異形棒鋼では呼び名に用いた数値1.5d以上  
 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

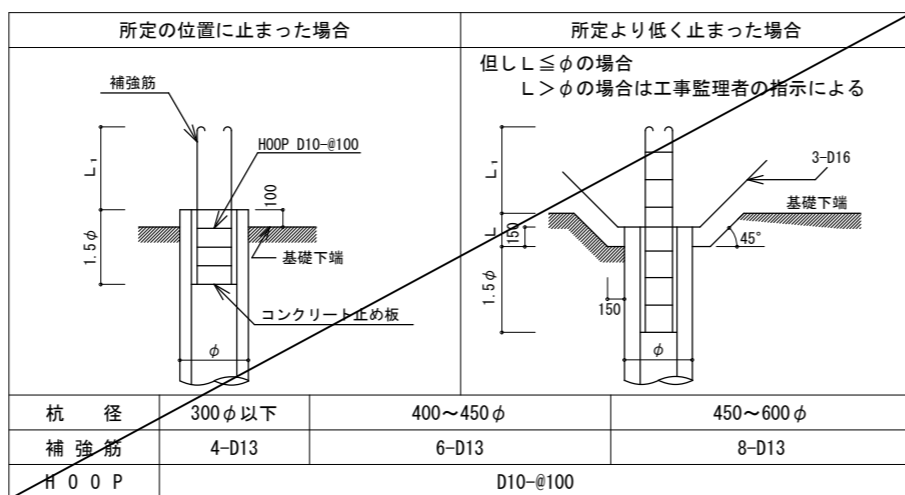


## (6) 鉄筋のフック

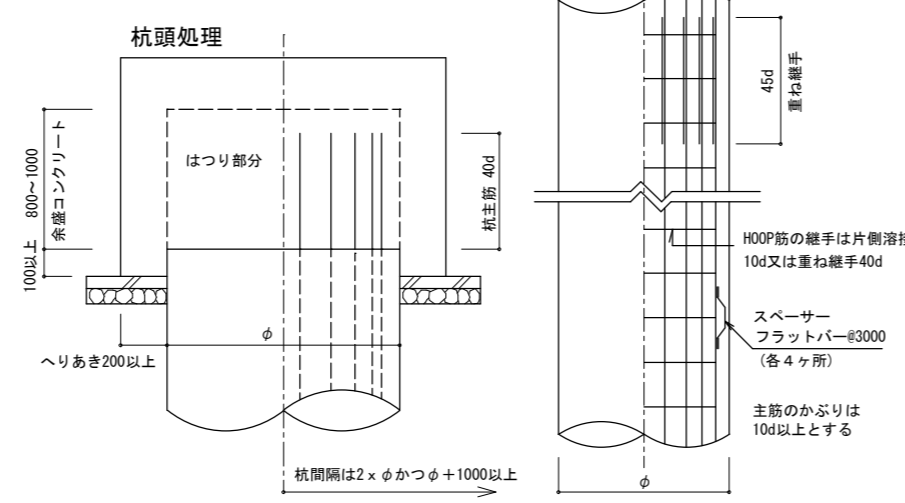
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋、幅止め筋 c. 煙突の鉄筋  
 d. 柱、梁 (基礎梁は除く) の出すみ部分の鉄筋 (右図参照)  
 e. 単純梁の下端筋  
 f. その他、本配筋標準に記載する箇所

## 3. 杭

### (1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行なう

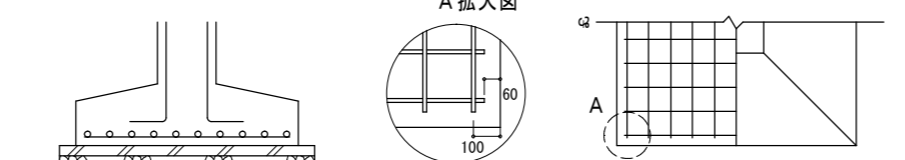


### (2) 場所打ちコンクリート杭

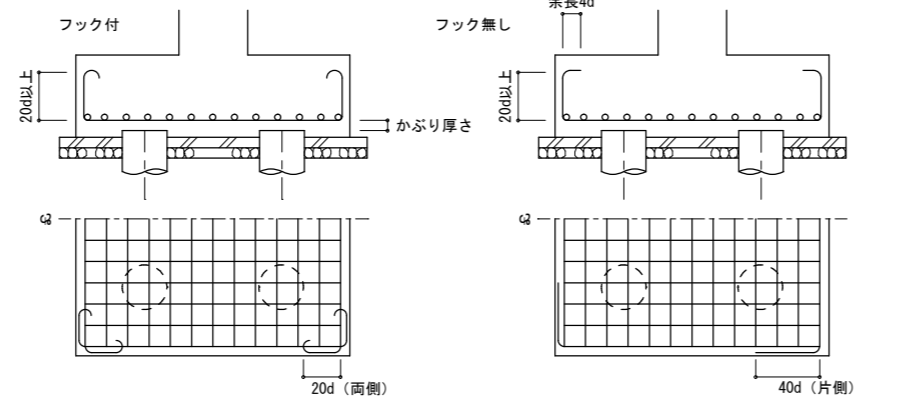


## 4. 基礎

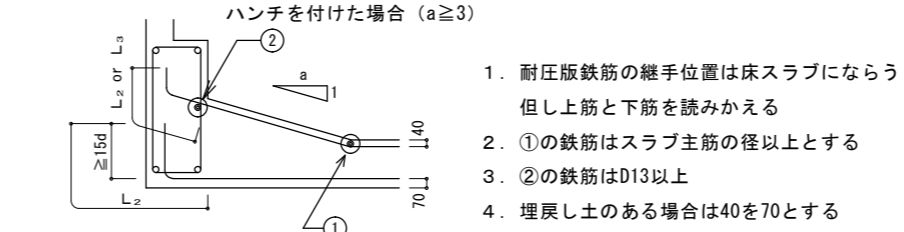
### (1) 直接基礎



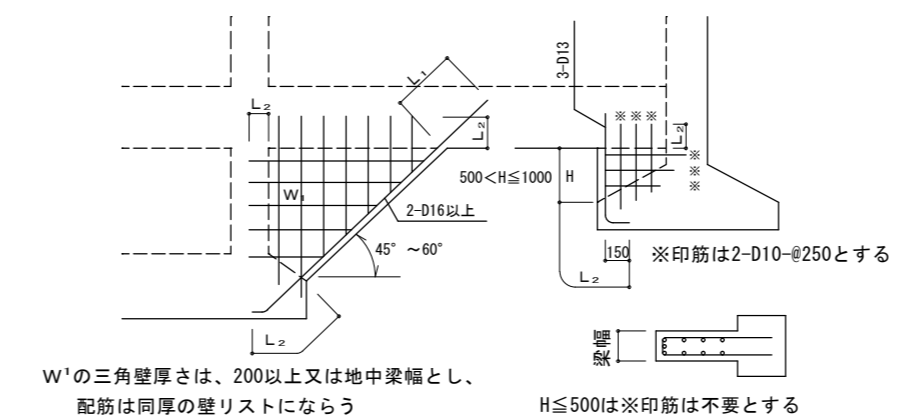
### (2) 杭基礎



## (3) ベタ基礎

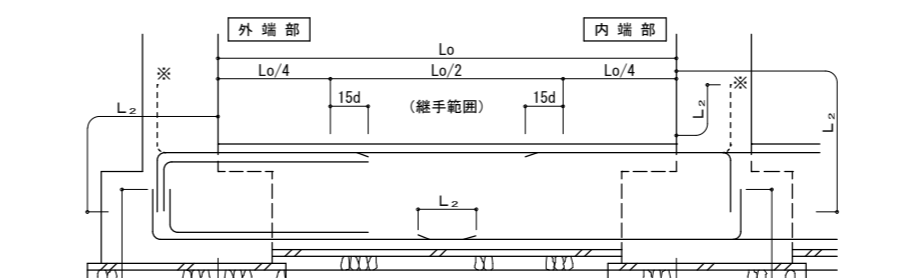


## (4) 基礎接合部の補強

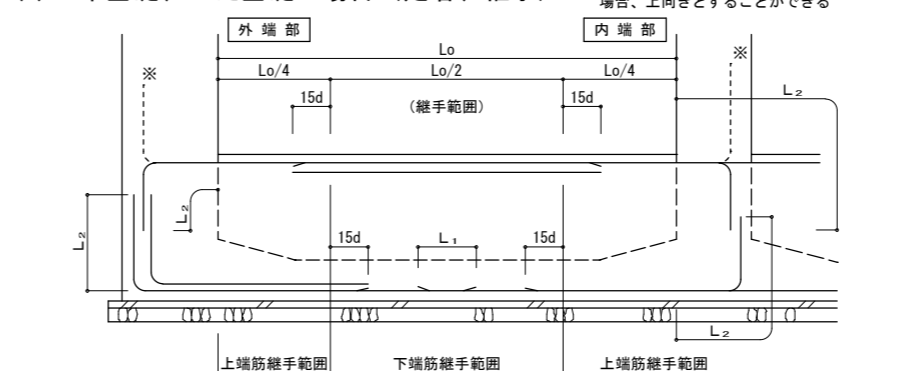


## 5. 地中梁

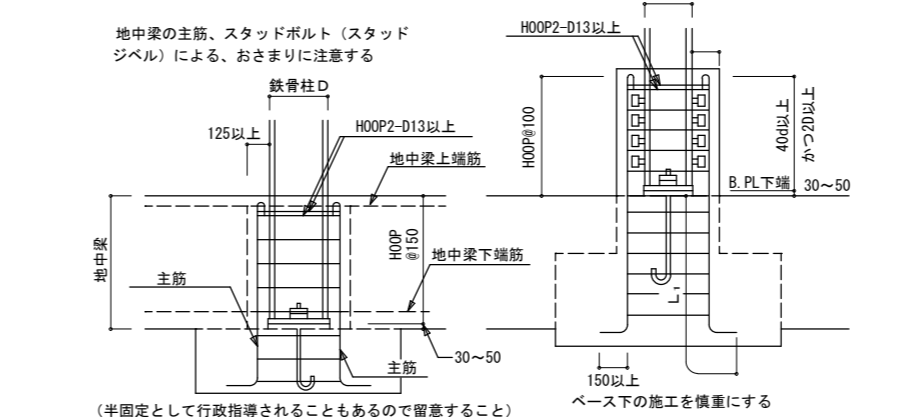
### (1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



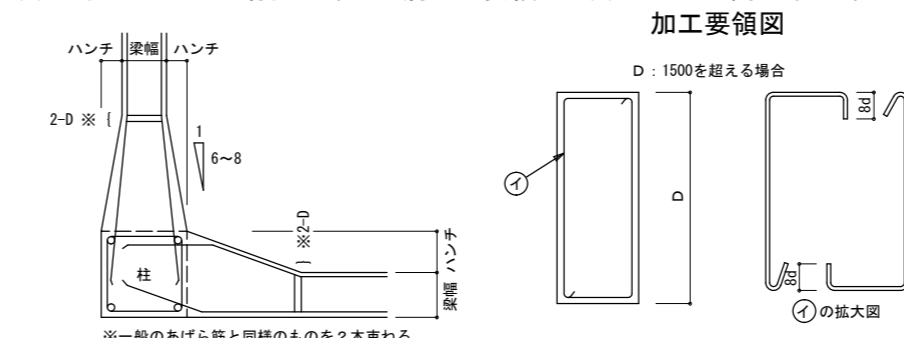
### (2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



### (3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

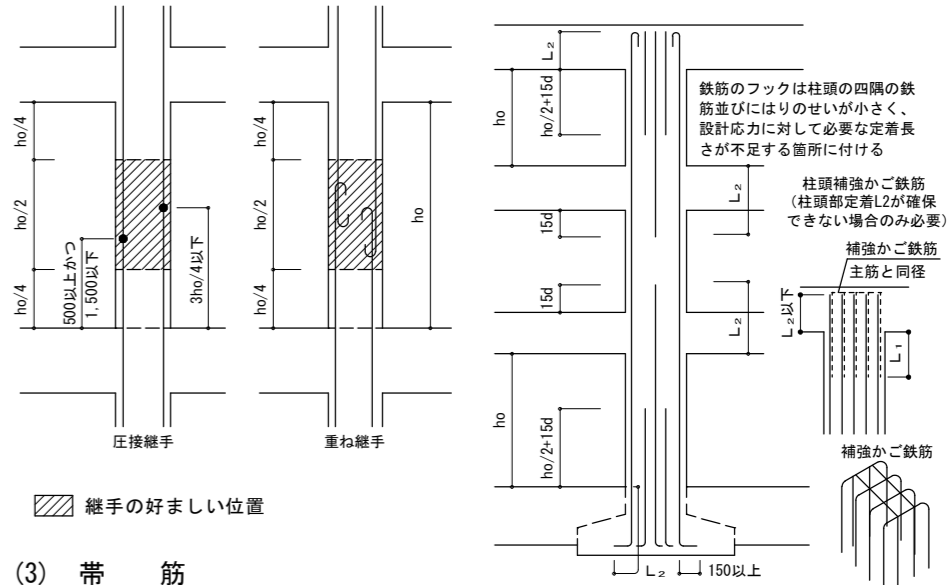


### (4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

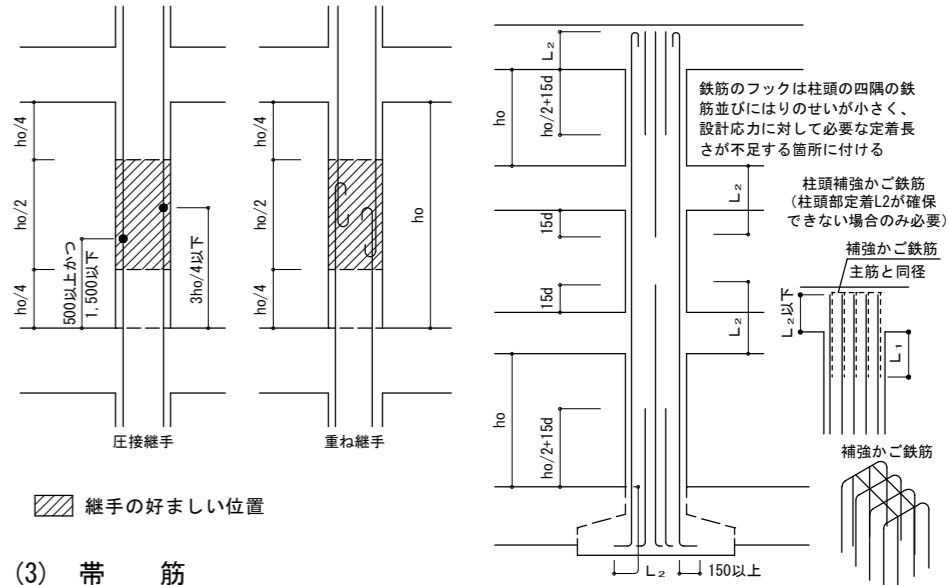


## 6. 柱

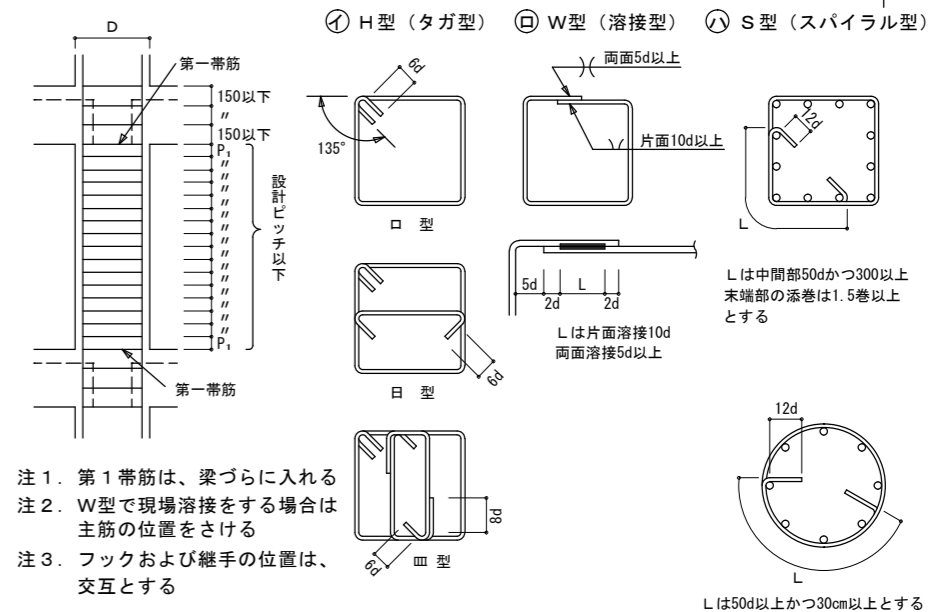
### (1) 柱主筋の継手



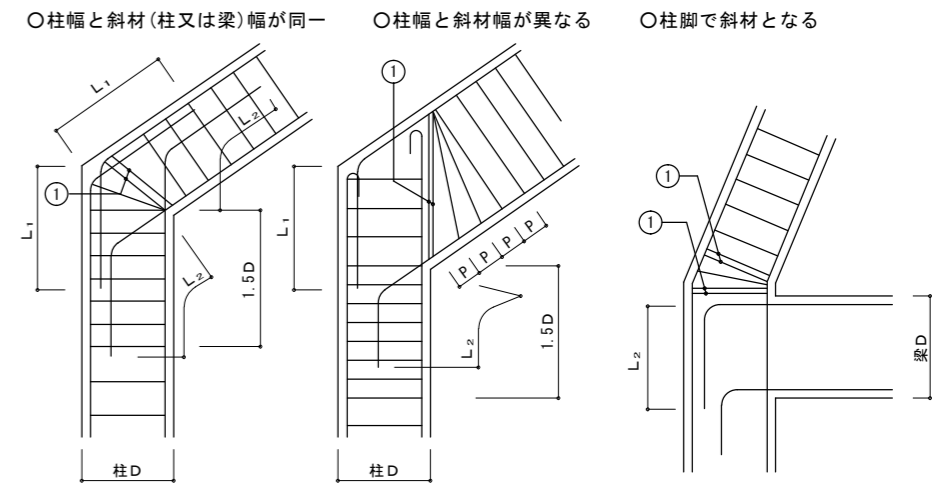
### (2) 柱主筋の定着



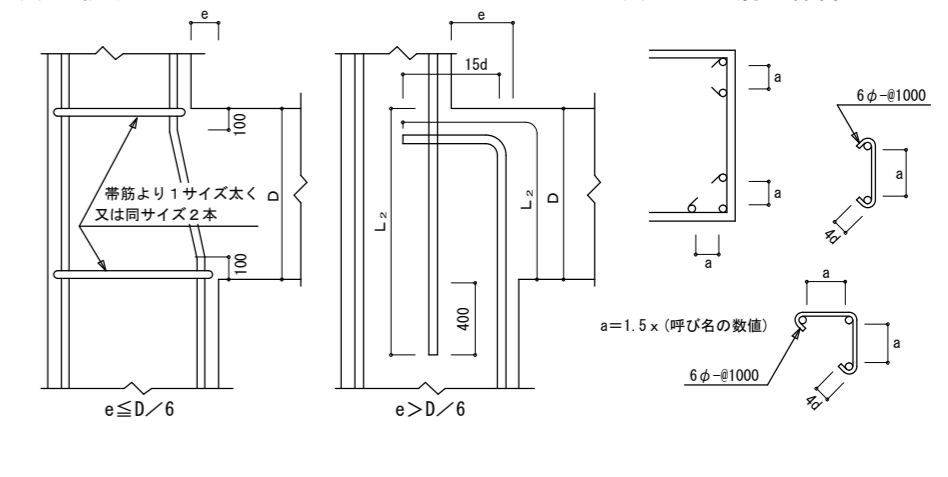
### (3) 帯筋



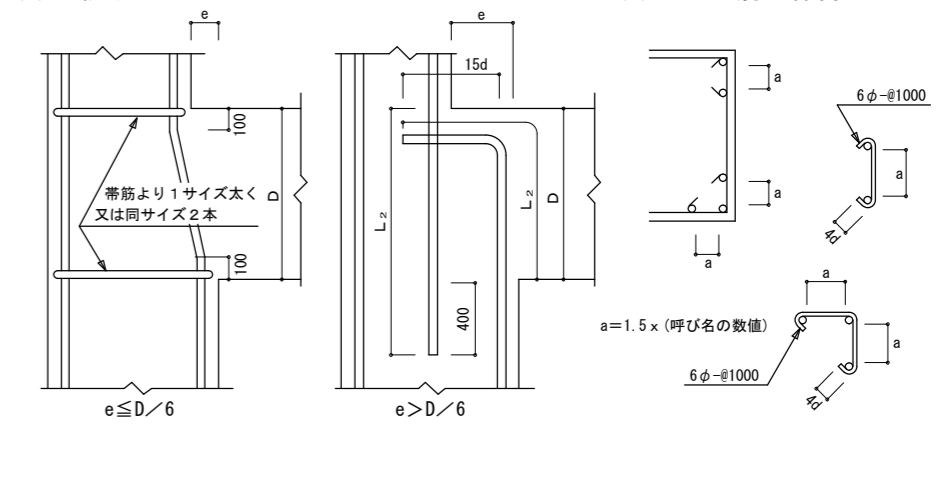
### (4) 斜め柱・斜め梁



### (5) 絞り



### (6) 二段筋の保持



備考

**NISSHIN SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE	
Drawing Title	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	SCALE	No Scale
設計担当者			
一級建築士 No.265708 出口基樹			S-02 原図:A2

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

## 7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手

(3) あばら筋、腹筋、幅止め筋の配置

(4) あばら筋の型

(5) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D < 600	不要
	600 ≤ D < 900	2-D10 1段
	900 ≤ D < 1200	4-D10 2段
	1200 ≤ D < 1500	6-D10 3段
幅止め筋	D10 @ 1000以内で割り付ける	

## 8. 床版

(1) 定着および継手

① 片持床スラブ

② 一般床スラブ

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ちスラブ出隅部補強

(4) 床版開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

床版厚さD	周囲	斜め
D ≤ 150	各2-D13	各1-D13
150 < D ≤ 200	各2-D13	各2-D13
200 < D ≤ 300	各2-D19	各2-D16

(5) 床版段差

(6) 土間コンクリート

① 軽作業の土間

② 金場

(7) 打継ぎ補強 (ダマ穴打継ぎ面について)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L以上
- 無筋部分 D10-@200 長さ800以上

## 9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 柱に (平面図)

③ 床に (非耐力壁とスラブが取り合う場合)

④ 壁と壁 (平面図)

(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

(3) 手摺、パラペット

(4) コンクリートブロック帳壁

(1) 柱 (70 ≤ a ≤ 200の場合に適用)

## (2) 梁 (70 ≤ a ≤ 200の場合に適用)

- 補強筋は、梁主筋の1段階径 (D16以上) とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋 D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- B ≤ 350の場合 補強筋 2-D16
- B > 350の場合 補強筋 3-D16
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

## 11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

(2) 鉄筋標準配筋

80 ≤ φ ≤ 100	100 ≤ φ ≤ 150	150 ≤ φ ≤ 250
斜筋 2-(2-D13)	斜筋 4-(2-D13)	斜筋 4-(2-D16)
縦筋 2-(2-D13)	縦筋 2-(2-D13)	縦筋 4-(2-D13)
	横筋 2-(2-D13)	横筋 2-(2-D13)
	上下縦筋 2-(2-D13)	上下縦筋 3-(2-D13)

(3) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

□リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

## 12. 増築予定

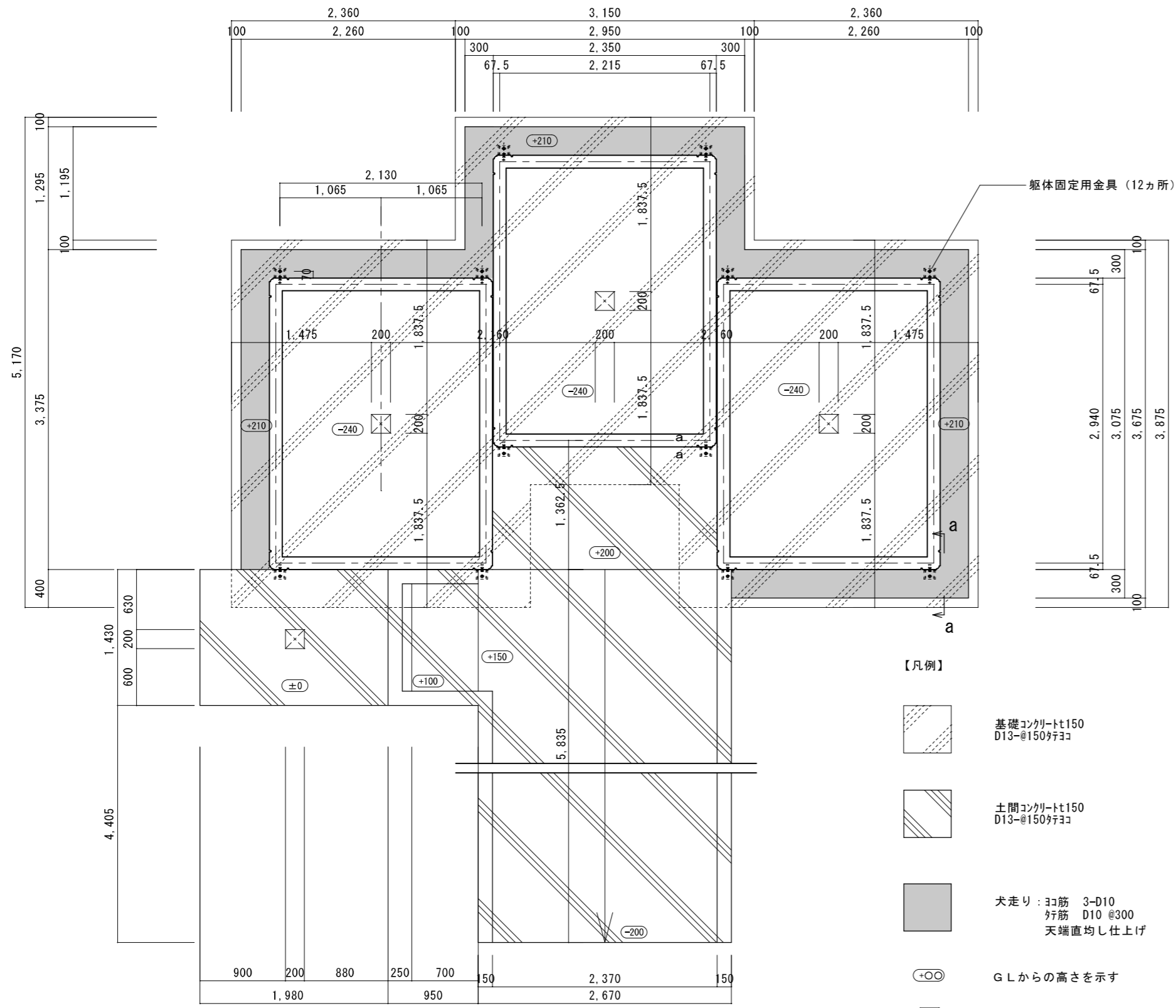
(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床版、壁

備考

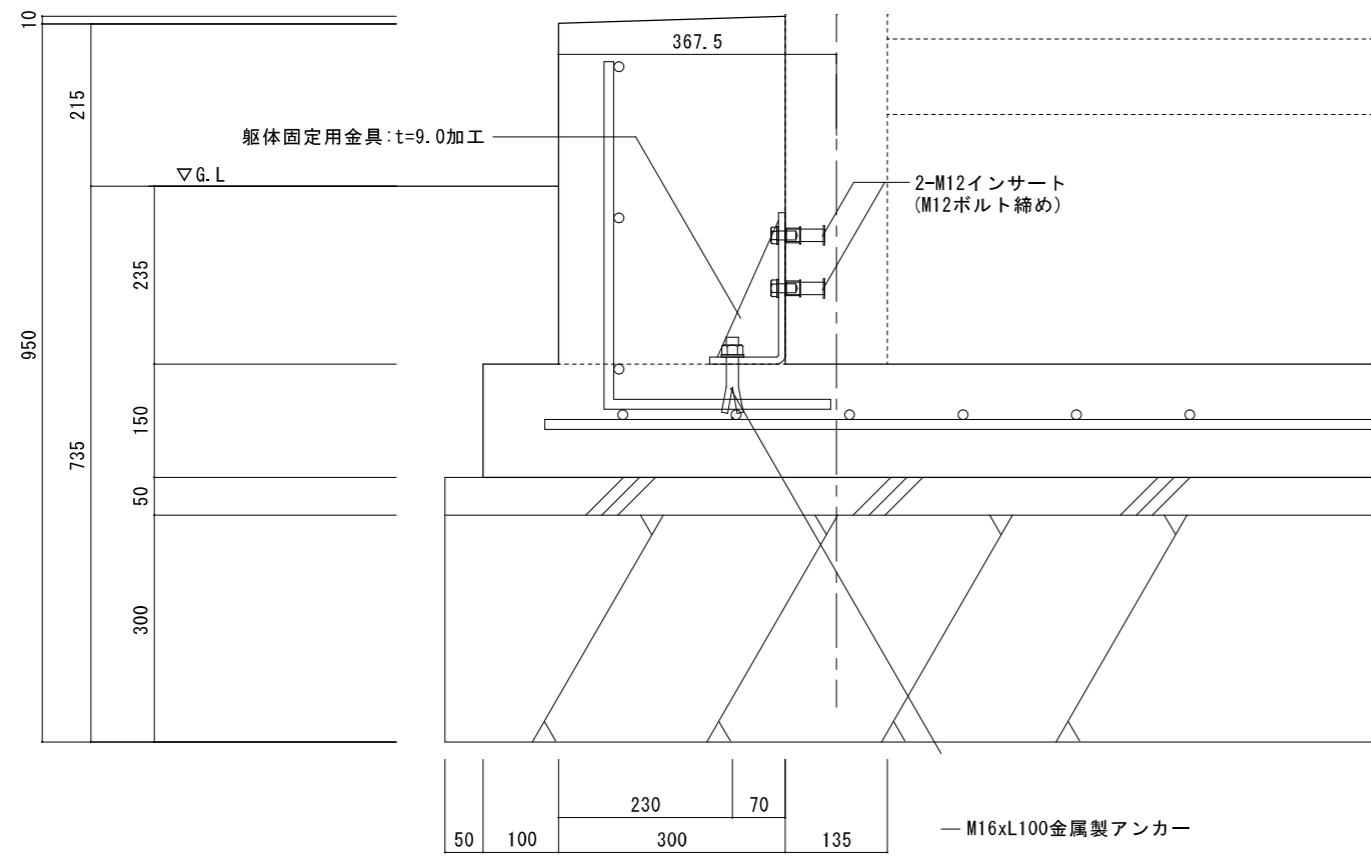
NISSHIN SEKKEI  
目新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 御殿場海岸南公衆便所新築工事  
Drawing Title 鉄筋コンクリート配筋標準図 (2)  
設計担当者  
S-03 原因:A2





基礎伏図 S:1/50

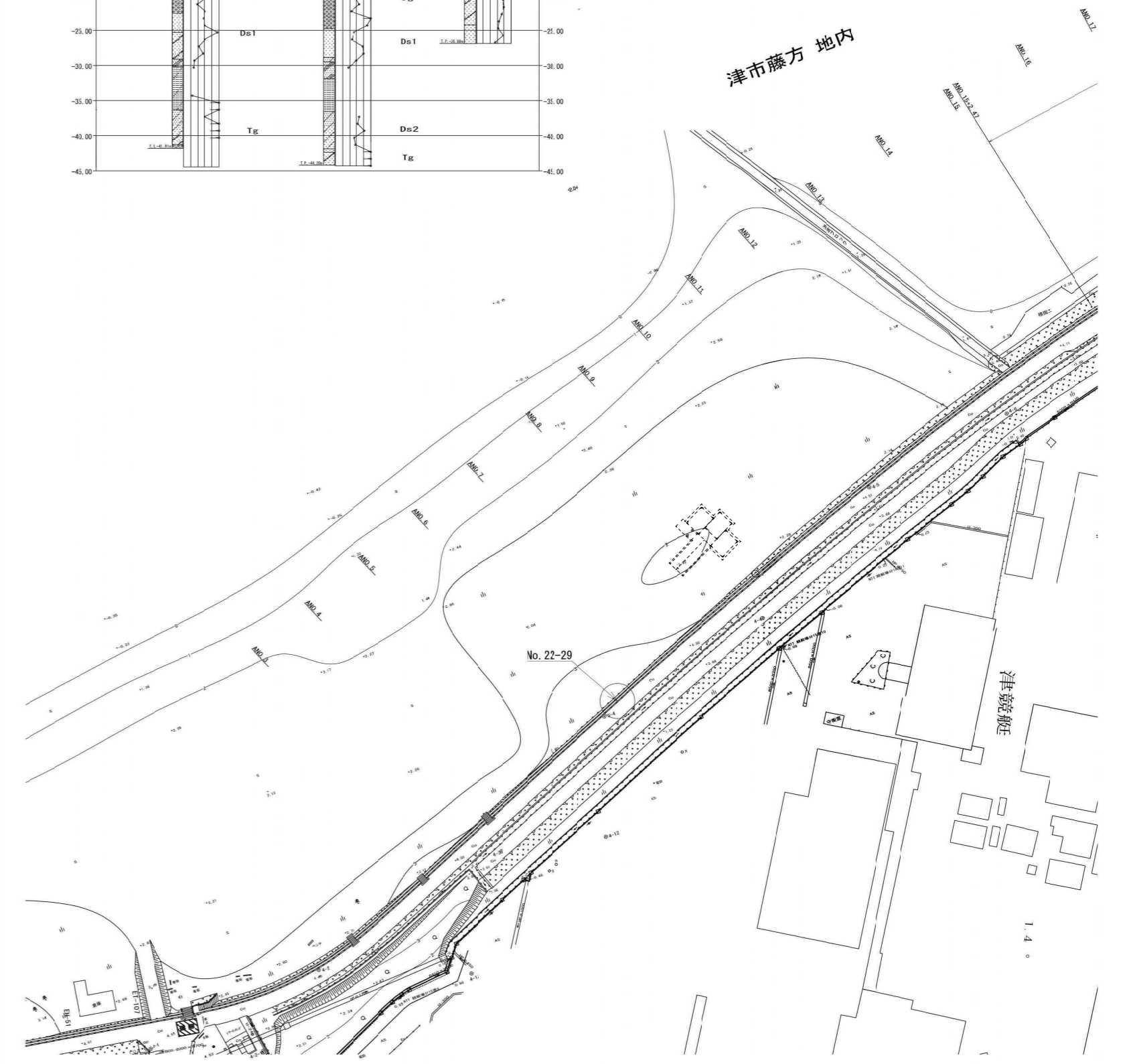
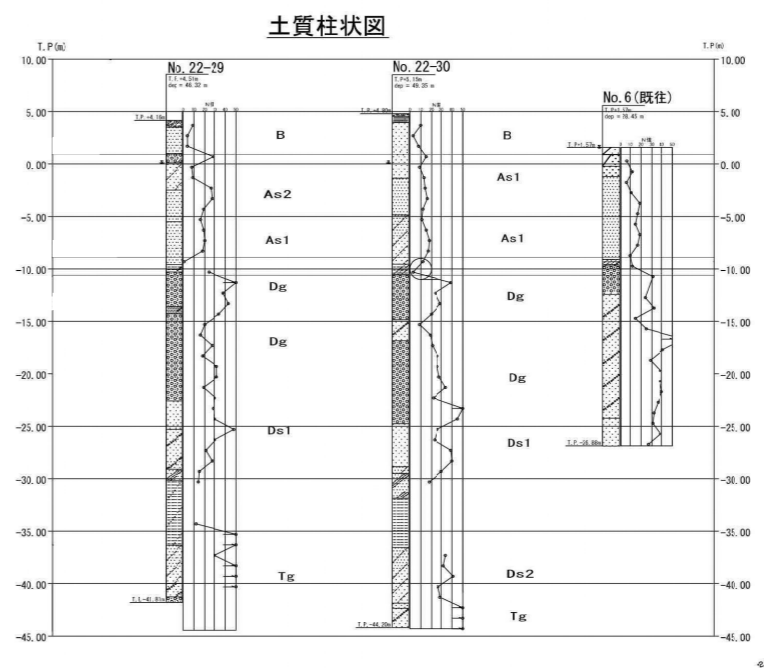


a-a断面詳細図 S:1/10

躯体固定用金具 (12ヶ所)

【凡例】

- 基礎コンクリート t150  
D13-@150行3本
- 土間コンクリート t150  
D13-@150行3本
- 犬走り : 3筋 3-D10  
行筋 D10 @300  
天端直均し仕上げ
- G.L.からの高さを示す
- 水抜き用基礎開口 200×200 (4ヶ所)

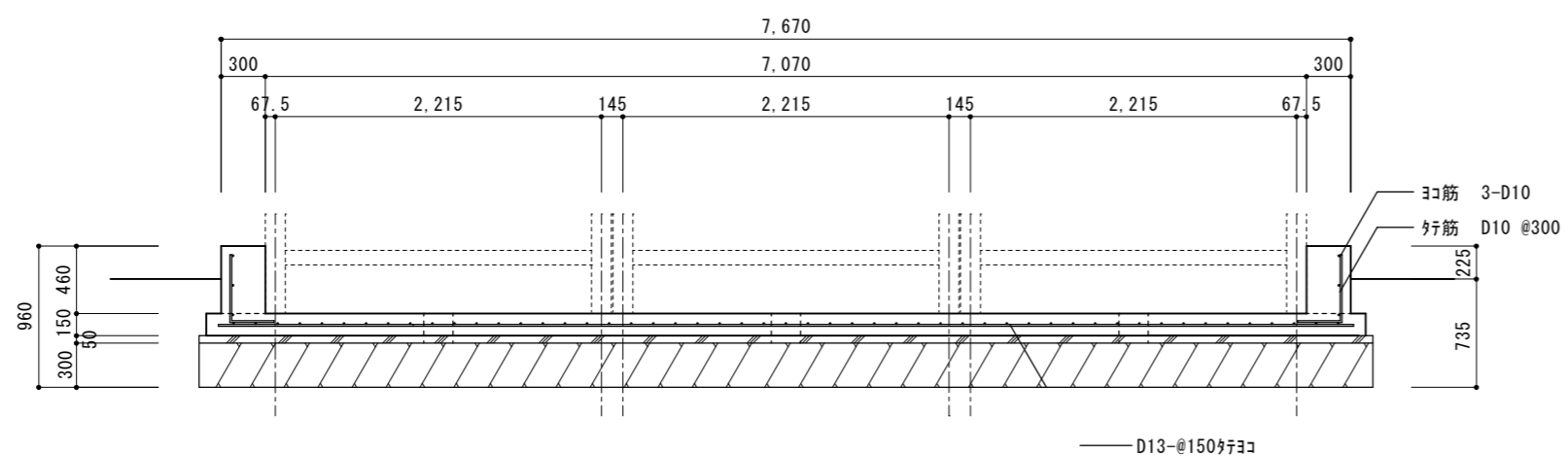


備考	

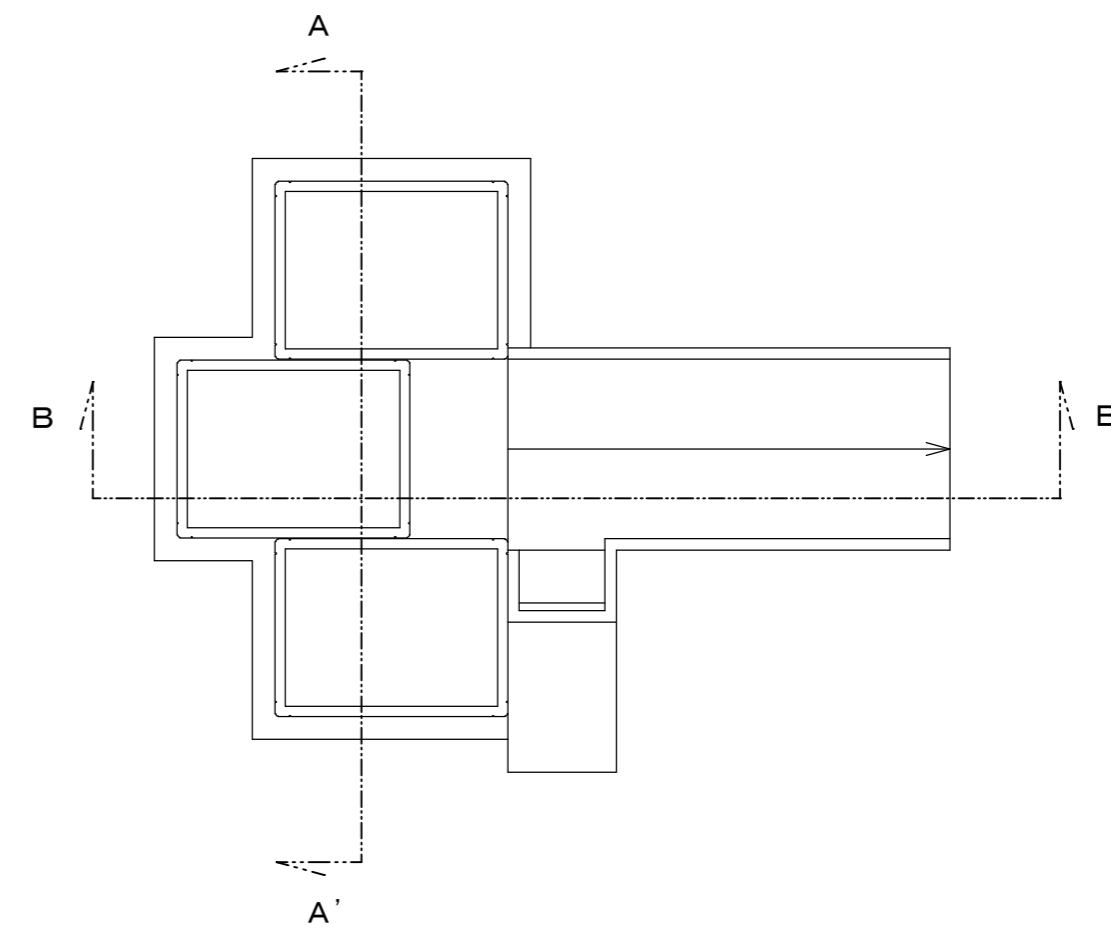
**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事
Drawing Title	基礎伏図、断面詳細図、土質柱状図
Design Responsibility	設計担当者
Level	一級建築士 No. 265708 出口基樹

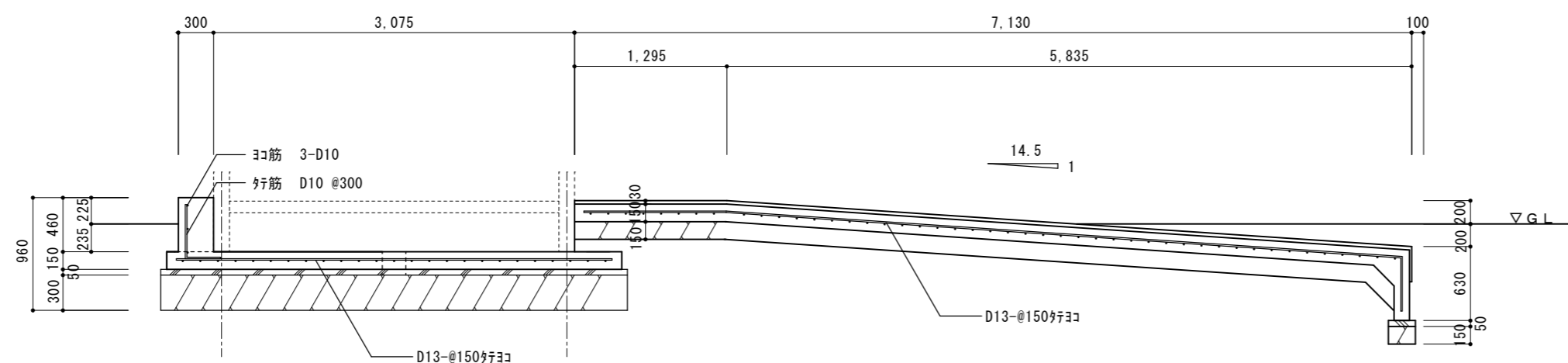
DATE	
SCALE	A2:1/50 A3:1/70 A2:1/10 A3:1/14
S-04	原図 A2



基礎配筋 A-A' 断面図 S:1/50



基礎配筋 B-B' 断面図 S:1/50

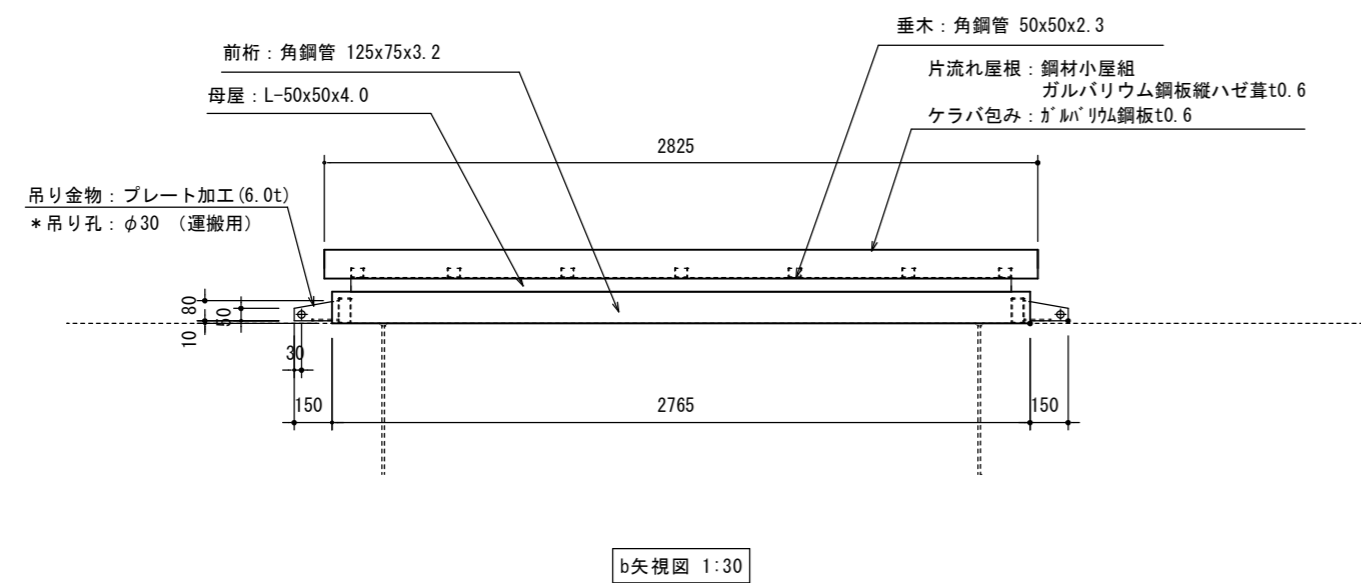
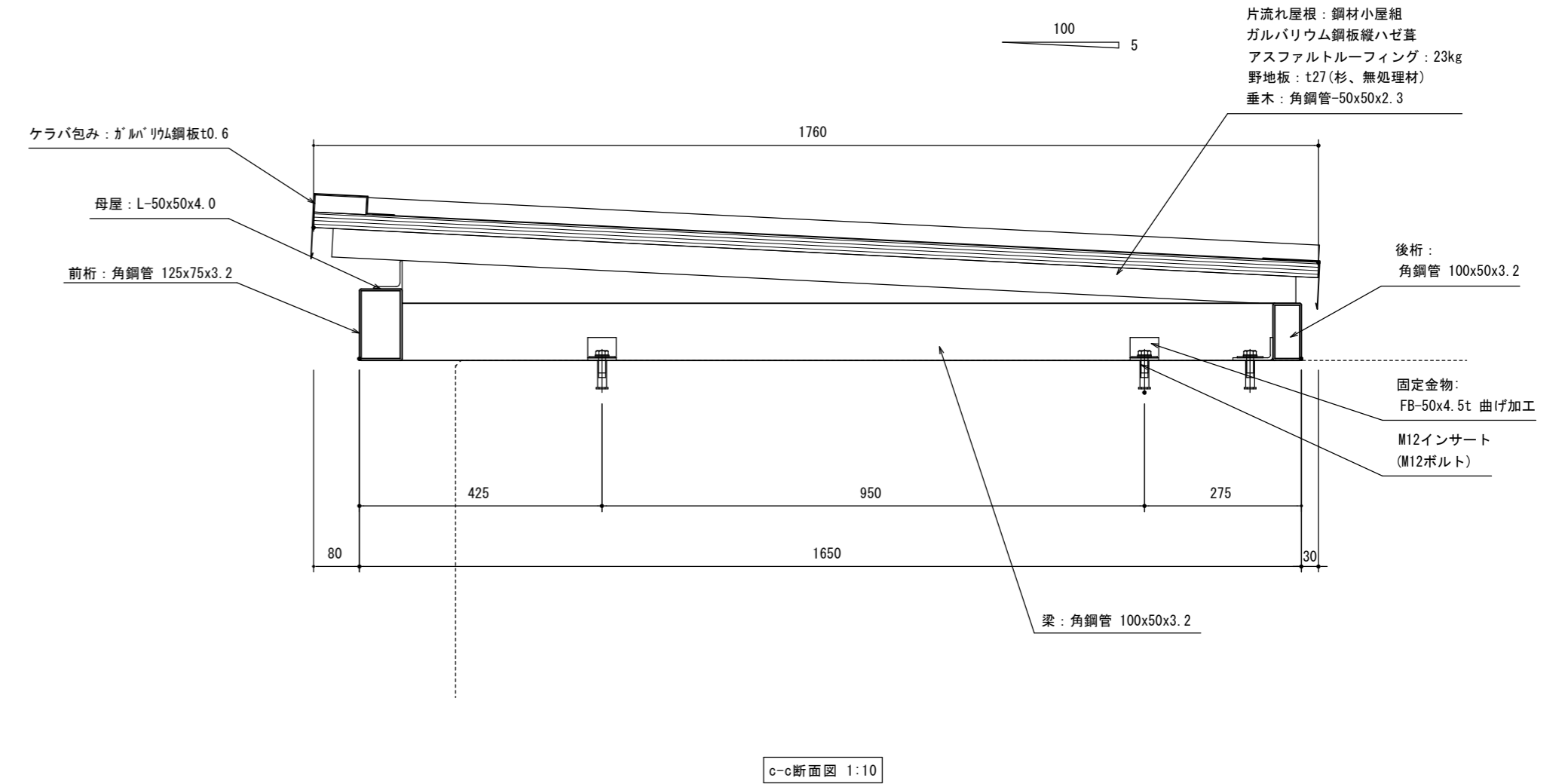
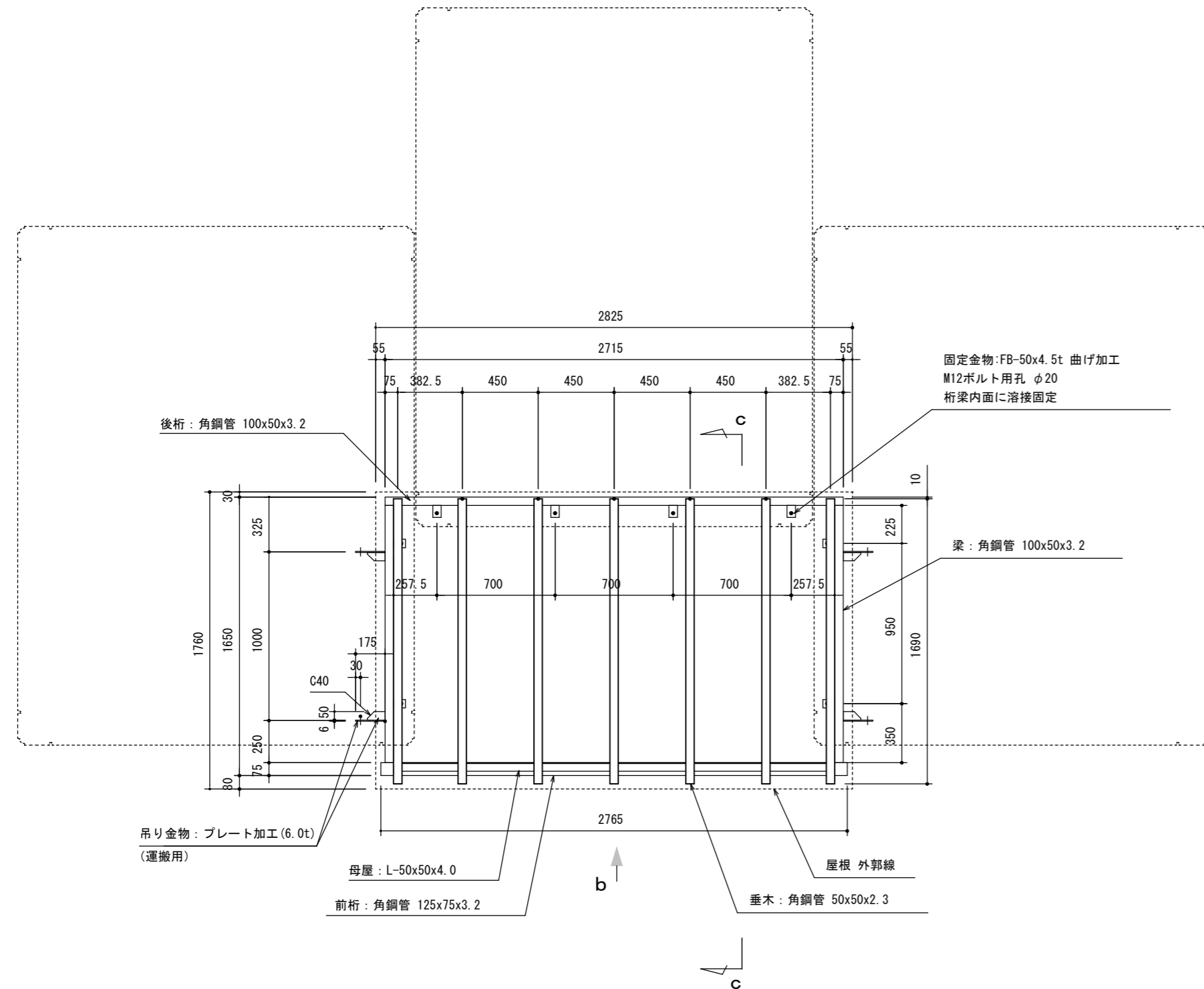


基礎配筋 B-B' 断面図 S:1/50

備考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE
Drawing Title	基礎配筋断面図	SCALE
Designator	設計担当者	A2:1/50 A3:1/70
Level	一級建築士 No.265708 出口基樹	S-05 原因:A2



部材リスト(全て工場溶接、溶融亜鉛メッキ仕上)

部材名称	部材断面	鋼材種別
前桁	□-125x75x3.2	STKR400
後桁	□-100x50x3.2	STKR400
梁	□-100x50x3.2	STKR400
母屋	L-50x50x4.0	SS400
垂木	□-50x50x2.3	STKR400

鉄骨見えがかり部分は全てSOP塗装とする

備 考	

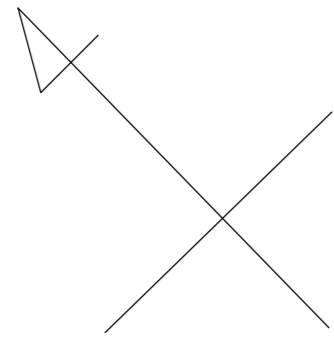
**NISSHIN  
SEKKEI**  
 日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事	DATE
Drawing Title	小屋伏図	SCALE
		A2:1/30 A3:1/42 A2:1/10 A3:1/12
設計担当者		S-06 原図:A2
一級建築士 No.265708 出口基樹		



<p>20. ケーブル及び配線 (1)表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先等を表示。）を取り付ける。 ① ケーブルがスラブを貫通する部分 ② ケーブル分岐部分 ③ 変電所内のケーブル引出し部分 ④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分 ⑤ プルボックス内 ⑥ 屋外の共同溝等の直線部分は、5.0mごと ⑦ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分 ⑧ マンホール及びハンドホールごと (2)ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ ( )箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ ( )箇所</p> <p>21. 配線器具の設置 (1)特殊コンセントはプラグ付とする。 (2)電源の種類により色を区別する。 (3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5)カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を突装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。</p> <p>22. 照明器具の設置 (1)照明器具取付完了後、照度測定を行う。 (2)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。</p> <p>23. 照明改修の際の測定 対象室の改修前後の照度等の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所 ( ) 測定回数 前後各 ( 1 ) 回</p> <p>24. 分電盤、制御盤、キュービクル等 (1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>25. 受変電設備、発電設備の設置場所 (1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>26. 発電設備の燃料配管 (1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>27. 非常放送設備のスピーカ設置 (1)放送区域の各部分からスピーカまでの水平距離は1.0m以内とする。 (2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離1.5m以内とする。</p> <p>28. 土工事 (1)埋戻しの材料及び工法 ・ B種 (材料：根切り土中の良質土 / 工法：機器による締固め) ・ その他 ( ) ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (3)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>29. 地中配線路の表示杭 下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 直線部分では3.0m程度に1個（3.0mに満たない部分はその間に1個）</p>	<p>3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。なお、詳細については図面による。</p> <p>【電力設備】</p> <p>1. 電灯設備 (1)既設等との取り合い (2)機器類 (3)一般照明器具 (4)照明制御器 (5)外灯 (単独設置) (6)コンセント等 (7)分電盤、制御盤等</p> <p>2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等</p> <p>3. 雷保護設備 (1)避雷針 (2)雷サージ保護 (3)電源回路保護 (4)通信回線保護 (5)接地設備 (1)接地工事 (2)接地抵抗測定 (3)接地極埋設</p> <p>1) 電灯設備 (1)既設等との取り合い (2)機器類 (3)一般照明器具 (4)照明制御器 (5)外灯 (単独設置) (6)コンセント等 (7)分電盤、制御盤等</p> <p>1) 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ 電源供給 ・ その他 ( ) ・ 一般照明器具 ・ 照明制御装置 ・ 外灯 (単独設置) ・ コンセント等 ・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ( ) 1) 形式 ・ 公共型 ・ 一般型 2) 灯具 ・ LED灯 ・ その他 ( ) 3) 用途 ・ 屋内用 ・ 屋外用 ・ 防災用 4) 環境 ・ 普通地域 ・ 塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1) センサ類 ・ 明るさセンサ ・ 人感センサ ・ タイマ ・ 調光スイッチ ・ その他 ( ) 2) 調光方式 ・ 連続調光 ・ 段階調光 ・ ON/OFF制御 ・ その他 ( ) 3) 制御方式 ・ 有線 ・ 無線通信 1) 照明用ポール ①材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 ・ 溶融亜鉛メッキ ・ その他 ( ) ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 3) 灯具 ・ LED灯 ・ その他 ( ) 4) 電源 ・ 商用電源(60Hz) (・ 200V ・ 100V) ・ その他 ( ) 5) 制御 ・ Eスイッチ ・ タイマ ・ その他 ( ) 6) 接地 ・ 単独接地 (・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用) ・ 共用 ・ その他 ( ) 1) 一般型 ・ 防水型 ・ ハイフォンアット (・ 固定型 ・ 上下動型(アップ式を含む)) 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、受注者名、施工者名を記載する。 2) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 3) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所とする。 4) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>・ 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他 ( ) ・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ( ) ・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ・ 消火 ・ 空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機 ・ その他 ( ) 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 ・ 専用接地 ・ 金属管接地 (7.5kW以下)</p> <p>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、受注者名、施工者名を記載する。 2) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 3) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 4) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 5) 電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。</p> <p>1) 受雷部 ・ 突針 ・ 棟上導体 ・ 笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用 3) 接地極 ・ 接地極埋設 ・ 建築構造体利用 ・ 測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ①測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 ②測定回数 ・ 3回 ・ ( )回 5) 接地極埋設を施工する。 1) 耐雷トランス ・ 設置 (・ 単相用 ・ 動力用) ・ 設置しない 2) SPD ・ 低圧用 (・ クラスⅠ ・ クラスⅡ) ・ 通信用 (・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1) 3) SPDの性能仕様は別図による。 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kVA以上とする。 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。</p> <p>1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 2) 施工 ・ 各種単独 ・ 共用有り ( ) 1) 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 2) 測定回数 ・ 3回 ・ ( )回 接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</p>	<p>【受変電設備】</p> <p>5. 受変電設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)盤類 (4)交流遮断器 (5)断路器 (6)負荷開閉器 (7)変圧器 (8)進相コンデンサ (9)直列リアクトル (進相コンデンサ用) (10)キュービクル等 (11)基礎 (12)配線ピット及び蓋 (13)設置場所</p> <p>【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備 (1)用途 (2)容量 (3)整流装置 (4)蓄電池 (5)性能 (6)蓄電池 (7)性能 (8)電力平準化用蓄電設備 (9)分散電源エネルギーマネージメントシステム</p> <p>高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。 ・ 無し ・ 改造 (機器取替、追加等を含む) ・ 増設 ・ 配線接続 ・ その他 ( ) ・ 盤類 ・ 交流遮断器 ・ 断路器 ・ 避雷器 ・ 負荷開閉器 ・ 変圧器 ・ 進相コンデンサ ・ 直列リアクトル ・ 配線用遮断器 ・ 電磁接触器 ・ その他 ( ) 1) 形式 ・ キュービクル式配電盤 (JIS C 4620) ・ 高圧スイッチギア (JEM 1425) (・ CX ・ CW ・ PW ・ MW) ・ 開放形配電盤 ・ その他 ( ) 2) 中通路 ・ 有 ・ 無 3) 特記事項 ( ) 真空遮断器 (VCB) ①操作方式 ・ 手動ばね操作 ・ 電動ばね操作 ・ 電磁操作 ②引外し方式 ・ 電流引外し ・ コンデンサ引外し ・ 直流電圧引外し 1) 形式 ・ 3極単投 ・ 単極単投 (避雷器用に限定) 2) 操作方式 ・ 遠方手動操作 ・ フック棒操作 (避雷器用に限定) 1) 形式 ・ 配電盤用 ・ 引込柱用 ・ 地中引込用 2) 配電盤用 ①操作方式 ・ フック棒操作 ・ 遠方手動操作 ・ 電動操作 ②限流ヒューズ ・ 有 (ストライカ付き) ・ 無 ③引外し装置 ・ ストライカ引外し ・ 電圧引外し ・ 無 ①本体及び制御箱の材質 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ②保護装置 過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③避雷器 ・ 内蔵 ・ 無 保護装置は、過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする 1) 形式 ・ 油入 ・ モールド 2) 設置方式 ・ 屋外型 ・ 屋内型 3) ダイヤル温度計 ・ 有 (・ 最大値指針 有 ・ 最大値指針 無) ・ 無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合は必須とする 1) 絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド ・ ガス入 2) その他 ①内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ②放電装置を附属又は内蔵すること 1) 絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド 2) 容量 ・ 6% ・ 1.3% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、受注者名、施工者名を記載する。 2) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 3) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 ・ 本工事 (・ 2.1N/mm<sup>2</sup> ・ 1.8N/mm<sup>2</sup>) ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 1) 施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 2) ピット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。 ・ 屋内 ・ 屋外 (・ 地上 ・ 屋上)</p> <p>・ 非常用照明器具電源 ・ 受変電設備制御電源 ・ その他 ( ) ( ) kVA 1) 出力電圧 直流 (・ 1.2V ・ 2.4V ・ 4.8V ・ ( )V) 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。 1) 種類 ・ 鉛蓄電池 (・ HS ・ MSE ・ 長寿命形MSE) ・ アルカリ蓄電池 (・ AH ・ AMH) ・ その他 ( ) 2) 最低蓄電池温度 ・ 5℃ ・ 15℃ ・ 25℃ ・ -5℃ ・ ( )℃</p> <p>( ) kVA ・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式 ・ その他 ( ) 整流装置、インバーター装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。 1) 種類 ・ 鉛蓄電池 (・ HS ・ MSE ・ 長寿命形MSE) ・ アルカリ蓄電池 (・ AH ・ AMH) ・ その他 ( ) 2) 最低蓄電池温度 ・ 5℃ ・ 15℃ ・ 25℃ ・ -5℃ ・ ( )℃ 停電補償時間 ( )</p> <p>・ 仕様詳細は別図による。 ・ 仕様詳細は別図による。</p>	<p>【発電設備】</p> <p>10. 燃料式発電設備 (1)用途 (2)設置場所 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (10)その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)マルチン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置</p> <p>1) 用途 ・ 防災電源専用 (防災認定品) ・ 防災電源兼用 (防災認定品) ・ 一般用 2) 区分 ・ 常用 ・ 非常用 ・ 屋内 (・ 普通地域 ・ 塩害地域) ・ 屋外 ( ) 3) 機器 ・ 発電装置 ・ 燃料槽 ・ 給油ボックス ・ 燃料移送ポンプ ・ その他 ( ) 1) 種類 ・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 2) 形式 ・ 簡易形 ・ オープン式 ・ キュービクル式 (・ 85dB(A)/1m ・ 75dB(A)/1m) 3) 始動時間 (停電検出後) ・ 1.0秒以内 ・ 4.0秒以内 ・ ( )秒以内 4) 連続運転時間 ・ 2時間以上 ・ 1.0時間以上 ・ 2.4時間以上 ・ 7.2時間以上 ・ その他 ( ) 5) 発電機 ①電気方式 ・ 三相3線式 (・ 6.6kV ・ 200V ・ ( )V) ・ 単相3線式 (200/100V) ・ 単相2線式 (・ 200V ・ 100V ・ ( )V) ②定格周波数 60Hz ③定格出力 ( ) kVA 6) 原動機 ①定格出力 ・ ( ) kW 以上 ・ ( ) ps 以上 ②冷却方式 ・ ラジエータ方式 ・ その他 ( ) 1) 種類 ・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油 ・ その他 ( ) 2) 引渡時燃料 ・ 満タン ・ 指定なし ・ その他 ( ) 1) 形式及び容量 ・ パッケージ搭載タンク ( ) リットル ・ 燃料小出槽 ( ) リットル ・ 主燃料槽 ( ) リットル ・ 屋外型 (・ ステンレス製 ・ 鋼製) ・ 屋内型 (・ ステンレス製 ・ 鋼製) 2) 燃料小出槽 ①設置場所 ・ 屋内 (・ 屋外(地上)) ・ 地下埋設 (・ タンク室内埋設 ・ 直埋設) ②形式 ・ 二重殻タンク ・ 一重殻タンク ・ その他 ( ) ③設置工事 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ その他 ( ) ④タンク室工事 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 1) 材質 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ その他 ( ) 2) 油量指示計 ・ 有 ・ 無 1) 電動ポンプ ・ 歯車ポンプ ・ 油中ポンプ 2) 手動ポンプ (ウイングポンプ) ・ 有 ・ 無 3) 電動ポンプ水没防止カバー ・ 有 ・ 無 ・ 本工事 (・ 2.1N/mm<sup>2</sup> ・ 1.8N/mm<sup>2</sup>) ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) ・ ( )の仕様詳細は別図による。 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 ・ 仕様詳細は別図による。 13. 構内交換設備 (1)機器 ・ 交換装置 ・ 電話機 ・ 端子盤類 ・ アウトレット ・ その他 ( ) (2)交換装置 1) 種別 ・ 構内交換装置 (・ デジタルPBX ・ IP-PBX ・ VoIPサーバ) ・ ボタン電話装置 ・ その他 ( ) 2) 局線応答方式 ・ 局線中継台 ・ 分散中継台 ・ ダイヤルイン ・ ダイレクトインダイヤル ・ ダイレクトインライン ・ その他 ( ) 3) 保安用接地 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 4) 本配電盤(MDF) ・ 自立フレーム (・ 片面形 ・ 両面形) ・ 交換機一体型 ・ 壁掛型 ・ その他 ( ) 5) 電源装置 ①形式 ・ 別置型 ・ 一体形 ・ その他 ( ) ②停電補償時間 ・ 3.0分以上 ・ ( )以上 (3)電話機 ・ 一般電話機 ・ 多機能電話機 ・ IP電話機 ・ デジタルコードレス電話機 (PHS方式) ・ IPコードレス電話機 (無線LAN方式) ・ その他 ( ) 1) 端子盤 ・ 中継端子盤 (IDF) ・ 室内端子盤 2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。 ・ ローテンションアウトレット (・ 固定型 ・ 上下動型(アップ式を含む)) ・ 壁コンセント ・ その他 ( ) 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)マルチン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 1) 機器 ・ 表示盤 ・ 検出装置 ・ その他 ( ) 2) 表示盤 ①表示方式 ・ 表示窓式 ・ その他 ( ) ②施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 3) 検出装置 ①検出方式 ・ 電極 ・ 無電圧接点 ・ その他 ( ) ②施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。 15. 映像音響設備 ・ 仕様詳細は別図による。</p>																
備考		<p><b>NISSHIN</b> <b>SEKKEI</b> <b>目新設計株式会社</b> 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹</p>	<table border="1"> <tr> <td>Job Title</td> <td>御殿場海岸南衆便所新築工事</td> <td>DATE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Drawing Title</td> <td>電気設備工事特記仕様書02</td> <td>SCALE</td> <td>A2:N・S A3:N・S</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">設計担当者</td> </tr> <tr> <td>一級建築士 No.265708 出口基樹</td> <td></td> <td></td> <td>E-02 原因:A2</td> </tr> </table>	Job Title	御殿場海岸南衆便所新築工事	DATE		Drawing Title	電気設備工事特記仕様書02	SCALE	A2:N・S A3:N・S	設計担当者				一級建築士 No.265708 出口基樹			E-02 原因:A2
Job Title	御殿場海岸南衆便所新築工事	DATE																	
Drawing Title	電気設備工事特記仕様書02	SCALE	A2:N・S A3:N・S																
設計担当者																			
一級建築士 No.265708 出口基樹			E-02 原因:A2																

<p>16. 拡声設備</p> <p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増幅器 ・ 付属機器 ・ 操作装置 ・ スピーカ ・ その他 ( )</li> <li>非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照)</li> <li>専用出力 ( ) W</li> </ul> <p>(2) 増幅器</p> <p>出力インピーダンス ・ Lo形 ・ Hi形</p> <p>(3) 付属機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオミキサー ・ リモコンマイク ・ 電源制御器</li> <li>録音再生装置 (・ CD ・ メモリオーディオ ・ その他 ( ))</li> <li>アナウンスレコーダ (・ チャイム ・ 独自メッセージ ・ プログラムタイマー ・ その他 ( ))</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>有線マイクロホン</li> <li>無線マイクロホン (・ 電波式 (・ アナログ ・ デジタル) ・ 赤外線式)</li> <li>ラジオチューナー (・ FM ・ AM ・ その他 ( ))</li> <li>スピーカ切替装置 (・ その他 ( ))</li> <li>単型 ・ キャビネットラック型 ・ 壁掛型 ・ その他 ( )</li> </ul> <p>(4) 操作装置</p> <p>(5) スピーカ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照)</li> <li>専用結線 ・ 1W ・ 3W ( ) W</li> <li>インピーダンス ・ Lo形 ・ Hi形</li> <li>設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 ・ その他 ( )</li> </ul>	<p>23. 自動閉鎖設備</p> <p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動制御器</li> <li>感知器</li> <li>自動閉鎖装置</li> <li>自動開錠装置</li> </ul> <p>(2) 運動制御器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制御対象</li> <li>回線数 ( ) 回線 (遠方復帰機構 ( ) 回路)</li> <li>設置</li> <li>1) 型式</li> <li>2) 種類</li> <li>3) 試験機能</li> <li>4) 機器仕様</li> </ul> <p>(3) 感知器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 型式</li> <li>2) 種類</li> <li>3) 試験機能</li> <li>4) 機器仕様</li> </ul> <p>(4) 自動閉鎖装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 方式</li> <li>2) 施工</li> </ul> <p>(5) 自動開錠装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 方式</li> <li>2) 施工</li> </ul>	<p>【構内通信線路】</p> <p>27. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話 ・ 拡声 ・ 時刻表示 ・ 火災報知 ・ 非常警報 ・ インターホン</li> <li>テレビ共同受信 ・ 防犯 ・ 制御 ・ その他 ( )</li> <li>地中線式 (・ 直埋 管路) ・ 架空線式 (・ 直接 ・ ちょう架線添架)</li> <li>建築物等添架式 (・ 露出配管 ・ 隠蔽配管 ・ その他 ( ))</li> <li>その他 ( )</li> </ul> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 施工</li> <li>2) 電柱</li> <li>3) 支持材</li> <li>4) 装柱材料</li> <li>5) 銘板</li> </ul> <p>(4) ハンドホール</p> <p>マンホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 形式</li> <li>2) 施工</li> <li>3) ケーブル支持金物の取付</li> <li>4) 重車両の通行</li> </ul> <p>(5) 錆鉄蓋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul> <p>(6) 地中ケーブル</p> <p>保護材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul> <p>【その他】</p> <p>28. 消火器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 設置</li> <li>2) 消火器</li> <li>3) 消火器収納箱</li> </ul>	<p>5. 使用資機材の適用規格</p> <p>(1) 以下に定めるとおりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本工業規格 (JIS規格) 適合品の使用を原則とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品</li> <li>● 電気用品安全法適合品</li> <li>● 耐熱 ・ 耐火電線 ・ 耐熱 ・ 耐火ケーブル</li> <li>● 消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火 ・ 耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したもの</li> <li>● 第三者認証機関として (一社) 日本電線工業会規格 (JCS規格) への適合性検査を行い合格したもの</li> <li>● 非常用照明器具</li> <li>● 建築基準法に定める国土交通大臣認定品</li> <li>● (一社) 日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの</li> <li>● 誘導灯</li> <li>● 登録認定機関 ((一社) 日本電気協会 (JEA誘導灯認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの</li> <li>● 制御盤</li> <li>● (一社) 日本配電制御システム工業会規格 (JSIA規格) 適合品</li> <li>● 消防用加圧送水装置 ・ 不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤 ・ 火災通報装置 ・ 総合操作盤等の認定対象品</li> <li>● 登録認定機関 ((一財) 日本消防設備安全センター (消防用設備等認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの</li> <li>● 不活性ガス消火設備等の操作箱 ・ 新ガス系消火設備制御盤 ・ 緊急通報装置 ・ 非常通報装置等の性能評定対象品</li> <li>● (一財) 日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの</li> <li>● 金属閉鎖形スイッチギア</li> <li>● (一社) 日本電機工業会規格 (JEM規格) 適合品</li> <li>● 高圧機器 (遮断器 ・ 限流ヒューズ ・ 負荷開閉器 ・ 避雷器 ・ 断路器 ・ 特定機器以外の変圧器 ・ 計器用変成器 ・ 保護継電器)</li> <li>● (一社) 電気学会電気規格調査会規格 (JEC規格) 適合品</li> <li>● 直流電源装置 (防災電源用)</li> <li>● 登録認定機関 ((一社) 日本電気協会 (JEA蓄電池設備認定委員会)) の認定をうけ、認定証票が貼付されたもの</li> <li>● 交流無停電電源装置</li> <li>● (一社) 電気学会電気規格調査会規格 (JEC規格) 適合品</li> <li>● 自家発電装置 (防災電源用)</li> <li>● 登録認定機関 ((一社) 日本内燃力発電設備協会) の認定を受け、認定証票 (長時間形) が貼付されたもの</li> <li>● 自家発電装置 (防災電源用でないもの)</li> <li>● (一社) 日本電機工業会規格 (JEM規格) 適合品</li> <li>● 太陽電池モジュールの支持物</li> <li>● 電気設備の技術基準の解釈第4 6 条第2 項又は第3 項の規定に適合するもの</li> <li>● 電話用設備 (電話交換機 ・ 電話機等)</li> <li>● 登録認定機関 ((一財) 電気通信端末機器審査協会 (JATE) 等) の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの</li> <li>● 非常用放送設備</li> <li>● 登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの</li> <li>● テレビ共同受信機器</li> <li>● 優良住宅部品 (BL部品) の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの</li> <li>● (一社) 電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの</li> <li>● 自動火災報知設備</li> <li>● 登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの</li> </ul> <p>(2) 特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様 ・ 性能等を証明する書類を監督員に提出し、かつ監督員の承諾が得られた場合に限り使用できるものとする。</p>
<p>17. 誘導支援設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 音声誘導装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 検出方式</li> <li>2) 設置場所</li> <li>3) 機能</li> <li>4) 機器</li> <li>5) 制御装置</li> <li>6) 送信機</li> <li>7) 受信機</li> </ul> <p>(3) インターホン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 用途</li> <li>2) 機能</li> <li>3) 通話網</li> <li>4) 通話方式</li> <li>5) 機器</li> <li>6) 親機</li> <li>7) 子機</li> </ul> <p>(4) トイレ等</p> <p>呼出装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 用途</li> <li>2) 機器</li> <li>3) 親機</li> <li>4) 呼出スイッチ</li> <li>5) 警報装置</li> </ul>	<p>24. 非常警報設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 非常放送装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 消防法基準適合マークとする</li> <li>2) 機器</li> <li>3) 増幅器</li> <li>4) スピーカ</li> </ul> <p>(3) 非常ベル</p> <p>(自動サイレンを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 機器</li> <li>2) 設置</li> </ul> <p>25. ガス漏れ火災</p> <p>警報設備</p> <p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 機器</li> <li>2) 受信機</li> </ul> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 検知器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 動作</li> <li>2) 定格電圧</li> <li>3) ガス検知出力信号</li> </ul> <p>【中央監視</p> <p>制御設備】</p> <p>【医療関係設備】</p>	<p>【構内配電線路】</p> <p>26. 構内配電線路</p> <p>(1) 配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地中線式 (・ 直埋 ● 管路) ・ 架空線式 (● 直接 ・ ちょう架線添架)</li> <li>・ 建築物等添架式 (● 露出配管 ● 隠蔽配管 ・ その他 ( ))</li> <li>・ その他 ( )</li> </ul> <p>(2) 建柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 施工</li> <li>2) 電柱</li> <li>3) 支持材</li> <li>4) 装柱材料</li> <li>5) 銘板</li> </ul> <p>(3) 装柱機器</p> <p>(高圧用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 機器</li> <li>2) 耐環境性</li> <li>3) 開閉器</li> </ul> <p>(4) 装柱機器</p> <p>(低圧用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 機器</li> <li>2) 耐環境性</li> <li>3) 開閉器</li> </ul> <p>(5) ハンドホール</p> <p>マンホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 形式</li> <li>2) 施工</li> <li>3) ケーブル支持金物の取付</li> <li>4) 重車両の通行</li> </ul> <p>(6) 錆鉄蓋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul> <p>(7) 地中ケーブル</p> <p>保護材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul>	<p>【構内通信線路】</p> <p>27. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話 ・ 拡声 ・ 時刻表示 ・ 火災報知 ・ 非常警報 ・ インターホン</li> <li>テレビ共同受信 ・ 防犯 ・ 制御 ・ その他 ( )</li> <li>地中線式 (・ 直埋 管路) ・ 架空線式 (・ 直接 ・ ちょう架線添架)</li> <li>建築物等添架式 (・ 露出配管 ・ 隠蔽配管 ・ その他 ( ))</li> <li>その他 ( )</li> </ul> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 施工</li> <li>2) 電柱</li> <li>3) 支持材</li> <li>4) 装柱材料</li> <li>5) 銘板</li> </ul> <p>(4) ハンドホール</p> <p>マンホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 形式</li> <li>2) 施工</li> <li>3) ケーブル支持金物の取付</li> <li>4) 重車両の通行</li> </ul> <p>(5) 錆鉄蓋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul> <p>(6) 地中ケーブル</p> <p>保護材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul> <p>【その他】</p> <p>28. 消火器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 設置</li> <li>2) 消火器</li> <li>3) 消火器収納箱</li> </ul>
<p>18. テレビ共同</p> <p>受信設備</p> <p>(1) 受信放送</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 放送</li> <li>2) マスト</li> <li>3) 自立用基礎</li> </ul> <p>19. 監視カメラ設備</p> <p>20. 駐車場</p> <p>管制設備</p> <p>21. 防犯 ・ 入退室</p> <p>管理設備</p> <p>22. 自動火災</p> <p>報知設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 型式</li> <li>2) 回線数</li> <li>3) 試験機能</li> <li>4) 盤形式</li> </ul> <p>(3) 副受信機</p> <p>(表示装置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 盤形式</li> <li>2) 回線数</li> <li>3) 表示装置の仕様詳細は別図による</li> </ul> <p>(4) 中継器</p> <p>(5) 発信機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 型式</li> <li>2) 消火栓ポンプ起動</li> <li>3) 設置</li> </ul> <p>(6) 感知器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 型式</li> <li>2) 種類</li> <li>3) 試験機能</li> <li>4) 機器仕様</li> </ul> <p>(7) 光警報装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 機器</li> <li>2) 警報装置</li> <li>3) 同期装置</li> </ul>	<p>【中央監視</p> <p>制御設備】</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>26. 構内配電線路</p> <p>(1) 配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地中線式 (・ 直埋 ● 管路) ・ 架空線式 (● 直接 ・ ちょう架線添架)</li> <li>・ 建築物等添架式 (● 露出配管 ● 隠蔽配管 ・ その他 ( ))</li> <li>・ その他 ( )</li> </ul> <p>(2) 建柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 施工</li> <li>2) 電柱</li> <li>3) 支持材</li> <li>4) 装柱材料</li> <li>5) 銘板</li> </ul> <p>(3) 装柱機器</p> <p>(高圧用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 機器</li> <li>2) 耐環境性</li> <li>3) 開閉器</li> </ul> <p>(4) 装柱機器</p> <p>(低圧用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 機器</li> <li>2) 耐環境性</li> <li>3) 開閉器</li> </ul> <p>(5) ハンドホール</p> <p>マンホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 形式</li> <li>2) 施工</li> <li>3) ケーブル支持金物の取付</li> <li>4) 重車両の通行</li> </ul> <p>(6) 錆鉄蓋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul> <p>(7) 地中ケーブル</p> <p>保護材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul>	<p>【構内通信線路】</p> <p>27. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話 ・ 拡声 ・ 時刻表示 ・ 火災報知 ・ 非常警報 ・ インターホン</li> <li>テレビ共同受信 ・ 防犯 ・ 制御 ・ その他 ( )</li> <li>地中線式 (・ 直埋 管路) ・ 架空線式 (・ 直接 ・ ちょう架線添架)</li> <li>建築物等添架式 (・ 露出配管 ・ 隠蔽配管 ・ その他 ( ))</li> <li>その他 ( )</li> </ul> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 施工</li> <li>2) 電柱</li> <li>3) 支持材</li> <li>4) 装柱材料</li> <li>5) 銘板</li> </ul> <p>(4) ハンドホール</p> <p>マンホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 形式</li> <li>2) 施工</li> <li>3) ケーブル支持金物の取付</li> <li>4) 重車両の通行</li> </ul> <p>(5) 錆鉄蓋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul> <p>(6) 地中ケーブル</p> <p>保護材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 種類</li> <li>2) 埋設杭埋設</li> <li>3) 埋設標識シート</li> <li>4) 埋設標識シートの表記</li> </ul> <p>【その他】</p> <p>28. 消火器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 設置</li> <li>2) 消火器</li> <li>3) 消火器収納箱</li> </ul>	<p>Job Title</p> <p>御殿場海岸南衆便所新築工事</p> <p>DATE</p> <p>Drawing Title</p> <p>電気設備工事特記仕様書03</p> <p>SCALE</p> <p>A2:N・S A3:N・S</p> <p>設計担当者</p> <p>設計担当者</p> <p>E-03</p> <p>原因:A2</p>
<p>備考</p>	<p style="text-align: center;"><b>NISSHIN</b></p> <p style="text-align: center;"><b>SEKKEI</b></p> <p style="text-align: center;"><b>目新設計株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号      一級建築士 No. 265708      出口基樹</p>		



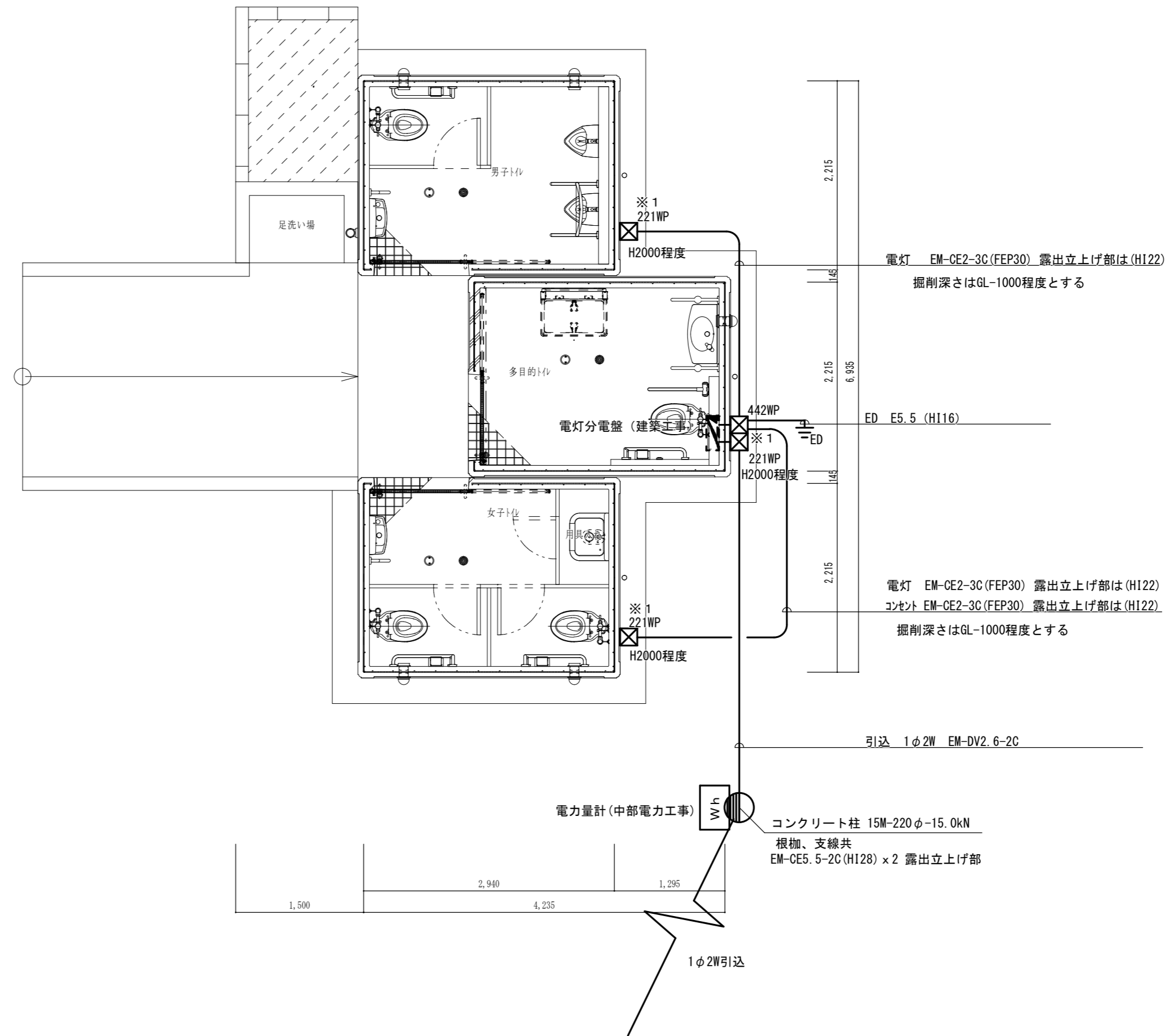
凡例

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	建築工事
□	ﾌﾟﾙｯｸｽ	
⊕	接地 ED	

ﾌﾟﾙｯｸｽの種類・サイズは、下記の通り

221WP:200×200×100 SUS・WP  
442WP:400×400×200 SUS・WP

※1 : RCユニット便所配線と接続を示す



平面図 S:1/50

備考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南衆便所新築工事	DATE	
Drawing Title	電気設備 平面図	SCALE	A2:1/50 A3:1/71
設計担当者			
一級建築士 No.265708 出口基樹			E-04 原因:A2





※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m以下
鉛管	1.5m以下		
錫鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
錫鉄管	-	-	-
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下  
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下  
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
  - ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法
- アンクルフランジ工法
  - 共板フランジ工法
  - スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強
- 山形鋼 JIS G 3101
  - SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト
- スパイラルダクト
  - 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K  
(屋内一般等) 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K
- 給水管  排水管  給湯管  温水管
- 蒸気管  冷水・冷温水管  冷媒管  温水管
- (屋外等)
- 給湯管  温水管  蒸気管  冷水・冷温水管
- 冷媒管  温水管  冷水管  消火管
- ロックウール保温材 保温板、保温帯、ブランケット  
(防火区画貫通部等) 1号JIS A 9504
- 給水管  排水管  給湯管  温水管
- 蒸気管  冷水・冷温水管  冷媒管  消火管
- ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号  
(屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号
- 給水管  排水管  冷水・冷温水管  冷水管 (2~4℃)
- フライン管  消火管  給湯管  温水管
- (屋外等)
- 給水管  排水管  給湯管  冷水・冷温水管
- フライン管  消火管  給湯管  温水管
- 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種  
(露出)
- 給水管  排水管  通気管  ドレン管
- ガス管  消火管  油管  冷却水管
- ダクト (亜鉛鉄板製)  ダクト (鋼板製)
- さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種  
(露出)
- 蒸気管 (往)  ダクト (鋼板製)

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯80A	100	150A	-	200A	-
膨張・温水・消火管	~25A	-	32~50A	65A	-
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A	-
フライン管	-	-	~25A	32~80A	100A	-

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー排気筒隠蔽部 (ロックウール)	
75mm	煙導 (ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&8 9&10 仕上
天井内・P S内	7&8 9&10 仕上	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム 着色7&8 9&10 仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。  
※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブテン管使用の場合は、上表保温不要。  
※ 3) 消火管の外部露出の保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別  
 保温化粧ケース仕上  ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
鋼板製タンク					カラー亜鉛鉄板 (屋内)
冷水・冷温水ヘッダ	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
温水・膨張・還水貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	カラー亜鉛鉄板 (屋内)
温水・蒸気ヘッダ	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	カラー亜鉛鉄板 (屋内)

熱交換器

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
		機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S内		紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所		紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板	
		機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多湿箇所		保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
サブライチャンパー			紙	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網
消音チャンパー、エルボ			紙	保温板	ガラスクロス	
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ			
煙道		ブランケ	鉄線	カラー鉄板		

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。  
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3654 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWA S02による防錆処理を施した平ラス0号で外面補強したものを使用。  
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. SA
- 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
2. EA
- 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
3. RA
- 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
4. OA
- 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
- チャンパー内貼施工
- 内貼あり ( mm )  内貼なし  図面による  その他 ( )

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚を含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。  
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。  
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。  
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

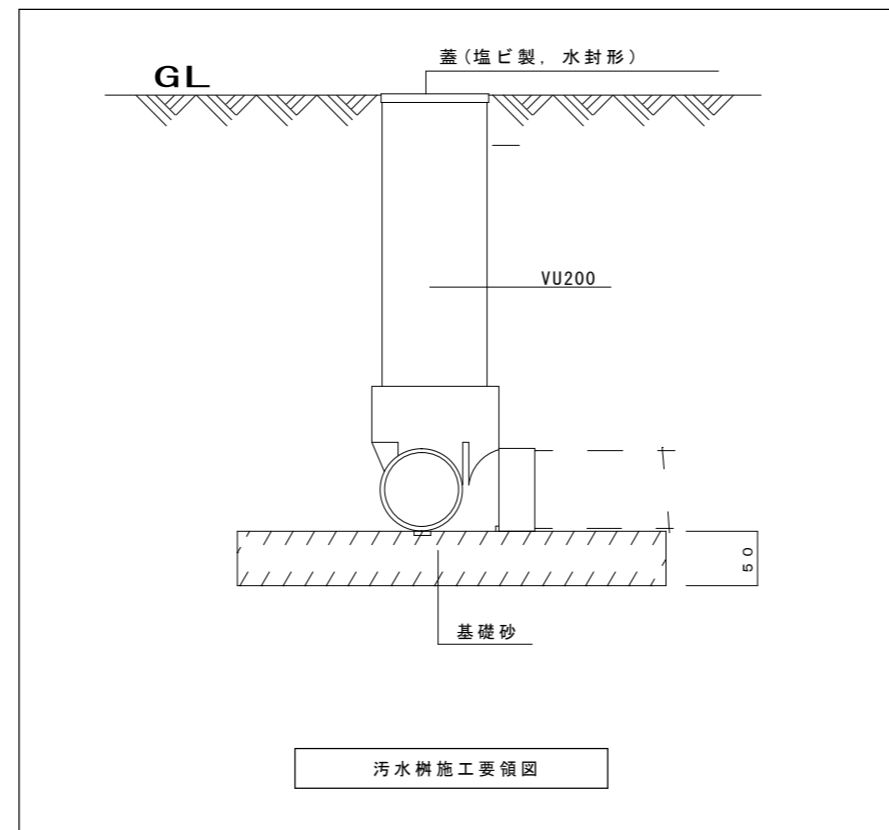
共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法のものとする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
  - 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をたせる。
  - 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
  - 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
  - 呼び径100A以上のM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
- 屋外設置のマノホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設発生土は場外自由処分とすること。

備考

図示記号

記号	名称
———	給水管
———	排水管



汚水樹リスト

注意事項 1) 排水管の勾配は1/100以上を確保する事。  
2) 樹深さは参考数値とする。

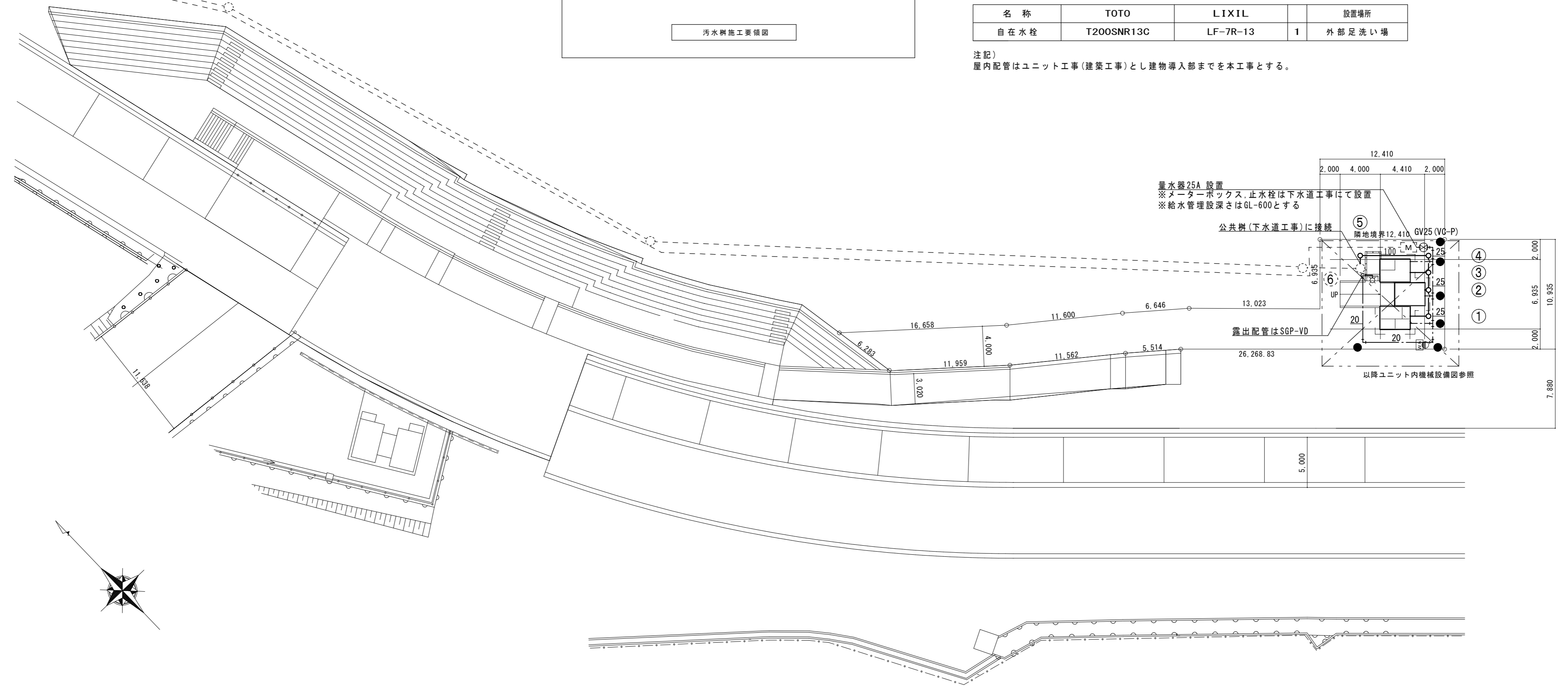
記号	名称	種別	GL-管底	備考
①	汚水樹	小口径塩ビ樹90L100-200	-400	塩ビ蓋
②	汚水樹	小口径塩ビ樹45Y100-200	-430	塩ビ蓋
③	汚水樹	小口径塩ビ樹45Y100-200	-450	塩ビ蓋
④	汚水樹	小口径塩ビ樹90L100-200	-470	塩ビ蓋
⑤	汚水樹	小口径塩ビ樹90L100-200	-540	塩ビ蓋
⑥	公共樹		-550	下水道工事にて設置

● 埋設表示杭を示す(コンクリート製)

衛生器具表

名称	TOTO	LIXIL	設置場所
自在水栓	T200SNR13C	LF-7R-13	1 外部足洗い場

注記)  
屋内配管はユニット工事(建築工事)とし建物導入部までを本工事とする。



備 考	

**NISSHIN**  
**SEKKEI**  
**日新設計株式会社**  
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	御殿場海岸南公衆便所新築工事
Drawing Title	配置図
設計担当者	
一級建築士 No.265708 出口基樹	

DATE	
SCALE	A2:1/300 A3:1/420
M-03	原図:A2